會報

第十一號

廣島縣立尾道高等女學校

會曙浦

目次

○口　繪
○浦曙會會則
○雜　錄
母性の感化と遺傳　客員　水上德次郎
パトランの一夜　客員　森　要人
○母校だより
○補習科だより
○同窓會記事　幹　事
○同窓會會計報告　幹　事
○同窓會神戸支部だより　小川サヲ
○旧師住所
○旧師だより
佐藤　寅三先生
杉野三治郎先生
古山　宗一先生
三橋六次郎先生
工藤　花代先生
森　要人先生
小山　增野先生
大河内定雄先生
吉野　賢司先生
○亡き人を偲びて
○會員消息
○雁のつて
○會員名簿
○編輯便　幹　事

第拾參回卒業生

杉野三治郎先生御來校記念

第八回　大塚英子樣
長女澄子樣　長男逸士樣

第五回　田中喜久惠樣　長男豐樣

第六回　谷靜香樣
長男　正光樣

宮脇（旧姓廣田）カツ先生
樣明　男長

第十回　加藤利子樣
樣子順　女長

第五回　豐田清子樣
樣子純女長樣夫民男長

第八回
井手惠利（旧姓田中）樣
長男　達也樣

工藤花代先生
樣男喜多男三

第五回　河野きぬ樣
樣女長樣モモ男長樣方直

神戸同窓會支部集會記念

會報第十一號

◇浦曙會會則

第一條　本會は廣島縣立尾道高等女學校浦曙會と稱し本部を同校内に置く。

第二條　本會は本校及卒業生を以つて組織す。但し半途退學生と雖も希望の者は會員たる事を得。

第三條　本會の目的は會員相互の交誼を温め親睦を計り兼て知德を進むるを以て目的とす。

第四條　本會は廣島縣立尾道高等女學校職員並に舊職員を請ひて客員とす。

第五條　本會に左の役員を置く。

會　長　廣島縣立尾道高等女學校長を推戴す。

副會長　廣島縣立尾道高等女學校首席教諭を推戴す。

幹　事　若干名を置く、内四名は廣島縣立尾道高等女學校職員中より會長之を委嘱し他は會員の互選による。

第六條　會長は本會一切の事を統理す。副會長は會長を輔佐し且會長事故有る時は其代理をなすものとす。幹事は會長の指揮を受け庶務會計及會報に關する事務を處理す。

第七條　幹事の任期は二箇年とす。但し再選する事を得。若し中途にて缺員を生じたる時は次点者を以つて之を補缺す。

第八條　集會は毎年約二回とす。但し必要の場合は臨時開會する事有るべし。

第九條　役員會は必要に應じ之を開く。

第十條　本會は毎年一回會報を發行す。

第十一條　會員は基本金として入會の際金參圓を納め且會費として毎年金五拾錢を納むべきものとす。但し集會の際出席會員にのみ要する特別費用は出席會員に於て其都度之を納むるものとす。

第十二條　本會に支部を置く。

一、支部には數名の幹事を置き其地方の會

員の取纒めの任にあたる事。

二、幹事は其地方會員の消息動靜を毎年一回以上本部に通知する事。

三、幹事辞任の際は後任を定め本部に通知見する事。

四、浦曙會並に母校に對し希望ある時は意を取纒め本部に申出づる事。

五、支部以外の者に對しては本部に於て取扱ふ事。

六、支部に於て經費を要する時は本部に請求する事。

浦曙會役員（現職員）

會　長　佐藤良都知

副會長　田邊領一

職員幹事　今井篤三郎

岡田タヅ

檜垣保世

卒業生幹事

第一回　野村喜代子　野村さか　井出上千代花

藤井ふで　小田政代

第二回　小林久

第三回　辨野タカコ　楠生みね

第四回　高垣シゲノ　奥本亮

第五回　石梶いそ　小林イチ

第六回　東一枝　高橋正子

第七回　貝沼うた　今井高代

第八回　吉本いと　小山春子　國貞貴美子

第九回　木曾靜子　高橋昌子　山形初子

第十回　佐藤重代　村上スミヱ　白神滿子

第十一回　大山喜久代　桑原國子　原田善子

木曾季野　三島輝子

第十二回　小林光子　野村琴　大塚周代

松本操

第十三回　原田コミネ　木曾壽美江　井田一枝

富岡千代子

地方支部幹事

一東京及其附近

村上カメコ　増田由己子　越智こう

高垣延代　天野喜代　正木澄子

花本みちよ　小西はる　小西靜

豊田清子

一大阪及其附近

生酒　コト　行廣きみよ　村井　駒
大井　恒子　岡崎　頼子

一京都及其附近
村上ミサコ　河野サダエ　大浦　つな
野村　禧子　村田　芳枝　柿本　初子

一神戸及其附近
村上　ヨシ　高畠　タマ　大籔　はな
松葉　敏子　小川　サダ　村上チサト
大泰司靜枝　高田ミキノ　池田　敬子

一廣島及其附近
橋本　信子　伊藤　菊野　山口美知江
市川千代子　杉原ミチエ

一三原及本郷
池田　政子　渡邊　節子　金尾　艶

一向　島
惠谷　綾子　渡里　漂子　杉原　嘉子

一福山及其附近
藤井　悅子　北村　スエ　青木　秀子

一松永、本郷、今津方面
江川ひさ子　河本（ヨシ）キミ　石井　圭
丸山ヨシコ

一糸崎方面
田中　庸子　藤野　松榮

會則第七條の規定により今冬期休業中幹事の総選擧を行ひました決果、右の方々が當選致しました、どうぞよろしく御願致します。

雜　錄

母性の感化と遺傳

客員　水上德次郎

一

諺に『氏より育ち』と云ふ事がありますがまことに子供を立派にするには、家柄よりも其の育て方に關係することが甚だ多い樣に思はれます。家庭で親の躾けが子供の性格を作る上に與つて力あるものであります。私共が知つて居る範圍でも、名門に生れながら『どうして彼の子供は品の下つた不良な者になつたのであらうか』と怪しまれる程のものもあり

又親は勿論、先祖に於ても之れと名のある家筋ではないが『どうして彼のやうな立派な子供が出來たものであらうか』と疑はれる程のものもあります。そして段々其の譯を尋ねて見ますと、決して偶然の出來事で無いのを發見するのであります。如何に名ある家筋に生れ、祖先の功名手柄、家門の譽れを耳に胼胝(タコ)の出來る程言ひ聞かされても、目前に見る親の行や、日々起臥して居る家庭の空氣が餘り綺麗でなかつたら、どうしても其の子供には思はしい者が出來難いのであります。之に反して家に餘財とても無く又子供に語り傳ふべき祖先の偉績も無い所の家庭に生れても、日夜、見たり、聞かせられたりする親の言語、行動が立派であり、家庭の空氣が何となく良好であつたならば、其子供は、立派な見上げた人物となることが多いやうであります。實に両親の感化影響と云ふものは大なるものであります。

両親でも特に、母の方の感化が偉大であると思ふのであります。諺に『父毛母心』といふことがありますが、此れは子供の髪の毛は父親に似る即ち身体の方は父親に似るが、其の心は母親に似るといふことであらうと思ひます。子供は、外に出て働く父親よりは、常に家庭の内に居る母親の側に居ることが多いから、其の母の言行は知らず識らずの間に子供を感化するからであります。

父の言行が惡くても母の言行が善かつたら其子は大分救はれますが、之に反對であつたら其の子供は大抵不良になるものであまりす。即ち子供は母親の精神とする所を精神として行動するもので、畢意、父の感化よりは母の感化の方が強いことになると思ひます。

二

以上述べました事柄は、子供が生まれてから後に得た後天的の影響であります。即ち環境の感化によつて性格を或方向に發展させたのであります。而し人間には遺傳といふ現象がありまして、生まれる前即ち卵の時代に、既に父や母の性質(形態も、或種の病氣までも)が遺傳されて居るのであります。即ち子供の性格の要素は、卵の時代から既に先天的に附與されて居るのであります。

そこで、子供の遺傳質は両親から受繼いだものであるとすると、其の両親の遺傳質は其れ其れの父母

から受繼いだものであるのは、當然の事であります斯樣に祖先へ溯つて考へて見ると、我々の持つて居る遺傳質の統計は兩親を通じて遠い〳〵祖先からの遺傳質を受繼いだものだといふ事が判ります　其れ故祖先と我々との間は、切つても切れぬ遺傳質の連絡があります、これが所謂、血統といふのであります。我々の身体内には祖先の血が通つて居ると云ふのは、此の意味から申すのでありませう。

然らば、我々はどの位兩親に似るものか、又どの程度まで祖父母に似るものか、さては祖先の面影がどの位吾人に殘つて居るものか、これが問題であります。

遺傳學上、測定學派の鼻祖であり其の權威者であつた、ゴルトン氏は色々の特徴の遺傳力を吟味した結果、吾人の持つて居る特徴は平均して其の半分は兩親から受繼いだものであると結論してゐます。其れだから我々の父よりは總量の四分の一、母より亦四分の一、と云ふ勘定であります。然らば殘りの半分は誰から得たものかといふに、これの中、半分即ち總量の四分の一は祖父母からであるが、祖父母には父方のと母方のと都合四人であるから、一人宛となると總量の十六の一、となります。斯樣にして兩親と祖父母との分を引いて了ふと、殘りは四分の一となります。これの半分は曾祖父母から、更に殘りの半分は高祖父母からと云つた具合で、分量は次第に減るが、無限に遠い祖先に溯つて勘定に入れることになります。

故ニ遺傳質全量ヲ1トスレバ

$$1=\frac{1}{2}+\frac{1}{4}+\frac{1}{8}+\frac{1}{16}+\frac{1}{32}+\cdots\cdots\frac{1}{2n}$$ ナル式ヲ以テ表ハスコトガ出來ル（nハ世代ノ數デアル）

次に父と母とが子供に與へる遺傳の量には果して差異が無いものであらうか、ゴルトン氏の測定では半々であつて違ひが無いのでありますが、歐羅巴の王室等の確かな系圖に基いた研究から、近頃では、母の方が影響が大きいと云ふ事であります。即ち母の遺傳力の方が多いといふのであります。

三

およそ、人の性格を作り或は發展させる所の要素は、先天的要素（遺傳による）と、後天的要素（境遇ニヨル）との二つがあります。即ち各個人の性格は先天的に得たものと、後天的に得たものとの總和

であります。

然らば、遺傳力と境遇の感化力とは、何れが重いものであらうか、即ち『氏より育ち』か、『育ちより氏』か、此の問題は多年の間種々論議されたのであります。

十七八世紀の哲學者は『人は境遇、教養の生産物であり、凡て人は生れながらにして、一樣であるが賢愚、良不良の岐るるのは、一に境遇教養の均しからざるに據る』と云つて居ります。

デカルト、は其著書の中に『良心は、各人一樣に之を稟けて生れるが、吾等の意見の異るのは、理性を他の人よりも、より多く受けたのではなくて、吾等の思想を異なれる方向に導き、又吾等の注意を同じ目的に定めぬ爲めである』と論じて居ます。

然るに、輓近、實驗遺傳學の研究に依れば、先天的要素（稟性）は境遇や教養によつて變更する程度は少く、且つ一時的のものであるが、遺傳の決定する所は大きくて恒久的であるといふことになり、結局、遺傳の力の方が重くて、境遇の影響の方が輕いといふ譯であります。

而し遺傳に重きを措くと云つても、性格の形成が遺傳万能といふ譯では無い、遺傳の力も、境遇の力も共に必要缺ぐべからざるものであります。

長々と下手の長談義を述べ立てましたが、之を要するに、人の性格は遺傳によつて獲得したものと、境遇の感化によつて得たものとの總和であります、そして母性は子供に對して父よりも多くの遺傳質を傳へ、且つ感化力が偉大であると論じたのであります、嗚呼、母性の力、驚くべしであります。

バトランの一夜。

客員　森　要　人

昨夏七月十二日、三屋氏同令弟秋策氏及田中氏と都合四人中部横斷旅行卽ち俗に云ふ「能高越ゑ」を決行せしが、各地官憲の優渥なる保護よりて同廿三日無事高雄上陸同日歸南せり。此行十數社の蕃界踏査中搔き集めたる藻塵草の見るべきにもあらねばと筐庭深く秘めおきしが、這度「出せ」との命そも亦默たし難くて斯くなん、今日は地獄の釜の蓋も開くてふ文月十六日陽はカン〳〵と照りはたけど、谷を廻り、山を越ゑ、迂りくねつて吹き來る山風に左程

暑さを覺わず、例によつて今日も劔をつり銃を擔いだ、何の事はない黑い服着た兵隊さんのやうな巡査さんと、竹の皮製の笠を冠り、理科の先生が着る授業服然とした白服を無造作に着流した警部さんとに前後左右から警護されて、幾多の崖道や岨道、蜀の棧道、蚕叢の小徑をバトランに向つて直下りに下つた。いくら下つても下つても里は見わぬ。で此順にものゝ二日も下つたら、當のバトランや花蓮港を素通して、一日には地獄、二日には金輪際に行つてしまひはせんかと氣遣はれる程であつた。

時々午後二時、此岨道の盡くる所、忽ち前面豁達、一大圓錐形をなせる谿谷の上に出た。底とも覺しき幾十丈の下に二三の蕃社が見える。これ全日の果小屋なるバトラン蕃社である。部落は指呼の中にあるやうなれど岨道は此摺鉢の内側を迂迴して中々捗取らず、其待ち遠し事お話にならぬ、漸く二時半といふに同地駐在所に辿りつき終日の青息をついた。

着くや否や警部樣直ちに電話にかゝり、「アヽモシ〳〵廳ですか、私は某警部です、只今先生方を案内して無事到着しました……明日は六時出發の豫定であります……ハイ々々皆元氣でをられます」

聞くともなしに聞えた。こんな風に各駐在所では、吾々の出發到着起居動作を一々廳に報告する。官憲が斯くまで吾々の爲に深甚の注意を拂はれ、且優遇せらる。誠に恐縮の外はない。殊に又今日は風呂は吾等の爲にのみ設けられ、WCまで吾々のその初見參の光榮に浴した程である。晩餐後一巡査の案内にて蕃社に行つた。社は駐在所の眞下の藪の中にある吾等一行は虎の威ならぬ巡査を力に突然取り付けの一蕃家に進入した。葛天氏の民の如く燈火もなき暗黑裡、爐を圍める二三の動くものあり。丸太圍ひの隙間より漏れ來る淡い月光と燈火とにすかし見れば夫婦に八才ばかりの子供と三人、爐にかけたる大鍋を圍みて何やらムシヤ〳〵まほり居たり。吾等の御入來を驚くと思ひきや、主人とも思ぼしき男、炭から拔け出たやうな手に、直徑五寸もあらうと云ふ大な塊を鷲つかみにして、吾等の前に突き出した。吾等はその何の意たるを解せず。當惑した。査公「いもです『食へ』といふのです」といふ。一行皆顏見合せて躊躇した。何となく汚いやうな感じがあつたから……が併し又一種の好奇心に驅られて遂に其厚意をうけ、之を四分して蕃饗に預る。味頗美に

して臺南產などの比ではない。漸く食ひ終るや。矢つぎ早に又頭大のものをすゝめられた。一矢既に痛手を負へる吾等、此上第二の矢を番はれてはたまらぬと愴惶として逃げ出し、其隣家に行つた。此家では夕食濟みしものと見え、三々五々屋外にうようよして居たので別に珍らしい事もない。時に誰やらが「彼等に名物の舞踊をなさしめん」と發議した。一行皆之に同じ、巡査に其旨通譯せしめた。彼等之を諾しゾロ〳〵と踵いて來る。總員廿四五名老いたるあり、若きあり、中には花恥しからぬ乙女ありて、蕃人共進會の觀があつた。駐在所の庭に來るや、巡査「直ぐ踊れ」と命ず。併し彼等中々應せず、再三强ふ時に一青年、赭衣に小さき鈴の六七十も羅附せる所謂彼等の禮服なるものを着、嘴琴を鳴らしつゝ舞踊を始む。要領はザット跳躍運動で、先つ庭の中央に半圓形の線を劃したるものと假定し、その線上を右の足を上げ左の足にて跳躍して左行し、次に左足を上げて右足にて跳躍して又左進す。此の左足を上げし時は首を左に、右足を上げし時は右に傾けその足の上下につれて嘴琴に調子をつけて鳴らす。斯くの如くにして其線上を一往一還するを數回にして止む一行頗る興に入りワンスモウアを强要す又朴はにやつてのけた。このダンスの一段落を告ぐるや、暫く沈點は續いた。時に警部さん吾等の爲に一段の興を添へんとや思ひけん、やをら「圓陣ダンスをやれ」と命じた。吾等是最も興あるべし至囑々々と絶叫す時に頭目の一人『日本大人も加るならば命に應ずべし』と云ふ」一行再議に及ばず承引し忽ち茲に日蕃同盟の圓陣は現出せられ、大和民族馬來人種との堅き握手は成立したのである。そして前の青年は何やら譯のわからぬ蕃歌を奏しつゝ、足をピオン〳〵上げながら右廻す。その情致の原始的さ余は屢々世は上古に逆行したのではないかと疑つた。茲に面白き挿話がある。始め吾等一行その間々に狹りて圓陣を氣作るや、十二三歲の少女右手にあり、別に恥ぢらふ色もなく平氣でゐた。一廻終るや少女列を外す。陣その次位のは廿四五の婦なり。婦容易に肯せず、圓爲に飲如たりで、第二回の踊を始むる事が出來ぬ此躰を見て取つたる一老翁驀らに馳せ來りて狹まる、その手の堅いこと蠟螺の如しだ。後にて聞けば有婦の婦は他人と握手するは夫を侮辱する事になり之を嫌ふのだとか、所謂男女七歲にして手を同じうせざ

るもるか呵々。此時又ベルが鳴つた「ハイ々々さうです、先生方ですか先生方は只今蕃人の踊りを御覽になつてゐます、ハア〳〵別に變つた事はありません……」廳から又吾等の動靜を照會して來たものと見ゐる。終つてチャンチウを振舞ふ。男女老弱皆一大椀に滿々受け、其處此處に蹲踞してキユウと呑み干す。酒呑童子の子孫にあらざれば飲中八仙人の遺孽ぢやないかと思つた。又婦人子供等には別に氷砂糖を與ふ。「皆ウマイ〳〵」と巧に内地語を連發し甚る愛嬌があつた。既にして宴終る。余等大に疲を感じ室に入る。時に田中氏何やら秀句を發した。取りあへず余は下の句をついだ

「衣のたてはほころびにけり」に對して「いとのみだれのくるしさに」と附けた古武士の風流には似も付かぬ事なれど、時に取りての興とし、皆呵々大笑、之を今日棹尾の傑作として寢につく、時に山氣清涼夜色索然舞踊の蕃人等漸く歸る。

母校通信

年誌

大正十三年一月二十六日、

皇太子殿下良子女王殿下御成婚の誠にお目出度い記念日に當り豫ねてより制定調製中であつた本校々章の佩用をすることに致しました。左にその圖按の大要を説明致します。

一、内容的意匠

意匠は本校教養の趣旨に基きまして第一に三種の神器の鏡（輪廓）玉（中央の丸は勾玉の一部）劔（鶴を置き音より鶴置）を組合せ我建國の御精神（智仁勇）幷に教育勅語の御聖旨を表示したものです、第二に又別の意味に於きまして教育の三方面知（鏡により）德（玉により）体（鶴は御承知の瑞徴的靈鳥でして又長壽の表徴でありますから体育と最も關係深く姿勢の如きも最も勇敢ものを選びました）を組合せ表示したのでございます、土地に因みまして鶴灣の鶴と玉の浦の玉とを中央にをさめました次第です。

二、形式的模様

模様はつとめて質實剛健の感を與へしめるため第一に輪廓はセセッション式に直線にて嚴格さを又内部は凡てヌーボー式に曲線にて温容さを示しました、これは品行は方正に人格は圓滿たるべしの積りでもあります、第二に中央の鶴は正三角形に當て嵌めまして至極安定を期したのです、翼の黑羽が尾であるかの如く又脚を欠いで居る等は所謂便化したものでして大体に於て日本趣味と西洋趣味を折衷しました、第三に色彩は出來るだけ澁味をもたしたることに注意しました、そして白地に赤丸は我國旗にかたどり輪廓の青は鶴灣の海の色になる譯であります。それぞれ用ひました色の表徵(シンボール)の説明は畧します

上

下

校旗並優勝旗制定

校章をマークとして校旗（北辰社寄贈）並優勝旗（兒玉書店寄贈）を夫々制定しました。優勝旗は秋季運動會に於て尋常小學校選手競走優勝者に授與し其校に次期運動會迄保管する事を得ることに致して居ります。

一月二十七日

午前九時より父兄母姉の方々を御招きして學藝音樂會並に展覽會を催しました所當日は非常の大雪にも拘はらず父兄母姉の方々が多數御出でになりまして盛會で御座いました。

三月二十五日

午前十時より本科第十三回補習科第七回卒業修業式を擧行致しました。當日は本縣知事山縣治郎閣下を始め朝野多數貴賓の方々が御臨席下さいまして卒業修業生に絶大の光榮をお添へ下さいました。殊に山縣知事閣下は卒業生修業生並に職員生徒に對して誠に懇切に有益な告辞を下さいました。

今回の卒業修業生を合せて本科八百九十六名補習科九十五名が母校を巣立ちした次第であります。

三月

大正十年四月以來本校に奉職せられて特に數學科を受持たれて優秀な教授振りを示して居られた森谷八

千代先生が御結婚遊ばすために本月限り御退職になりました。只今では別記の東京市に新しい家庭の立派な主婦として御過しで御座います。

大正十一年四月以來奉職になり体操科を受持たれて居りました上原ニミ先生が御郷里の福岡縣立山門實業女學校に榮轉せられました。

大正八年一月以來本校の点茶を受持たれて熱心に御教授下さいました岡田オサメ先生が久しく御病氣で御難儀して居られましたが三月末御退職になり靜養して居られます。

大正十年四月以來本校庶務課に御勤務になつて居りました本城正二先生が御家庭の都合で朝鮮尙州郵便局へ御轉職になりました。

四月七日

午前八時より補習科四十八名本科第一學年百五十六名の入學式を擧行致しました。

新學年になつて、東京女高師家事体操科出身の吉井常代先生、京都同志社專門部英文科出身の森二三子先生、庶務課に蔦永秀輔先生が御奉職になりました

五月中旬

左記の通り各學年とも旅行遠足に出かけました。

補習科　四國地方
第四學年　京坂奈良伊勢地方
第三學年　廣島吳宮島地方
第二學年　岡山地方
第一學年　佛通寺

六月九日

本校が縣立に移管せらるゝと同時に廢止せられて居りました商業科が本學年から再設せられ隨意科として四年生に課する事となりうの教授担任として尾道商業學校教諭石井保先生が奉職せられました。又点茶の教師として石川サダ先生が御奉職になりました

六月二十五日

地久節拜賀式擧行後三年越しに完成した新運動場で全學級の庭球試合を擧行しました。

七月

二十一日より一週間新運動場で陸上競技練習會を左の通り施行いたしました。

第一日　庭球　短矩離競走　跳上り跳下り
第二日　ヴアレーボール　弓術　走巾跳
第三日　ヴアスケットボール　砲丸投　走巾跳
第四日以降は全生徒を十班に分ち順次各競技の練習

をなす之に要する時間凡二時間以後は自由練習。會する者一八六名

炎天燒くが如き日而も休暇中男子も難事とする競技會に本校生徒の約三分の一が參加したといふとは最も欣ぶべき現象であります。而も此等生徒は勸誘や强制に依つたのではなく自ら進んで參加した猛者であるだけ競技にも熱心であり忠實でありました、隨つて其成績も優秀で正に極東レコードにも達せんとするのもあつたやうであります、今後此の意氣と元氣とをもつて進んだならば本校が競技界に活躍するの秋も遠くはあるまいと思つて居ります。

八月

大正十一年四月以來音樂科を受持たれ該科は申す迄もなく、校友會に、市婦人會に非常に御盡力下さいました松山マサ先生が暑中休暇中御鄕里北海道に御歸省中御老母樣御病氣になられ、御無人にて御看護等のため止なく本月限りで御退職になりました。

大正十一年四月御奉職になつて國語科を受持たれるの外校友會文藝部に給品部に御盡瘁になつて居りました多藝多能な淸水坊先生が御家庭の御事情で福山高等女學校に御榮轉になりました。相變らず御壯健で勤めて居られます。

九月一日

新に國語科の担任として慶應義塾大學出身の高橋丈夫先生が御奉職になりました。

十月二十五日

三年振りで新運動場で大運動會を開催いたしました運動會日和として申分のなき天氣。始めて行ふ會場のことですから何彼と心遣ひして居りましたが、設備其他等も何等支障なく、觀覽者も早朝から來校せられ午後は文字通り立錐の餘地なき有樣でした。プログラムは次の通りです。

此の日同窓會では食堂バザーが催されこれ亦非常な盛會で午後は早くも賣切れになつた樣子です。

運動會競技順序

唱歌　（君が代）

開會ノ辭

午前ノ部

一　聯合體操　全

二　徒競走　四　全

三　ハンドボール　二　1　2

四　アイヌダンス　一　全

五　体操　三　一　二五　オックスダンス　二　全
六　キャッチボール　四　三　二六　豫選競走（リレー）　小學校選手
七　球撞競走　補　全　二七　音律体操　二　全
八　ハイランドシャッチシ　二　全　二八　俵奪　一　二　三
九　棍棒体操　四　全　二九　上下球送リ　三　全
一〇　五十米突競走　有大志　三〇　オーバーゼアー　補　全
一一　ヴァレーボール　三　選　三一　徒競走　一　全
一二　体操　二　一　三二　避難競走　四　二　三
一三　アルプスダンス　一　二　三三　マッルカ　三　一　二
一四　攻城　三　全　三四　障碍物競走　二　二　三
一五　二人三脚旗送リ　二　一　三五　決勝競走（リレー）　小學校選手
一六　フアウスト　補　全
一七　徒競走　三　全　三六　盲唖小守競走　一　一　三
一八　旗体操ト旗奪　一　全　三七　モーターダンス　四　全
一九　ゼボチカワルツ　四　全　三八　關所ボール　本校職員
二〇　豫選競走（リレー）　本校選手　三九　決勝競走（リレー）　本校選手
二一　綱引　三　對　二　四〇　ボロネーツ　三、四、補及卒業生

午後ノ部

二二　徒競走　二　全　唱歌（校歌）
二三　ポルカセリース　三　二　三　閉會ノ辞
二四　クラブゲーム　四　一　二

當日小學校（尋常六年女兒）選手競走には參加學校十六校で因島土生小學校が優勝して、榮ある優勝旗を

優勝旗授與

持つて歸りました。本科選手競走には四年生第一組が優勝しました。

十一月三日

本日は全國体育デー當日です、午前十時から

全學年　百米、五十米競走、ヴァーレーボール

ヴアスケットボール競技

を行ひました。尙は本日を下して、生徒各自の身長体重、胸圍、健康狀態一覽表を配布し毎月一回生徒各自が檢査記入し以て身体發育の自覺を促すことに致しました。

十一月十四日

國語科担任として國學院大學御出身の久保稔先生が御奉職になりました。

十二月二十五日

大正十二年四月以來御奉職になり專ら裁縫家事科を担任せられその外同窓會幹事としてお働きになつて居りました越智コウ先生が御結婚の爲めに退職せられました。只今では東京の新居に新しい御家庭の人として御暮しで御座います。　以　上

現在職員一覽

現住所	原籍	就職年月	氏名
尾道市西御所町	廣島	大正八、九	佐藤良都知
尾道市久保町	仝	大正八、一一	田邊領一
御調郡吉和村	岡山	大正一一、四	大村守五
尾道市久保町	仝	大正八、一一	今井篤三郎
仝	廣島	大正一二、四	西川精開

尾道市久保町	廣島	大正一〇、四	岡本好太郎
仝	廣島	大正八、八	堀部政代
仝	仝	明治四二、三	岡田タツ
御調郡栗原町	福岡	大正一〇、一二	水上德次郎
尾道市久保町	東京	大正一二、九	八木トモ
尾道市土堂町	廣島	大正一二、一二	宮田浩藏
本校第二寄宿舍	愛媛	大正一〇、九	檜垣保世
尾道市久保町	岡山	大正一〇、四	高原恒子
本校第二寄宿舍	仝	大正一三、四	吉井常代
尾道市久保町	廣島	大正一二、四	原武司
尾道市久保町	廣島	大正一三、一一	久保稔
尾道市土堂町	仝	大正一三、九	高橋丈夫
本校第二寄宿舍	滋賀	大正一一、四	林ムネ
仝 上	京都	大正一三、四	森二三子

尾道市長江町	廣島	大正二、二	三次隆二	
御調郡木ノ庄村	仝	大正一三、四	髙永秀輔	
沼隈郡松永町	仝	大正一三、六	石井保	
尾道市久保町	仝	大正六、二	大塚靜馬	
尾道市久保町	山口	大正一三、六	石川サダ	
尾道市東御所	島根	大正九、一	清水元濟	

◇補習科だより

皆様とあの悲しいお別れを致しましてからもう尾道の街にも、華やかな春が訪れて參りました、あの千光寺の少しばかりの櫻樹も、滿開を告げてゐます。あの小さい溝の樣な海にも、春の囁きが紺青の波頭にこぼれ散つてゐます。

私等は再び母校の補習科生として、元の通りに胸高く袴をつけて、黑靴の足どり輕く、あの石の校門をくぐる身となりました。今年は他校からお出た方も約十人位ございまして、本校の卒業生と一しよで五十名程のクラスでございます。お優しい松山先生並に堀部先生の主任のもとに姉妹の樣に睦まじく勉强致して居ります。學科は地理と歷史とをのぞいて、他に漢文と手藝等を加へて、他はすべての科を修めて居ります本科の時より大分程度も進んでゐますのでなんだか根强い知識が身にしみて感じられます。

やがて自然の萬象に生長と、新鮮と、靑さを覺える人生の五月が參りました、私等有志の者共二十四名は田邊先生と堀部先生の引率のもとに、四國の高松屋島方面へ旅行致しました。

船中でなつかしい「故郷を離るゝ歌」、「旅愁」をコ

ーラス致しました。それにつきましても皆様との最後の修學旅行！　思ひ出深い東都旅行を思ひ出さずにはゐられません。あの美しい青葉のアカシヤを窓越しに見ながら、私等は集り寄つては銀ブラの事、三越のこと、綠の江の島、歴史に深い鎌倉のことなどを、あきなく語り合つては皆様をお偲び致します一學期も夢の様に過去つて、四十日の夏休暇が明けて、二學期に入りましてから松山先生が、急に御家庭の事狀で、學校をお引きになりましたため、後を御母様の様な堀部先生が主任となつて下さいました學校として大盛事の運動會が、十月二十五日に、三年振に催されました、秋晴れの好天氣に、私等五十名のものは新運動場の廣場で、四年の時上原先生から習つてゐたオーバーゼアーと、ファストを致しました。同窓の方もたくさん見えた様でしたが、當日は何分忙しかつたものですから、心ゆくまでお話し出來ませんで大變殘念に存じました。

秋も深うございます。前庭に並ぶ青桐も朽葉色に染められて、風もないのにパサリと寂しい音を立て落葉する様になりました。

今頃は堀部先生からフランス刺繍を習らつてゐます小春日を浴びし布をくゞる針のリヅムを聞きながらおなつかしい〳〵皆様のお噂を申上げて居ります。

皆様方の御健康と、御幸福とを切にお祈り致します。

（補習科生全部）

同窓會記事

◇同窓會日誌中より

大正十三年二月九日

昨日福岡縣女子師範學校御在職の舊師杉野三治郎先生より御上京の御途路來る十五日に尾道へ御寄り下さいますとの嬉しい御便を頂きました。私共は成るべく多くの姉妹方に御通知申上げて其當日は心ばかりの茶話會を開き共に其日を樂しみ度いと存じまして市内及近郊の同窓生へ同窓會開催の案内狀を出しました。

二月十五日

幾日前よりか待ちあぐんで居た今日は參りました。久し振りに御歸り遊ばす父様を待つ子供心とでも申

しませうか、身も心も浮き立つて一寸とも落着かれない程の嬉しい朝でした。生憎今日は學校の授業日でしたので、先生をお迎へする爲めの充分な準備の出來なかつた事は殘念でしたが、それでも皆樣のかひ〳〵しい御手傳でさゝやかながらも作法室を會場にあて準備は整ひました。其内に卒業生の方々も一人二人と段々に集つていらつして互に久し振に御目にかゝり得た喜びで昔にかへり笑ひ興ぢる姉妹方や暖い火鉢を圍みて四方山の話を遊ばす方、廊下のあちこちを歩きながら嬉しそうに互に語り合ふ姉妹達皆それ〳〵に先生のいらつしやるのを今か今かとお待ち申上げて居りました。二時過ぎに尾道に御着きになるとの御通知でしたので、もう學校の下近く迄御いでになつただらうと階段を走り降りると松永高女御奉職の岡本茂子樣に御目にかゝりました。そして早先生は學校へ御着き遊ばしていらつしやるとの事を伺ひましたので急いで校長室に走り込みました先生は椅子に腰をかけていらつしやいました。昔と一寸とも御變り遊さぬ先生の御顏を拜した時の嬉しかつた事、すつかり生徒時代の昔にかへつてしまひました。暫く先生は校長先生と御話しになり學校の變つた樣子を御覽遊ばして會場に御居で下さいました。皆樣の御挨拶も終り校長先生を始め田邊先生、大塚靜馬先生、三次先生も御臨席下さいまして一堂大盛會でした。越智幹事の開會に次ぎ先生より幾年振かの御懷かしい御言葉を賜りました。私共は唯嬉しくて御言葉の一言々々を涙ぐまれるほどに嬉しく頂きました。先生は一寸とも御變りになりませんと誰方かゞ申上げますと「いや老年になりましたよ斯んな物が必要になつただで」と先生獨特の御言葉も懷しくポケットより眼鏡を御出しになりましたのには驚きました。澤山の姉妹方と火鉢の有る爲に部屋は大變に暖くなりました。御壽司やら御菓子やら果物やら白いテーブルの上に盛られた御馳走を頂きながら皆何の遠慮も無く打ちくつろいで先生の御話等承りました。相變らぢ快活でいらつしやる辨野タカコ樣は時々面白い事等云はれては皆樣を笑はせます佐藤校長先生がふとした御話から杉野校長先生に「君と僕とよく似て居ると人が言つて居たが何處が似て居るのかなあ」と笑ひながら一寸横に御向きになつた杉野校長先生も亦右向きに先生の御顏を御覽遊ばすので私共は御二人の先生の御顏を拜見して又

笑ひました、よく似ていらつしやると云へば私も一番最初に校長先生に御目にかゝりました時やつぱり何處か似ていらつした樣に記憶して居ります。御話は次から次へと盡きません。私共は何も話さぎちつとこの會場に居る事さへも非常に愉快な時でした。何時迄も〳〵このまゝにと一刻々の惜しまれる其内に冬の日足の暮れ易く、早あたりには暮近い日影がさしこみましたので日暮れぬ内にと思ひ皆樣もよく御存知の母校得意の野村寫眞館に電話しました處早速來て下さいましたので、先生達に其由を申上げました處が御承諾下さいました。其時杉野先生は遠方より來ていらつしやる方々の汽車の時間等御心配遊ばして會は止むなく閉會に致しました。新校舍の中庭に一同は集り記念の寫眞を撮りました。先生は其夜大塚先生の御宅に御逗留になり、其翌朝八時の下列車にて御歸り遊ばしました。

五月十七日

奇怪な力を持つて私達の總てを握り締めて居る運命と云ふものからどうしても逃れる事の出來ない人間だと思ふとほんとうに悲しく思ひます。然し人間ばかりぢやありません、森羅万象悉く同じ運命の元に置かれて居るのでございます。昨年は誌上に於て淺田先生、上村先生、村井てつ樣、岡崎和子樣、高橋章子樣、峠本靜乃樣、村上小枝樣、壽美谷包子樣の御逝去を御知らせを致しまして亡き恩師の爲又亡き友の爲に悲しみました。もう此上の不幸の來ぬ樣にと祈つて居りましたのに母校には引續き先生方の御家族の方々の御不幸續きで誠に御氣毒に存じました既に御存知の御方も多い事と存じますが校長先生の奥樣が永い間御風邪の爲に御臥床遊ばしていらつしやいました。私達はたゞの御風と思ひ一日も早く御全快の日を御待ち申して居りました處今年五月四年生の關西旅行中に御病とみに重らせ給ひ終に御いとをしくも御可愛らしくていらつしやる御四人の御孃樣や坊ちやまを御殘しになりましてまたとかへりませぬ遠い國へ御旅立ち遊ばしました。十七日旅行團体が尾道驛に到着致しました時改札口を出るとこの悲しい御事を承りましたので、私達は胸を打たれる樣に悲しみました。其日福山にて御葬儀の行はせられるとの事で母校先生方及生徒同窓會員婦人會員等の有志の方々は御會葬申上げました。

御生前ほんとうに御優しくいらつした奥樣の御面影

を偲び御いぢらし、御子樣達を御殘しばした奥樣の御心中、御家族御一統樣の御歎の程も察せられて落つる涙も止ゆども無く全く御同情に堪へませんでした。

世の中を何にたとへん朝開き
漕去にし舟のあとなきが如
世の中は何か常なる飛鳥川
昨日の淵ぞ今日は瀬となる

等と古歌も思ひ出されて世の無情を恨み度くなります。

昨年の秋の或日でした。其日は風なく雲なく空は青く澄み渡り田面には黄金の波が豐かに打つて居りました。母校の先生方が御家族御同伴で沼隈郡本郷の山に茸狩に參りました。其時校長先生の御家族は奥樣と御子樣達も四人御揃ひで私達もほんとうに愉快に一日を遊ばせて頂きました。松永の驛に降りて細い田中の道を通り抜け廣い原を控へた川邊に出時た何とも言へない爽快さを覺へました。其處には清い々水がさら〳〵と音を立て〻流れて居ります。私達はこの川邊の芝を踏み乍らづん〳〵と奥に進みました。其頃山登りする者もかなり多うございましたが道行く澤山の人達の中に眼立つて御可愛しらく思はれましたのは一番小さい御孃樣が御優しい御母樣と御姉樣に御両手を御ひかれになつてチョコ〳〵と御歩きになる其御姿でした。ローズの可愛い服を召して白の靴下を御はきになつて、時々御母上樣の御顔を見上げては両頰に可愛い靨して御笑ひ遊ばした。あの時の御幸福さも思出されます。高い足塲さへも無い急な山路を喘き〳〵草や木を折り撓め乍ら身体を支へつゝ登りました時は奥樣もほんとうに御元氣でいつらしやいましたものを……過去の樂しかつた思出も亦今となりては一倍に苦しい思出を殘す事でございませう。私達は何と申上げてよいやら御悔みの言葉さへ存じませんでした。茲に謹みて深く御哀悼申上ます。

同窓會にては御靈前へ心ばかりの御香奠を御供申上げました。

六月五日

校長先生より御亡くなり遊ばした奥樣の御追善の爲同窓會へ金貳拾圓を御寄附下さいました。誌上にて皆樣へ御通知致します。

七月二十一日

午後一時より會報第十一号發行及び同窓總會開催につき幹事會を開きました。

協議決定事項

1、會報發行の件

第十一号會報發行の爲、例年の通り依頼狀を印刷して全同窓生へ發送し消息並びに其他の記事を集める事、猶會費未納の會員へは集金郵便を差出す事等決定致しました。

2、同窓會總會

例年に倣へば夏休中に總會は開かれて居たのですけれど、今年の夏は暑さも殊の外嚴しくて、皆様の御集りも多分尠いだらうと思ひましたので、今日集りました幹事達の相談の上で冬期休業中開會の事に致しました。多くの皆様の中には總會の開かれるのを樂しみに待つて御居でになつた御方もおありの様に承りましたが惡しからず御許しを願ひ度う存じます。

3、同窓會事業

何か同窓會の事業を興し度いとは誰しも考へて居る事でございますが、何をするにも物質第一ですから到底今の有様では何も出來ません。けれど私達の出來得るだけの事をして小事より漸次に大事に向はなければなりません。同窓會では今記念館を建てる爲に毎年卒業生より金三圓宛積立金を出して頂いて居りますが、仲々前途遼遠でございますので、少しでも私達が骨折つてこの基本金を積立て一日も早く其事業を遂行したものだと存じます。それで近頃同窓會では何一つとして働いて居りませんので來春は第十四回卒業生も約百五十名有りますのでどうやら私達も千人の會は成立する筈でございます。それで之を機として何かバザーの様な事でも開いて事業に近づく一歩でも進め度いと思ひ皆様に御相談の結果來年初夏の頃或時期を選びて私達の出來得る限りの力を盡してバザーを開く事に決定致しました。

出席幹事

六回　東　一枝　檜垣保世

七回　越智　幸　部屋富子

十一回　大山喜久代　桑原國子

十二回　小林　光子　大塚周代　野村　琴

八月十五日

例年通同窓生全部の方へ會報發行につきての依頼狀を發す。

十一月十一日

運動會當日に於ける同窓會としての事業企につき皆様に御相談を致す爲幹事會を開く旨通知狀を發す。

十一月十五日

久々振に開かれます運動會でございますから先生方の御骨折や生徒達の努力は一通では有りません。同窓會では昨年から母校の運動會には何かしやうと企て〳〵皆様に御相談しかけて居たのですが運動場の出來上らない爲すつかり御流れになつて居りましたが今年こそはいよ〳〵實現さる〳〵時が來たのでございます。

協議決定事項

1、食堂及賣店を開くことに決定す。

食堂 場所 新校舍三ノ三及四ノ一の二教室。
食品 うどん、そば、ライスカレー、汁粉。

賣店 場所 新運動石段下(寄宿舍前)。
賣品 菓子及果物の類。

金券 當日食堂及賣店の品物を買はんとする人は賣店にて、賣品價額に相當する金券を買ふ事。但し金券は一枚に附五錢と決定す。

役割 賣店 (檜垣幹事外補習科生五名)
食堂 (幹事外有志會員)
料理室(東一枝幹事越智幹事外補習生二十五名)
會計 (東一枝幹事及檜垣幹事)
買物其他準備(東幹事、越智幹事、檜垣幹事)

右の如く大体の立案をなし廿四日午後一時再會を約して散會す。

出席者

校長先生 田邊先生 今井先生 岡田先生
六回 東 一枝 檜垣保世
八回 越智 幸 部屋富子
十一回 大山喜久代
十二回 野村 コト 大塚周代 小林光子
十三回 木曾すみゑ

十月廿四日

母校の運動會も明日に迫りました。學校では先生方も生徒も一所懸命に其準備に取り懸つていらつしやいます。同窓會の仕事も會場其他の準備は補習科同

窓會係の方々の手ですつかり準備は整ひました。食堂賣店案内等のビラも母校の大村先生に御願致しました處が喜んで御助け下さいましたので、大變に嬉しく存じました。大山喜久代様大塚周代様も御手傳に來て下さいましたので皆様の御蔭で明日の準備は滞り無く終り明早朝登校の約束をして各自家に歸りました。

十月廿五日

秋には珍らしく吹き荒れて居た昨日の風は何處へやら、空は紺碧に澄み渡り淨土寺の森の上には白い一片の雲がぽつかりと島の様に浮かんで居ります。流れる風、野に靡く草の葉音に至る迄何と云ふ氣持のよい日でございませう。學校に行くと早生徒達は悦びの色を顏の面に湛へてそれ〳〵かひ〴〵しく各の準備に取り懸つて居りました。其内に同窓會係員の生徒達も段々と揃つたので昨日よりの計畫通り賣店の準備に取りかゝりました。高い運動場に昇る爲に廣い石段が幾段もあります。其下の左側ボブラの繁つた木蔭に陣取つて赤白の幕を張りまわし賣店らしい所が俄造りされました。大村先生に書いて頂きました美しいビラもあちらこちらと持ち歩き適當な位置に据えた時の嬉しさ、其内にどん〳〵と密柑や柿が來る菓子が來る、キャラメル、ビースに羊羹に御饅頭、カルケット、チョコレートに籠栗、小櫻飴、並べたて〻見ると仲々店の裝飾にも頭を使ひます。キャラメル、ビース等の廣告一つの吊方吊所さへも此處か其處かと若心の入る事も知つた。間もなくするとパン屋さんが二人石段の右側にお店を出した、お向同士で何れもお客様の有るのを今か今かと人待顏です。食堂の方では東様や越智様が補習科生を指揮して晝の爲の準備に忙しく働いていらつしやる汁粉の餡を練るもの、うどんのおだしを作るもの。皆それ〴〵に忙しそう。ぽつ〳〵觀覽者は運動場に案内されて來る様子。小さいお子様達を御連れ遊ばすお客様はどうしても賣店に御寄りにならなければなりませんでした。つり錢の用意を忘れた爲に賣りそこねたと云つて口惜しがるのも面白く、運動會の始まる前より賣店は既に大繁昌です。御向ひのパン屋さんは一向にお客が無いので手をこまぬいて可愛い賣子達の様子を見て笑つて居る。間も無く開會と云ふので新運動場に走け昇つた。一發の煙火と共に勇ましい君が代の歌は空高く森を響かせました。勇まし

い樂隊の音は石段下の賣店へも時々響いて參ります。觀覽者は絶えず石段を昇つてひし〳〵と運動場に詰めかけます。賣店は益々大繁昌で始めに資入れした品物はすつかり賣れて遂に二度目の註文をすると云ふ有樣です。お商賣も仲々面白いもので賣子さん達も仲々御口上手になつてきました。時は過き易く早午前中のプログラムは大方にめぐられて十二時もほど近くなりました。賣店の混雜さ　菓子果物を買ふ者　食券を買ふ者等で人たかり賣店の生徒達はちり〳〵舞です。お向ふのバン屋樣も今度は大繁昌になりました。賣店を生徒の方に一任して料理室に行つて見ると、すつかり用意は整つて居る樣子。一寸食堂を覗くと何時の間に置かれたか赤いダリヤや菊等の色もとりどりにあでやかに、各テーブルは美しく裝はれて居りました。二三のお客樣は早お汁粉等召上つていらつしやる、用意の蓄音機もかけられて食堂はいよ〳〵陽氣になりました　と斯くする内に運動競技も終へたのかお客樣はどつと一度に狹い食堂に押寄せる、場所は狹しウェタアは不足、食堂の中に一寸入るとあちらからもこちらからも、うどんをカレーライスを、と云つて券を出されるので私も二三の券を持つて料理室に行くと此處も亦大變の人手不足で上を下への大騒動、未だ食堂へ入られないで外に待つていらつしやる方も澤山有る。そうかと思ふと食堂内では御重詰の御馳走をテーブルの狹き迄に擴げまわして悠々と舌鼓を打つていらつしやるお客樣も其處此處に有るし、晝食時の一時間はまるで狂氣せんばかりでした。蓄音機でゆつたりとした氣分は何處へやらお客樣の前に行けば攻められる、料理室にゆけばまるで修羅場です。それでも補習科生のはんとうに熱心なかひ〳〵しい働きぶりと、卒業生の方の御親切な御手傳によりまして、今日の同窓會の仕事は先つ大成功と言はれませう。特に東樣には非常な御手傳をして頂きました、運動會に來て一寸とも運動場へは御上りにならず前掛仕度で來て下さいまして、始めから終り迄生徒をよく指揮して御助力下さいました事を深く〳〵感謝致します。人の御世話もあの樣に出來ましたらとつく〳〵感心致しました。誌上を通して當日の勞を深く感謝致します。午後三時過運動會閉會と共に賣店及食堂も〆切後片附をして散會致しました。

運動會當日食堂及賣店會計報告

一總收入額　一四六・三五〇円
金券賣數二千九百二十七枚（一枚ニツキ五錢）
一總支出額　一〇七・一七〇

內譯

果物	一一・八〇〇	白米其他	一五・四六〇
菓子	四八・五二〇	うどん玉	三・四〇〇
蒲鉾	二・〇〇〇	襖用紙	一・六〇〇
砂糖	四・五〇〇	餅	五・〇四〇
牛肉	四・九〇〇	書籍其他雜費	四・四五〇
餡	二・五〇〇	食券印刷費	三・〇〇〇

一差引殘高　三九・一八〇

十二月一日

去る日舊師大河內定雄先生より同窓會へ金五圓御寄贈下さいましたので基本金會計へ加入致しました。

同窓會會計報告

一般會計報告

（自大正十二年二月十九日 至大正十三年二月二十九日）

收入ノ部

前年度繰越金高	六七四円一四五
會報費收入	三九七・一五〇
銀行利子	一八・二六〇
合計	一〇八九・五五五

支出ノ部

故淺田先生御香奠	五〇・〇〇〇
郵稅及雜印刷費	五四・六五〇
關東罹災民への義金	一〇〇・〇〇〇
故村井てつ樣への御香燭	七・〇〇〇
雜費支出	二〇・二四〇
巽清次郎氏獨唱音樂會出費	二一五・八五〇
合計	四四七・七四〇
差引殘高	六四一・八一五

基本金會計ノ部

（自大正十二年二月十九日 至大正十三年二月廿九日）

收入ノ部

前年度繰越金高	八三二・〇〇〇
第十二回卒業生同窓會入會金	二六七・〇〇〇
巽清次郎氏音樂會總收入	三五〇・四〇〇
牧田宇三郎先生御寄附	五・〇〇〇
合計	一四五四・四〇〇

神戸同窓會支部便り

六回　小川サダ

三月拾六日湊西倶樂部に於て神戸支部創立同窓會が正午から開催されました。皇太子殿下と良子女王殿下の御成婚奉祝の記念事業として、私達に誠にふさはしい良い催しで有ると思ひほんとうに嬉しう御座います、皆様の御願が神様に屆きましたのでしやう暖い春光は草にも木にも鳥にも又人間にも喜びを與へてくれます、此の二三日前迄冷や〳〵と身にこたへる様な冷い風が時に吹いて薄着を見合はせてゐましたが昨日あたりから日中はめつきり熱くなつて少し過勞な働でもしますと脊中や腰のあたりに汗を覺える様になつて參りました、待ちあぐんで居りました今日、一点の白雲さへない青空で何時になく太陽が暖かに照り添うて乾き切つた山手線の電車道が湊西倶樂部の前を通つて西へ走つてゐます、私達の多年の宿望も今日解決されて同窓の方々と姉妹の御挨拶が出來るかと思ふと一時も早く皆様の喜び顔を見たくて會場にあてられました湊西倶樂部の三階へと梯子を鳴らしてかけ上りました。丁度藤井千代子様と湊川公園下の停留所で御逢ひ致しましたのですがお顔を存じませんものですからお互に前後して會場に着いて始めて御懐しくなりました、大泰司靜江様がいらつしやいますし池田敬子様や又高畠タマ子様嬉しくて〳〵て三階の窓を開け放つて皆様のいらつしやいますのを窓から眺めて御呼びしやうと思つて何と申してよいやら盡きない樂しさを秘めて停留所の方をぢつと見詰めてゐます、右へ曲り左の方へそれ〳〵走つて來た電車が交叉点で目的の方向に運轉してゐます、其幾台もの電車が停車する度に降車する黒い人影に視線が動いて居るのです、其夢中の内にお姉様や妹様にお逢ひ致しまして何だか自分の氣が狂つてゐるのではないかと思つたりしては明るい部屋中を見廻してゐたのでした、六十幾疊も敷けるかなりに廣い此の部屋の一隅に私達十三人がゐぢすぎ様の様な福々しい笑顔を輝かして包みきれぬ嬉しい心を抱いてそして話の切目もなく次から次へとありし昔の若き娘心になつてそれからそれへと盡きぬ話を繰返し〳〵樂しむのでした、お子様達のかけ廻つていらつしやる足音の軟かい事、さながら天上に遊んでいる様な輕い輕い氣が浮き出て宇宙を走つて見

たい樣な心持です、思ふ存分なお話をして見度いと思ふ内に又しても笑に落ちて終ひます、寫眞屋に電話をかけましたら直ぐに來てくれまして皆揃つてカメラの前に立つた時にはもう四時も過ぎて五時近くになつた頃夕日が軟く窓にさしてゐます、お壽司を澤山頂戴しまして記念の御饅頭を包み乍ら次回の同窓會にはきつと集りましようと御互に誓つて別れました。

舊職員御住所

東京市豊島師範學校　佐藤　寅三先生
福岡市女子師範學校　杉野三治郎先生
岐阜市縣立高等女學校　牧田宇三郎先生
神戸市籠池通七丁目十五番屋敷（齊藤）　石川　みね先生
廣島市大手町八丁目　（山田）　木原　みち先生
東京市本郷區明治町二一　中田　その先生
大垣市立高等女學校　古山　宗一先生
長野市妻科町三一　（新帶）　杉藤　かく先生
東京小石川林町三三　（阪本）　工藤　花代先生
千葉縣東金高等女學校　三木　多可先生
大阪府豊能郡箕面字櫻井　（枝廣）　上杉　春野先生
上杉彌一郎樣宅
御在米　内藤　たに先生
福井市師範學校　大河内定雄先生
東京府南品川淺間台三六　（戸野廣）　三吉　絹代先生
水戸市上市南町四二四　（高橋）　高橋みゆき先生
京都市外深草町福稻　（小野）　小山　増野先生
西ノ内北野六之助樣宅
臺灣臺南市幸町二ノ四八　森　要人先生
廣島市南竹屋町三八三　三宅　素先生
朝鮮京城中學校　加藤秀　晴先生
ハワイ、ホノルル　（西田）　西田　テル先生
c/o Kubota, Tawa, B N. Borneo.
大阪府立夕陽丘高等女學校　澤田　芳郎先生
東京府豊多摩郡井荻村大字下荻窪　一色　保子先生
埼玉縣浦和町岸　（龜井）　秋山　幹先生
名古屋東海中學校　長谷川はな先生
群馬縣前橋市縣立高等女學校　三橋六次郎先生
在朝鮮　吉野　賢司先生
山梨縣甲府市縣立高等女學校　井上リョウ先生
大阪府立市岡高等女學校　（廣田）　藤田　まさ先生
宮脇　かつ先生

愛知縣双谷高等女學校　渡邊　亮先生
臺灣臺南師範學校　深井米次郎先生
岡山縣矢掛高等女學校　佐藤　歌子先生
廣島縣立第二中學校　市川　邦彦先生
岡山市西中山下　（中西）　西尾　ひさ先生
東京御在住　長谷川英子先生
愛媛縣立今治高等女學校　中江　時助先生
山口縣立柳井津高等女學校　市島　きみ先生
京都市立第二高等女學校　勝見　登代先生
福山市歩兵四十一聯隊第十一中隊
一年志願兵　野田淳一郎先生
東京市牛込區袋町三番地　（森谷）　伊藤八千代先生
福岡縣大牟田市七浦町　（上原）　上原　エミ先生
福山市縣立高等女學校　清水坊養拙先生
北海道幌内炭山市街地　松山　まさ先生
死　亡　井上　暉先生
死　亡　下瀨　精造先生
死　亡　（上村）　金谷　春野先生
死　亡　平賀　瑞夫先生
死　亡　池田　雄策先生
死　亡　淺田　正樹先生
死　亡　長澤　ふみ先生
死　亡　篠原よしゑ先生

◇旧師だより

佐藤寅三先生より

大分御無沙汰を致しました。大正九年に尾道に御伺した時には、八年振で壽美谷、野田、小川、小林、野村、阿蘇の諸姉に御目にかゝりました。其時にも皆立派なお家はんになつて居られましたから、更に六年過ぎた今日は、途中で逢つてもわからぬ位だらふと思ひます。私は東京を出て、尾道に五年、福井に十一年の月日を送り昨十二年四月再び東京に立戻りました。それといふも長男帝大、長女音樂學校、次女女師二部、尾道で生れた三女は高女に入學致しますので其お守りと、一つには郷里へ往復の便宜の爲とで出掛けたのであります、福井に居ては御目かゝる機會も少いが、東京となれば皆樣御上りの折も御座いませうから其節は是非御立寄を願ます、先達て元第一に居られた水田先生に不圖御目に掛りまして大層御懐しく存しました。追て寒さに向ひますか

ら、皆樣折角御自愛なさいませ。

十月廿九日夜池袋假寓にて

消息

杉野三治郎

本年の始め頃でしたか確に覺えはありませぬが、何でも寒い頃でした。久振りに學校へ出まして、卒業生の多くの方々に御目に懸りました。私か皆樣と御分れしてから既に數年經て居ますので、卒業生の方々は立派な奥さんとなり立派な御子樣を抱ひて居られました。是等の方々に御目に懸つた時の嬉しさは情交々湧いて到底筆に現はすことは出來ませぬ。私は十年前も今日も別に年を取つた感じはありませぬが、斯く敎へ子の方々か御成長なさつた所を見ると自ら老境に入つた事を悟ります。然し今も尙病氣にも罹らず、筑紫の空に相變らず敎育の道に沒入して居ます。九州は關西や中國邊とは大に趣を異にしまして、女子も余程男性的です。初めて會ふた時は樣子が大變異て居るから變に思ひましたが、段々慣れて來ると九州女も矢張女性です優しい所は多々あります。萬事か卒直で、實に、あつさりとして居ます勉强力の强いのと運動の熱心には大に感心します、競走などは上級生程早くして且つ續きます、是が他地方の高女生など〻趣を異にする第一の點と考へます。九州女子に中國邊の柔和な性情を植え、中國女子に九州邊の卒直剛氣の氣性を移したら、一層完全な女子か出來る樣に思ひます。福岡は九州中の大都會にて文化の中心をなして居ます。交通機關の發達や工業の發展は確に中國地方には見られませぬ。折あらは、是非福岡へ御出下さい御案内申ます。

吉山宗一先生より

幹事の御方からの御端書、大野中學校から廻送して來ました厚く御禮申上ます。御懷しい貴校を去りまして茲に十年、十年と申せば一昔と言ひますが、私も大分白髮が出て來ましたもう四十に近い年になります、其當時の諸孃も今は夫々何人かの母親として立働いて居なさる事と察します。其間甸年毎年會報を送つて下さる事は吳々も御禮申上げます。今年も近く御發行の由で何か知らせよとの御事ですが、私はこの夏休中、八月四日付で大野中學校から當大垣市立高等女學校へ轉任して來ました。大垣市には縣立高女が澤山あるのですが今年四月更に市の方で新

設されたのがこれです、只今は一年と二年ですこの一二年の可憐な姿を見ては何時も貴校在職中の事がまざ〳〵と眼前にちらづいて忘れられません、どうか當地御通過の節は御立寄下さる樣御待ちして居ます。別に申上げる材料も持つて居ませんので今度は當地へ轉任の御報告までに止めて置かうと思ひます

名古屋便り

三橋六次郎

木枯に吹き散らされさうな三日月が今し多度山の彼方に隱れて仕舞ひました。書見に飽んだ私は我家の簀子に端居してこの生の流れを默考して居ます。浮世の月を見過す事最早七ヶ年今年の冬も最う暮れるに間も有りません。この慌しい人生に何の執着とて有りませんが唯つた一人の愛し兒の爲に節を折つて味氣のない其日暮しをして居ます。子供も最う拾四歳になりました。中學の二年生です。母の袂に縋つて尾崎の潮湯に毎晩通つた時の事を思ふと丸で夢の樣です。私共は其の夢の昔が戀しう御座います。私共の敎員生活としての最も長い年月を過した尾道。春大寶の花の雲秋鶴灣の月の色飽かぬ眺を身に占めて皆樣と樂しんだのは唯今から見ると好い思出の種となります。子供の敎育故郷への便宜さういふ理由の下に參りました名古屋は塵の都、利慾の巷。敎育者としても容易な職業では有りません。生きんが爲には努力もしなければなりません。讀めぬながらも書物を繙き解らぬながらも藝術にも親しみます。改造に太陽に日本人に演劇新調にキネマに扨ては大阪朝日新聞萬朝報此等は私の家庭に最も親しみを持つ新聞雜誌です。此外婦人雜誌に靑年雜誌の數々それに一年を通して讀む新刊書は隨分數に上ります。圖書館通ひから劇場への出入歌右衞門も見ました。菊五郎も見ました。仁左に我童に河合に澤正此頃は山田耕作さんの作曲にかゝる白秋さんの芥子粒夫人も聽きました。時には長唄の會へも義太夫會へも出席します。斯うして精神の糧を穫るに汲々たるのもよりよき生活に生きたいからの人生の悲哀です實に私共の小我はこれ等無數の刺戟に忙殺せられて苦しい生活を續けて居るのです。でもお蔭樣と家內一同風一つ引かず頑健に暮して居ます。夫も此の夏三河灣內の一孤島に四十日間の避暑を試みたからでも有りませう。避暑と申しても今の慌しい生活には泌々と大自然に親しむ餘裕を持ちません。波の響に

は習俗の圏を解きほごす力があると申しますが私共小さい心には僅かに頑なの思ひを緩めて呉れるばかりです。最うすつかり暗くなりました。夕食に間も有りません。食うて寢て又明日は浮世の波に揉まれるのです。今夜は皆様の美しいお顔が定めし枕上に通ふでせう。永久に私の心に若々しく美しくネ。名古屋は寒い。尾道もお寒かつた。お互に自愛を致しませう。左様なら。

十一月廿八日

工藤花代先生より

なつかしき秋の夕こそ思出深く候。御細々と御認め下され御手紙殊に御なつかしく繰返し〳〵拜し上げ候、御許様には御障りもなく御過しの由誠に御目出度く存じ上げ候、當夏御訪ね下されしあの半日が如何に樂しかりし事か、今猶思出て又御訪ねを受くるか、又、私が御地に參りて親しく御話致し得る日の來れかしとそれのみ願ひ居候、御蔭様にて私の病氣產後の衰弱もよほど回復いたし家の内にて毎日ごた〳〵過し居候、多喜男の世話は人手をからずになし得る身に相成候まゝ憚りながら御安心下され度候。喜多男は毎日一人でおねんねして靜かに過し居候成るべくだつこしたりおんぶしたりしない樣に致し居候。知慧づきゆく樣子は誠に面白く候。一方かく赤坊相手に樂しく至極呑氣に過し居る樣なれど、かく私の肉体的の苦痛減ずると共に當夏長女の永眠に伴ひてあれやこれや病中なりし私の事とて致し得ざりし爲か、義理有る中なる爲か、種々と精神的の苦痛を與へられて始めて人生の複雜なるを學び居り候我々に與へらるゝこの人生の道は一本線のものにあらず、いづれの道を取らんか隨分難問題も與へられ候。學生生活、先生生活、青年會の幹事生活を通して觀たる人生とはよほど違ひ居候。人間よりも偉大なる神や佛に賴りて進み行き得る身の有難さをつく〳〵感じ申候、苦痛の中にも常に光明を見て尊き我々の人生に於ける務を果し度候。

飲みかけし盃なれば深くとも
涙と　みもて飲みほさなん

美しい景色の御地で無邪氣なる皆樣に一生懸命にて御敎した時代も私の最も樂しい思出にて候。又斯る時代の來れかしゑ祈れどもいかなる事かあまりの御なつかしさに涙のみほろ〳〵こぼれ候。自分の過去

に於てかく樂しき追憶なつかしい先生方、生徒方を與へられしを感謝致し候。學校以外にもなつかしみ有る御方々の與へられしを深く感謝いたし候圓滿なる人格者美しき信仰の持主なる大西先生を御慕ひ給ふは實にたのもしき事、あの御健康なる御容姿と御年を召しても快活なる御態度とは何處までも先生に習ひ度く候。人生の複雜さを見種々の人々に接する度に何卒皆樣の美点を常に觀て弱き自分も強き美しい性格の人になり度いと思候。お互に多く人に接する機會を與へられしは最も幸福にて候。私はこの頃フォーブス、ロビンソンといふ人のお友達に與へた書翰集を讀み居り候。此人は若くして永眠した美しい精神の持主、多くの友人ありし人にて、殊にケムブリッヂ大學で學生に良い感化を與へ慕はれし人にて候。此人が學校教師なる友人に寄せし手紙の中に「貴女を憎み敵の如くする生徒が却つて貴女の同情を求め貴女の力を求めて居る人々なのだ」との言葉には隨分はげまされ候。生徒の方々に對してのみならず、家庭社會の方々に對しても自分を憎む者共に深き同情を持つて接し仕へ行かば、美しく世渡りも出來る事と思はれ候。「我等の爲す仕事は如何なる仕事でも決して無益に失はれじ」とのロビンソンの言葉には、不遇の中に淋しく働き居る者に如何に慰安を與ふる事か、毎日こつ〳〵働き得る身にもこの言葉が實に有難く、時々刻々自分の爲と業に忠實に小き業も大なる業の一部分なる事を悟りて險しくても此人生の旅路を勇ましく進み度候。先日福永樣御出での節はさぞ御話に花咲きし事ならむ、皆樣に御目にかゝりて心行くばかり御話致し度候。お互樣に身体も健康で立場は違へど元氣よく働き此世に何か捧げ度きものに候。苦しみの中に與へられし一子多喜男を何卒すこやかに眞にお役にたつ人間に鍛へあげ度くと毎日努め居候。此手紙を書く間も側に寢て居てニコ〳〵笑ひいつの間にかスヤ〳〵と眠る罪もなき赤坊には實に慰められ候　隨分長く書き候まゝこの位にて失禮致候。後略。

（檜垣宛）

森要人先生より

一年も居たらサッサとおさらばを極める積でしたがもう椰子の木蔭でお月見を三度やりました、殖民地氣分――マア冷酷、善く言へば淡泊、さういつた空氣が澎湃として全島に漲つてゐます、内地の有象無

象源平藤橘がゴタ〳〵入込んで居るのですから是がほんの所謂呉越目丹といふもの郷貫を同じうするとか、同窓の關係とかあれば格別、かういふ成行は蓋し自然の事といへよう。只母國に對する欽慕の情と神社崇拜の觀念とは到底内地人の及ぶ所ではありません、その一斑を申さば吾第一中では校庭高く國旗を揚げ毎日敬禮をさせます、又祭典には内台人を問はず有ゆる官民が、軍隊は大隊長に學校生徒は先生に、官吏は課長に、引率されて正式參拜をするといふ有様です、予が初目的たる高砂民族の研究は其歩を進むるに從つて意外の事實が發見されます、一昨年中部蕃界旅行の紀行文本校校友會誌に掲載せるもの昨年は不着の由、因て又差上ます余白へなりと御掲載下さい、南支旅行記も載つて居ります。終りに貴紙を通じて先生方及同窓の方々によろしく御傳下さるやうお願申します。

（同窓會幹事宛）

小山增野先生より

前の下宿屋の主人に手紙等廻送して呉れる様にと頼んで置きましたのに、忘れたとて昨日まゐりまして十月四日つけのおなつかしい御手紙を始めて拜見致しました。相變らず御健かにいらつしやいます、御様子何よりも嬉しう御座いました。原稿でございますか、何時もながらまた〳〵失禮させて下さい、勝手ながらおなつかしい皆様方の御様子を近く伺ふ事の出來ますのを何より樂しみに待つて居ります、今の住家は茶畑（今は小さい圓い、うして白い蕾をつけて居ります）を經て有名な伏見のお稲荷様の直お隣ですの、有名なだけあつてそれはそれは賑かです毎日朝早くから夜おそくまで老若男女風俗も様々に澤山の人が參詣致します、參道の両側には種々雜多な物を賣る露店がずらりと竝んでゐます。奇妙な聲で喋りたて〻人山を築いて居る所も御座います。御參詣かたがたいらつして下さい、京都に行きますのにも汽車も電車も都合よく便利です。雀のお宿も近に御座いますこれにも御案内致します。

大河内定雄先生より

會誌御發行に際して是非共消息をと幹事の方からの御勸めですが、扨て申し上げたい事は幾らでもあるやうな氣はいたしますもの〻、何から申し上げてよ

いか薩張り分らなくなります。先づ過去一年間の日誌をめくつて見て今更ながら嬉しかつたと思ふ事を聊か申上ぐるだけで御免を被りませう。旅の樂みは何時でも申し上ぐる材料になりますが本年の樂みだつた一つも矢張り旅でした。殊に本年は豫てからの宿望でした東北の大自然に接する喜びを暑中休暇に成し遂げた事は特に私には忘るゝ事が出來ません。八月の一日でした一週間程滯在してゐた新潟を出發して、その日の午後三時盤越西線川桁驛に下車して其處から大原行の輕便鉄道の小さな箱の中の人となつたのですが、私の目ざす所は盤梯山を右方に半圓形に廻つて川桁驛から十里程山の中に入つた岩代國中ノ澤温泉でした。余り人に知られてゐない此の地が豫期しなかつた喜びを澤山受けました。此處は東北の高原ですから盛夏尙春の氣分で、鶯は至る處に美聲を以て私達を迎へてゐますし、野原には白百合や桔梗の花など一面咲き乱れて此の高原を裝飾してゐます。眞に極樂境と云つても嘘ではありませんでした。此の邊一体には温泉が澤山あります。私は丁度十日間を中ノ澤温泉を中心として日々附近の風景をカンバスに入れることに過しました。高原地にのみ見られるあの美しい眞白な入道雲、羊の群。温泉宿の情調、何れも私にとつては喜の種でした。假令短時日とは云ひ斯ふした霧圍氣の中に過し得た事は眞に幸福だつたと感じたのでした。

十一月の八日私にとつては又大なる喜びの日でしたそれは當地へ皇太子殿下の行啓遊ばされた日です。特別大演習は金澤を中心に加越能の野を砲煙彈雨の巷と化しました。攝政宮殿下には十一月二日　當地を御通過金澤に行啓遊ばされました。私達は停車場のホームに奉迎送申上げましたが、超て八日には大演習の御統監を終へられました殿下の御召列車を再び御迎ひ申した事は眞に喜びの極みでした。

私は縣から奉迎事務嘱托を命ぜられ專ら台覽學藝品の審査及び陳列の仕事に當りました。成績品の審査や展覽會の陳列はこれまで何回か行つた事でしたが恐らく今回程喜びに滿ちた仕事を感じた事はありませんでした。縣下小中學生の圖畫成績品は約數千点其の中から選出しましたのが優秀品四十点これを一々額縁に入れ縣廳舍内の一室にオリーブ色をバックにして陳列いたしましたがそれは頗る立派なものでした。

私も教員製作品として油繪の風景畫を一点臺覽に供する光榮を得ました。行啓の當日殿下には特に御熱心にこれらの作品を一々御丁寧に御覽遊ばされたと拜承いたしました。

先づ私の特に申し述べたい事は右の事共ですが喜びのあまり皆様に御傳へいたした次第でございます。乍末筆貴校の益々御隆昌と同窓會員の皆様方の御健康とを切に御祈りいたします。

吉野賢司先生より

過日はお便有難うございました。早速御返事差上ぐる筈でありましたが、十九日に縣下女子中等學校の庭球大會が弊校校庭で開催されますので、其準備に毎日忙しく遂々延び〳〵になり失禮致しました。思出の深い尾道を去りましてから三ヶ年半になりました。當地へ參りましたのは昨年の九月で、丁度一年許になります。近頃では學校にも土地にも馴れ、仕事もやり易くなりました。多年關西に居りましたので始めの内は土地の人や生徒の氣風が全く違つて居りますので、變な感じが致しました。上州名物は嗅天下に空ッ風と申しますが、女の元氣なのと、風のよく吹くのには驚きました。十一月から翌年の五月頃までは吹き募り一、二、三月は最も強く、風に向いては呼吸が出來ぬのです。斯る影響を受けて居る爲か、人の氣風が荒く、女學校の生徒の如きも女らしい、しとやか所はなく、まるで男の子の樣です。併し淡白ですから一面から考へますと、やり易い点も有ります。只今四年の主任をしてゐますが誠に無邪氣で一年生のやうな感がします。學校の勤務は何處でも別に變つた事もありませんから呑氣です。けれども四月から舍監を命ぜられ、寄宿舍の事務を執つてゐますが、隨分厄介な事が多いです。中でも會計の仕事は氣骨が折れて、始めは心配しましたが、今では馴れて左程苦痛に思ひません。此方に參りましてより郷里にも東京にも近く、僅か三時間餘りで行かれますので、便利でございます。時々土曜日から日曜日にかけて歸郷致します。伊香保の温泉も近いものですから親類や友人なども入湯の序にチョイ〳〵訪ねてくれます。前橋にまいりましてからは郷里に近い爲か何となく力強く思はれます。色々申上げ度い事も澤山ありますがこれで失禮致します。終りに臨み貴校の發展と皆様の御健康とを御祈致しま

す。

（同窓會幹事宛）

亡き人を偲びて

大西タミ様の御永眠を悼みて

第二回卒業生幹事

秋なればなべては悲し草も木も
冷たくなりし君がみ靈も。

輕微なる腸窒扶斯にかゝられ入院なさつたのは九月の中旬でした。これしきの病にと思はれたのは束の間で突然御死去の報に接しました。総ては世の人の弱さと果敢なさを目前にまざまざと見せつけられたのでございました。

其昔在校時代の槇様は優れた体格の持主で一里半余もある余崎の濱邊から毎日元氣よく通學していらつしやいましたものを。御卒業後大西家の人となられ一度は此世の浪にもさすらはんものと家婦としての奮闘十年間實に長の年月を意義ある生活を續けて居られました。

殊に近來は御主人の永の御病を苦とも眺められず女乍らも立ち代つての御商買に夫君を助けられ涙ぐましい御生活の内に八月には今年十才になられる嬢さんに先立たれました。お力落しや如何許りであつたでせう。彼是と御不幸に心を引かれなされてか余りに無情の風の冷やかに吹き渡りましたのか終にはタミ様もみまかり給ふとは女性として余りに辛き業であつたとそゞろ哀悼の意に堪へません。而も御家庭には未だ四才許りの嬢さんが淋しく殘つて居られます。過日お悔みを申しに渡瀬橋を渡つて港の町の淋しい夕暮にお訪致しました節優しいお姑様の「タミさんが亡くなつてから年は寄つた私に乳を求めまして……」と涙ながらのお言葉に二人の眉は曇りました。逝きて歸らぬ君をどんなに惜しんだ事でせう。せめては瑠璃玉殿の極樂に安らげき眠につき給はん事を遠き此方より祈り續けて居ります。

河野クニ様
中島逸子様
吉池光代様
の御永眠を悲しむ

何と云ふ今年は又私達姉妹達の幸薄き年だつたのでございませう、昨年は二人の師の君と三人の姉妹を

失ひ、私達は悲しく其靈を葬ひました、今年こそは殘る多くの姉妹の上に斯る不吉のない樣にと御祈して居りましたものを、昨年に增して今年は又悲しい報を澤山手にして涙のまだ乾く間もない內に又もや三人姉妹の御永逝遊ばしたとの報を御受け致しました神は又如何なる故もてか、斯くも我等が敬愛する姉妹達を早く奪ひ給ふか。神を恨む心の苦しさ、今は亡き姉君や妹達の爲に私達は何をしたらよいのでせうか、親しい亡き姉君や妹の事を思出して靈を慰めませう。青い鳥の中にあるぢやありませんか、チルル〳〵ミチルの二人の兄妹が青い鳥を探す爲に未來の國で亡き祖父母に逢ひます、其時二人の兄妹に「御前達が、私達の事を思出してくれる時私はお前達と逢へるのだ、其時が私達は最も幸福なのだ」と申しました。せめて思出しませう、其時こそは誠に瞬間では有るけれどもなつかしい友の優しい聲も耳に聞えます、美しい御顏も現の樣に浮びます、醒めた夢の悲しさは一倍ですけれども、それが友への唯一の慰めになるのです御一緒に御冥福を御祈致しませう。

山口由譽樣(舊姓武內)の御逝去を悼みて

八回卒業生有志

由譽樣は逝つておしまひになりました。しかも生後四ヶ月におなりになる可愛い可愛いお子樣をおのこしになつて。

御良人からこの悲しい報を丁戴いたしました時ほんとうに何と申し上げてよいやらわからない程でございました。由譽樣は在校中から御病氣勝でいらつしやいましたけれど二十三を一期にお亡くなり遊ばさうとは夢にも思ひませんでした。体格も勝れていらつしたし、人とは一風變つた性質の持主でございましたので私共クラスの者は皆んなよく由譽樣と云へば存じて居りましたのに。

面白おかしい事の中心人物でございました由譽樣がお母樣におなりの事を承つて大變目出度御喜び申上げて居りましたのに、こんなに早く悲報に接し樣とは思ひませんでした。

御良人並びに御兩親の御なげきは如何ばかりかと御察し申上げるのでございます。それに可愛い〳〵お子供樣は何と云ふ氣毒な事でございませう。

呼べども叫べども由譽樣の御返事は永久に我が耳に

歸る時はないでせう。由譽様は逝つておしまひになつたのですもの。

岩井清子様の御逝去を悼みて

第八回卒業生有志

やさしい、女らしい、學校でよくお出來になつた方であつたと言ふ感じが強く岩井様に結びついて思ひ出されます。

岩井様は去る五月廿九日。御両親のあたゝかい御看病もかなはず御亡くなり遊しました。誠に御氣毒な事と存じます。私達のクラスから殊に勝れていらした彼女をうばひ去つた病魔をうらまずにはゐられません。

彼女はほんとうにおやさしい方でございました。眞に女らしい女性でした。物事に叮嚀でいらつしやいました。女學校二年生のおさげに被布姿は彼女の凡てを現はしていらつしやる姿の様に思はれてなりません。岩井様はよく御出來になりました。或る時は級長に、或る時は文藝部の委員に、常にクラスの爲めに親切に御つくし下さいました。やさしい中にもあの生々した御眼の持主だつた事を忘れる事が出來ません。もし生ながらへていらつしやればどんなに立派な奥様におなり遊したでせう。どんなにあたゝかい母性愛をそなへた御方におなりだつたでせう。幾度くりかへしても、くりかへしてもおつつかない事ではございますが、御両親の御なげきも一方ならぬ事と存じます。私達クラスの皆様がこの報に接しられた時には「あゝあの方」がと御氣毒に御感じになるにちがひ御座いません。その心持を岩井様は美しい世界で喜んで御受け下さるでせう。思ひ出す事のみ多くて筆の運ひもにぶつて參ります。唯一言を靈前に捧げて冥福を祈り上げます。

村上フサヱ様のみまかり給ひしを悼みて

第十三回有志

皎々たる月の光を浴び、燦爛星の瞬く頃までひたすら學にいそしみ、四年の星霜を重ね、業終りてなつかしき學の屋を後に名殘り惜しく別れてより未だ半年も經たざる八月一日

嗚呼!!! おもへば悲しき日なりしよ。

我なつかしき村上フサヱ様は！

呼べど答なき黄泉の國へ旅立たれ給ひき。

顧みれば此級にて第一番に他界の者となるは私なりと學生時代の君が御言葉。今やかなしくもそが眞をなしたるなり。

運命の神よ!!!

余りに慘酷な御仕業にあらずや?

死は生きる者のまぬがれざる運命とは言へ、今し漸くほころびんとする蕾のそが盛りの花をも待たで散らし給ひしぞ……

嗚呼悲しみても歎きても尙余りあり。

君は級中第一の數學家頭腦明晰、しかも溫厚なる人にして級友ひとしく君の將來を待ち申せしに……

今やいかんにせん。

嗚呼!!!逝きし君、永久に安らけく眠り給へ

拙き筆先乱れて容易に書き得申さず

是を以て哀悼の辞とし級友一同君が御冥福を祈り奉る

會員

二回　旧姓　槇　大西タミ
三回　旧姓　林　河野クニ
八回　旧姓　武内　山口由譽
八回　岩井清子
八回　土生　中島逸子
十一回　吉池光代
十三回　村上フサエ

前記皆様の御遠逝を悼み茲に恭しく哀悼の意を表す

浦曙會

◇會員消息

通信

橋本信子（一回）

拜啓時分柄余程寒氣相催し申候折柄母校には諸先生方はじめ御皆々様にはいよ〳〵お健やかに御勉勵の御事と誠に御芽出度存じ上げ候。扨て過日は通信の御督促を頂き申候を誠に御無沙汰に打過ぎ何とも申譯もこれなく候。

去五月七日河野くに様（第三回林様）死去遊され誠に哀悼に堪えぬ次第に御座候。

當地支部の爲只ならぬ御盡力に預り居候若山帛世様（第三回吉池様）にも御都合上神戸へ御轉住遊され候につき右一寸お報知申上候　後略

田坂ます（二回）

本年の暑さは取わけ嚴しう御座いましたが何時の程にか虫の音を聞く秋もおとづれてまゐりました。諸先生を始め同窓の皆々様には御障りもなくいらせられますか御伺ひ申上げます。私こと日頃は御無沙汰のみ致しまして誠に相すみません、此度は會誌發行につき近況をとの御親切なる御便りいたゞき有難く存じます、皆様方には御多忙中にもかゝはらず御骨折下さいまして何と御禮の申上様も御座いません、何分にも平凡なる生活を毎日繰返して居りますのみでこれとまとまつた事も御座いませず申譯もありません。光陰矢の如しとか私事卒業致しまして實に十年と云ふ一昔の月日が過ぎ去りました、會誌の口繪であの母校の前にある杉の木の高く校舍の屋根にまでとゞくが如くのびたのを見てラケットを持つてゐた當時がそぞろにしのばれました。まあつまらぬ事を書きまして御許し下さいませ、尙今後共御世話様に相成る事と幾重にも御願申上ます。最後に諸先生並びに同窓の皆様方の御壯健を御祈り申上ます、取急ぎ乱筆にて御許し下さいませ。（同窓會幹事宛）

長藤壽子（三回）

先般は御手紙有難拜見致し候。

其後は永らく御無沙汰致して誠に申譯之無候。此節では余程凌よく相成候處母校皆々様如何御過遊され候や。降つて私事無事消光致居候まゝ他事ながら御安心なし下され度候。

扨早速御返書差出べき筈の所、此度都合により表記

の所へ轉居致し候爲、何かと多忙に取急ぎ心ならずも失禮致居候。何卒あしからず御許しの程願上候。就ては會費甚遲く相成何とも申譯之無候。只今二ヶ年分壹圓御送附申上候まゝ御受取下され度候。

藤田雅子（三回）

御なつかしい岡田先生申譯もない御無沙汰を致しまして相濟みません、先生には相變らず御壯健で母校のため御盡力下さいまして誠に有り難う存じます、時折御伺ひせねば相濟まぬとは存じつゝ失禮許りして居ります、母校も次第に發展致し居ります由一度出尾の節來校致し度く思ひ乍ら、いつも歸京を急ぎ中々御目にかゝる節が御座いません。先日母校より消息を送る樣との御手紙を頂きました時も丁度亡父の一週忌で尾道へ參つて居りましたが何分守留居が御座いませんので例に依つて直く歸りました（中略）乍末筆學校の皆々樣へ宜敷く御傳へ下さいませ。尙當地へ御越の節には是非とも御立寄下さいますやう今より樂しく御待ちして居ります。

追　伸

石岡先生（旧師）は一昨年迄は府中女學校に御奉職で御座いましたが昨年御上京遊ばして只管御研究中あの震災にお遇ひになり隨分御難儀なさいました、其節くわしい御手紙頂きました、其後「かげもない帝都に望みを失ひとう〳〵當地に迷ひ込み目下は關西大學の老學生として吹田驛近くに佗び住ひしてゐます」と御たより頂きましたが先日御手紙をさし上げましたら、最早や御立ちのきの後らしく附箋して歸りました、多分再び御上京御勉學中と存じます、余り先生の御近狀を誌上で御見受け申しませんからつい仝じ級友に殊に私共に最も御緣の深かゝつた旧師の御近狀御知らせ申したいとさしでがましく加筆申しました。

（岡田先生宛）

藤田雅子（三回）

いつも御無沙汰許り相すみません、恩師の君はじめ諸友のかたゞ〳〵さぞかし御變り遊した事と存じますお早いものですね、お別れして十年にもなりますもの、至つて筆不精者ですから皆樣の御動靜を承りますのは年一回御發行下さる會誌許りです、其の後御屆け下さいますのをどんなに待ち申して有難く思つて居るかわかりません、それに〳〵ちつとも御便も

せずほんとうに相濟まぬ次第で御座います、今年こそは是非御通信せねばと思ひつゝ早や幾年かを過して居ります。

私はまだ子供も御座いませんし、いつ迄も呑氣な生活して居ります、來る日も來る日も余りに單調なので昨夏より今年五才の男兒を養育して居ります。人一倍腕白の元氣のよい子で中々に骨も折れますが、育て甲斐もある樣に思はれ成長するのを樂しんで居ります、又常々何か趣味ある研究を致し度くと思ひつゝ未だあれかこれかと迷つて居ります、當市醫師婦人會主催で料理編物子供服など次ぎ〳〵に講習が御座いますので、其都度出席して見聞を廣め度くつとめて居ります、日頃の唯一の樂しい旅行散策では御座います。今日此頃の樣に長閑な小春日和が續きますと、もうぢつと内に居度うございません、それでも次の日曜のプログラムを心に描きつゝ平生は皆一生懸命に己が務めに勵みます、而して樂しい日曜には一家族打連れて此處彼處と四季折々の名所を、さては隱れたる旧蹟を探ね薄らいだ昔の記憶を辿りつゝ歴史を追想したり、時に嵯峨の絶壁に立ち誰れ憚る處もなく大聲に獨唱し、或は宇治川の急流に舟を浮べて綠濃き心靜き流れにしばし我と我を忘れて恍忽として居る事も御座います、今年のお暑かつた夏も夕涼に嵐山、大津石山あたりを幾度か螢を追ひつゝさまよつたものです、千鳥の鳴く聲は聞かなくとも加茂川べりの涼しさも又一入で御座いました。

補習科の時に枝廣先生が「京都は住みよい最も好きな所」といつも仰せられて居たお言葉を此頃痛切に感して居ります、旧式な点もないでも御座いませんが兎に角一般にお上品で住み心地よろしく遊ぶ所の多いのを殊に愉快に思つて居ります、長藤壽子さんとは極く親しく御交際して居りましたのに先日枚方の方の主人樣が仝し府立醫大に御研究中で御主人樣より屢々遊びに來よとの傳言を頂いて居りますが、未だ御目に掛る機會が御座いません。只御無沙汰の御わびのみを筆を取りつゝかくも長々と取り止めもない事を書き連ね失禮いたしました、あしからず思召下さいませ。乍末筆御幸福な皆樣の上に彌まして幸多からん事を祈つて止みません　（岡田先生宛）

小川延子（三回）

お尋ねに接し恐入ります絶えて御無沙汰致しました

仰せの通り大變におきびしいお暑さでございました先生がた同窓の皆様がたにはいかゞ御暮しやらと御案じ申しながらも御うかゞひもしない失禮者でございます、何卒惡しからず御ゆるし遊しませ、母校の爲めに御盡し遊していらつしやる幹事の方々様にいつもこゝろから感謝して居ります、ありがたう存じます。近き内に會報御發行になります由何かと御骨折の程御察し申上げます、幹事の方々様の御盡力でお懐しい先生がた同窓の皆々様がたの御様子をも承はらせていただけますのでほんとうにお嬉しう御座います。鎌倉の里で至極平凡な月々をすごして居ります私の事とて皆々様がたに御はなし申させていたゞくやうな何物も御座いません、父も母も亡くなりましてたゞ一人淋しい靜かな心で暮して居ります事とて、震災以來恐怖のうちにまことに落付のないあわたゞしい日のみ多く一週年をむかへました。永久に忘れてならない忘れる事の出來ない思出深い年で御座いました、全滅にひとしかつた當鎌倉も中々の復興振りださうで御座りますが外出をしない私はたゞ新聞紙上で知ります位の事で之とてくわしい御様子を御聞かせ申す事も出來ません、益々母校のお榮え先生がた皆様方の御幸福をお祈り申して居ります

（幹事宛）

中村ふさ子（四回）

其後は御詫の申上様もなき大御無沙汰に打過ぎ何とも申わけもございません。何卒あしからず御許し下さいませ。何時も心にはかゝりながら御無沙汰の仕流しにて何とも御恥かしく存上げて居ります。母校諸先生様をはじめ同窓の皆様御變りもなく、御機嫌麗はしく御過し遊ばされます御事と御察し申上げかげ乍ら御うれしく存じて居ります。降つて私事御かげ様で何時も元氣にて平和に過して居りますから何卒御安心遊ばして下さいませ。只々子供の居りませんのを唯一の不滿に存じては御子様のおありになる方々を御うらやましく存上げて居ります。從つて家庭の中も大人ばかりにてきまつた生活をいたして居りますから割合に雜用も少く修養の時間は充分あるのでございますけれど、不精者の意氣地なしでございますから毎日〳〵これといふ事もなく無意味に打過し誠にお恥かしく存じて居ります。何時ぞやは尾道驛にてはからずも御目にかゝり御なつかしく存じ

上げました。もつとしみ〴〵御話承り度く存じましたが、時間がございませんで、殘念に存じました。折角のお尋ねにこれと申しお答へもいたさず、無事なる事のみ御返事いたします何卒〳〵御許し下いませ。末乍ら暑さきびしくございますが御身御大切に母校の諸先生樣、同窓の皆々樣に、およろしくお傳へ下さいまし。

（高垣宛）

村上ヨシ（四回）

細長い港の町に灯が入つて秋の夜は涼しうなりました。長い事御無沙汰申上げまして、何と書き出してよいか分らない樣でございます。おなつかしい諸先生をはじめ同窓の皆樣方にも御つゝがなく御過し遊ばされますか。先日は御親切に母校の幹事の方を通して會報發行の御通知をいたゞきまして有りがたう存じました。第一回發行の時誌上を借りて皆樣とお話し申上げた切りで御座いますので、是非つまらない消息でもと思つて居りましたのに、丁度病氣して入院いたしましたり、子供が田舍の祖母の所へ遊びにまゐり居りましたのが歸宅いたしましたのと、何かと取まぎれついこんなにおくれてしまひました。もう間に合はないとは思ひましたが御詫びまでにと筆走らせました。去年の秋に比べて何といふ平和な秋でございませう。悲しい記憶傷ましい事實の關東大震災の一週年も早過ぎました。ほんとうに大きな苦しみにお逢ひ遊した同窓生の方々は今頃どう遊してゐらつしやるでございませうかと、一番にお伺ひしたう存じます。復興〳〵と勇ましい初聲をあげた東京も中々生優しい勞力では完成いたさないで御座いませう。あれだけの失はれた物を取り返すので御座いますから。かうして平和の町に過してゐる私どもは共に緊張して暮して行きたいものと思ひます。一日には諏訪山下の武德殿の追悼會にまゐりまして傷ましい多くの犧牲者殊に金谷先生村井てつ子樣杉野樣などの靈を吊ひました。私も神戸の地にまゐりましてまだ長くもなりませんし、一向方々へ外出いたしませんので、是と申上げて御傳へ申す何物も御座いません事を殘念に思ひます。何しろ繁華な開港場でございますから小さな店の內儀さては只一介の車夫までもペラ〳〵と外人と應對してゐるといふ有樣で御座います。かうした所に居りますと、人は何時までも勉强しなきやならないといふ感じが深うな

ります。女學校で習つた英語なども本やノートと一緒に本箱にしまつて置きましてはだんだん忘れて使へなくなつて失ふ樣で惜しう御座います。よく教會や途中などで逢ひます外人でもあやしげな日本語で直ぐ話しかけますのに、日本人は中々知つてゐても臆病なのか口に出さない樣に思はれます。私共の長男の實は幼稚園に通つて居りますが、こんな幼ない者でさへ早英語の唱歌を習つて歌つたり、西洋人の先生に朝の挨拶を申して居ります。(勿論外人經營の幼稚園では御座いますが)近いので毎日三輪車にのつて勇ましく通つて居ります。もう一人薫といふ女の子が居りますので家は中々賑やかで御座います。子供本意の家庭として開放して居りますので、御座敷で木馬が出るやら、ブランコするやら、蓄音機に合してダンスのまねをするやらで、それは〳〵面白う御座います。又主人が山登りが好きで御座いますので、休日には一家族打ち連れて近くの布引山に登ります。子供二人を連れて一寸したお辨當を持つて登るのですから、中々苦しいので御座いますが何度もまゐりますので、大分なれて足も丈夫になつた樣で御座います。神戸の水源地のある所で中々景色のいゝ所で御座います。こんな風でございますから子供等は大抵洋服のいたづら着を着せて居ります。それも手製で色々の型に工風してミシンかけますので出來上つて着せた時には一層嬉しくて樂しみで御座います。毎日の家事の世話から子供の遊び相手を一人で致して居りますので少しのひまもなく忙しく、けれど樂しく暮して居ります。中々自分の趣味などを滿足させるだけの暇は御座いませんので、從つて御通知する材料もない譯で御座います。御許し下さいませでは終りになりましたが母校や、同窓會の御發展、先生方皆樣の御幸福を御祈り申上げます。皆樣神戸御通過の時は是非御立寄り遊して下さいませ何時でも御迎へに上りますから。　(高垣宛)

田村ミヲ(四回)

渺渺數千里の太平洋、此大平洋に面する阿波の東南椿泊港こそ吾住む所にして戸數約九百、長き事蛇に似たり。氣候温和、人情朴直、古代の人の如し。水陸の接する所、宏壯雄大の風景は同窓の皆樣にお目にかけたし。轟々として惡魔の叫號するにも似たる不斷の濤聲はこれまた皆樣に一聲聞きて戴き度し。

潑溂たる鯉の大魚これまた序に皆樣の御目に懸けたし。つく〳〵吾等が母校に通へる頃を思へば一場の夢、涙憯然として下る。當時の同窓の皆樣今や其風姿も一變せるならん。豚の如く肥滿し、或は鶴の如くやせたる方もあらん。其境遇や日々の生活狀態も想像し得ざるべし。私も今は二兒の母となり。子供相手に平和に氣樂に暮せり。臺所にも出勤すれば、看護婦の監督もし、時に病室に行きて患者を慰安する事あり。されど幸に健康にして日々活動せり。幹事樣始め同窓皆々樣の御健康と御祝福を切に祈る

學び舍に通へる頃の空想

今は夢とはなりにけるかな。

永原ヨネノ（四回）

平素は御無沙汰ばかりしてゐますが、諸先生樣には御變りありませんか。先日會費の事につきましてお手紙戴きましたのに當時避暑をかねて旅行をしてゐまして、大變延引してゐます。今から納めまして構はないでせうか、都合が惡かつたら來年度一緒に納めます。轉宅しましたので御通知をかね御伺ひ致します。

靴掛トヨノ（四回）

秋もいよ〳〵深くなつてまゐりました。其の後は何とも申上げ樣もない御無沙汰をしてしまひました。本年の一月家庭の都合上（主人研究のため）上阪致しましてから、毎日の樣にお便りしなくてはと思ひつゝ今日まで暮してしまひました。御許し下さいませ。其の後は相變らず御元氣にお忙はしく意義ある御生活を遊ばしていらつしやいます事と御悅び申上げます。御子供樣は御元氣でいらつしやいますか。もう大分大きくおなりなすつた事と存じます。考へて見れば學校を卒業しましたのもたつた此の間の樣な氣持がしますものを、早いゝおばあさんになつてほんとにおかしい樣ですわ。時々やつぱり若い氣で大きな聲で歌など唱つて居ますと、一緒になつて歌つてゐる子供が自分の子だと思ひます時、おかしいよりむしろ不思儀なやうなそしていつまでも若い氣でゐるのがはづかしい樣な氣が致します。上阪の當時は大阪の市中に居りましたが、御存知の樣な煙の都で子供のために惡いので只今では此の吹田の方で靜かに暮して居ります。嘉秀（五才）誠秀（三才）の子供を相手に何等まとまつた事も出來ず、只ぼんやり

とした日を過して居ります。今迄は隨分と大勢で忙がしく暮してゐましたのにこうしたひつそりとした生活に入つて初めは何だか物足りなさ淋しさに涙がにじむ日がございました。今はすつかりなれて忙がしい思ひなどしつゝ暮して居ります。當地はそれは〳〵空氣もよく、又近所もよくて滿足して暮して居ります。併したんぼ道を通つて來る樣なところなので、多少不便を感じる時も御座います。大阪へ汽車で十三分、電車で二十分で御座います。黄色く實つたたんぼを一目に見られる郊外は一入秋らしく感ぜられます。今宵は殊更に虫の音がよく聞えて、物あはれさを感じます。今更おたよりするのもと思ひましたが、急に思ひついてしたゝめました。御上阪なさいましたら是非〳〵御立寄下さいませ。御願ひ致します。今春藤井靜子樣御上京の時には御より下さいまして、二三日とまつて下さいましたので、久々振りに、まるで學校時代の樣な氣分でさわぎまはつたり、見物に行つたり致しました。きたない字を書きつらねました。御判讀下さいませ。お友達の誰にもよろしく御傳へ下さいませ。岡田先生にもお逢ひになりましたら呉れ〳〵もよろしくお傳へ下さいませ。時節柄何卒〳〵御身御大切になさいます樣御祈り申上げます。

（高垣宛）

西永ミサオ（五回）

朝夕は余程涼しくなりましたが、諸先生はじめ幹事樣方々には御機嫌うるはしく渡らせらるること〻かげ乍ら御よろこび申して居ります。平素は御無音にのみ打ち過ぎ、今更何とも御詫の申樣も御座いません。何卒惡からず御許し下さいませ。

扨て先日は御丁寧に御尋ね下さいまして誠に有たう存じました。早速御返事をと思ひましてもこんなにおそくなつてすみません。ほんとにお恥しい次第で御ざいますが平凡に消日致して居ります。私は別に申し上げる事も御座いません。何卒惡しからず御許し下さいまし。延引ながら本日會費二圓同封いたしおきますからどうぞよろしく御願ひいたします。終りにのぞみまして母校の御發展を蔭ながらお祈り上げます。

川村ヨシコ（五回）

朝夕はいづこともなく秋氣を感じます折柄いともお

健やかに本會のために御盡力下さいます幹事の方々に厚く感謝いたします。

早速本年度會費同封いたしましたから御受納下さいませ。

猶名簿作成の御都合もあらうかと思ひ去る四月葉書を以て私の改姓の通知をいたして置きましたが未だそのまゝになつて居る樣で御座いますから重ねて左に申し置きませう。委しい御樣子も會誌のために御送りいたし度う存じますが、この度は失禮させて載きます。終りに皆樣の御幸福を祈ると共に一日も速かに會誌の御發行あらんことをのみお待ちして居ります。

片山千枝（五回）

申わけなき御ぶさた申上候折柄諸先生始め同窓の皆々樣其後如何と思ひめぐらし暮し居候ところ會報第拾号御送附け下されうれしく厚く御禮申上候丁度十日あまり大坂へ參り留守中へ御屆け下され昨日參りし樣申居候同窓の皆樣にもみなそれぞれに何かと御變り遊ばした御樣子なれど手前共も早や女兒二人男子一人の忙しき家庭と相成り學生時代には想像だに及ばぬわづらはしき其の日其の日を先は恙なく過し居候間御安心遊ばされ度御願ひ申上候何卒末筆に候へ共諸先生同窓の皆々樣へよろしく御傳へ遊ばされ度これ又御願ひ申上候右とりあへず御禮まで

尙こゝしばらく樂しく昔を偲び會報拜見申上候　あらあらかしこ

惠谷ハツヨ（五回）

何時の程にか秋も訪れお祭にふさはしい時節となりましたが母校の先生方始め同窓の皆々樣には御變りもなう御過し遊はされますか御伺ひ申し上げます。扨今回會報發行に付きまして近況をとの御親切な御便り誠に有難く御座いました。折角のおすゝめで御座いますが山奥住居をして日々平凡な生活を繰返して居りますのでこれと申して纏つた事も御座いませんが當地に參りましてからの感想の一二を申し上げませう。尾道から二里余り山奥に入りました所で御座いますが、純農村の故か大變靜かで御座います。只々戸毎に織る疊表の機音のみが靜けさを破つて聞ゆる位で御座います。次に大層珍らしく感じましたのは農夫が薪でも薪でも大抵の物は「おいこ」と云

ふ物で背負つて歩く事でした。島育ちの私は余り見た事がありませんので「薪せ負ひ來る谷の細道馴れし谷川の橋を渡れば」の歌を思ひだし何となう山奥氣分を味はせました。四方の山々は樹木が生ゐ繁り山と山との間を綺麗な谷川が流れる等皆私の目をよろこばせました。春はわらび狩に、つくし取りに、夏は涼しい川邊で螢狩、秋は茸狩、栗拾ひ、なかなか捨て難い面白味が御座ゐます。殊に當地は本郷螢とて普通の螢の三倍位もある螢が出盛りには川一面火の流れる如く實に螢の名所と云つてよろしう御座います。それ故尾道からも自轉車をとばして取りに見ゐる方が大分御座います。かう申しますと何だか別天地のやうで御座いますが一長あれば一短あるとか質朴で空氣はよく靜かでのんびり致しますがふ便な事も澤山御座います。休み日、お盆等でもこれといふ娯樂が他にありませんので朝早くから夜おそく迄鐘や太鼓をたゝいて遊ぶ位の事で御座います。然し村の鎮守のお祭には部落で各當人を出して綺麗に着飾らせ、馬にも飾をつけて村の若者が大勢で走らせるのが見物で御座います。何分田舍で御座いますので同窓生は至つて少なく、昨年暑中休暇に神戸で教鞭を取つて居られる第九回卒業生杉原ヒサコ様にお會ひしたばかりで御座います。只今輕便を敷設して居りますので竣工のあかつきには當地からも澤山母校へ入學せらるゝ事と思ひます。このあたり一帶は副業(疊表)の盛んな所で御座いまして、皆せつせつと働いて居られますので余り外出もせぬ。二人の子供のお守やら日々の家事に追はれ新聞雜誌を讀むのが何よりの樂しみで御座います。末ながら母校の發展と諸先生始め同窓の皆々様の御健康の程偏にお祈り申し上げます。

豊田セイ(五回)

いつ迄もお暑い事で御座います。おなつかしい母校の先生をはじめ御皆々様如何御凌ぎでゐらつしやいますの。長い長い休暇開けの今日は久々で皆様母校へ御集りの御事とそぞろありし昔を偲んで居ります扨今日は九月一日思ひ出すだに身の引しまる感じがいたします。そして今日の一日を事なかれかしと薄氣味わるく心地で過して居ります。午前十一時五十八分いつもより少し早目にお晝を終へまして五才の民夫に二才の純子をひざに市内の神社をはじめ會社

工場大商店等一齊に何か音響を持つて時刻を知らしました時靜かに瞑默幾分、なき友よさらば、悲慘極りなき最後を遂げた幾多の人々よ、とこしゑに御魂の安らかならん事を神に佛に祈りました。命は勿論恐ろしい目にさへ逢はなかつた私は深く深く神に感謝いたして居ります。恨んでも恨んでも足らない又恨むによすがもないこの自然の不可抗力に對しては只々不幸なりし人々の上に思ひをはせる時何事か腦裏に浮んでまゐります。めぐまれしこれより先の日を月を無駄に過さない樣一年後の今日更に深く誓ふたので御座います。同窓の皆々樣汚いところでは御座いますが御上京遊しましたらお立寄り下さいまし。なつかしい母校や故里の樣が伺ひたうございます。母校の發展皆樣の御健なる事をかげながら祈り上ます。次に今年万一ヶ年二ヶ月の長女に試みました、大變ゆつたりしてゐて着せます時の容易なると格好の可愛いのとが氣に入りましたので一寸書きました。布は何でもお洗濯のよくきゝますもの又白のメリンスもよろしう御座います。

巾二尺一寸、丈二尺五寸、袖口のゴムテープ八寸、襟に通す紐二尺七寸（絹テープで布の地色に配合よきもの。

裁ち方、巾は一杯に耳のまゝおきます。丈は二つに折り圖の如く後の繰五分前はそれより七分多く繰ります。

縫ひ方、始め脇を袋縫とし（縫目に袖下の繰りどころだけ切目を入れませんと出來上つて引つります）出來上り一尺一寸になる樣、裾へ一寸五分折まげてくけつけます。袖口は耳のまゝ五分折込でゴムテープ二寸入れてくけます。

頸は裏にミカヘシをつけ、前身の横へテープを通す穴二つあけ穴かぶりをしてテープを通します。これで出來上ります、ミカヘシの切は必ず斜の切を御つかい下さい着せます時は頭からかぶり頸でしめますボタンも入らずいたつて簡單で御座ゐます。

裁

方

七寸

前

後

五寸

五寸

一寸五

5分

7分2分

辻本敏子（六回）

暑さ寒さも彼岸までとやら、例年にないいつまでも嚴しうございましたお寒さも、漸く日一日と暖かくなつて參りました。母校の諸先生初め同窓の皆々樣には御變りございませんか。御伺ひ致します。次に私も毎日家庭にあつて、無事に樂しく暮らして居りますから御安心下さいませ。先日は待ちに待つて居りました會報を御送り下さいまして有難うございました。もう嬉しくて〳〵、何も手につかないで一日なつかしい母校の有樣やら、同窓の皆樣の御消息を息もつかないで拜見致しました。

母校の御發展が何よりうれしうございます。昨年五月病氣しまして、六月になつかしい故郷へ四年目に歸り、八月の同窓會にも出席しまして、あの御慈愛深い岡田先生に御目にかゝり、同窓の皆樣にも久しぶりに御話し致しましてほんとうにうれしうございました。

此頃私事右手の指を痛めまして、赤十字病院に通つて居りますが、七回の岡野ユクェ樣がゐらつしやいます。そして大變御親切にして頂いて居ります。昨年五月にも御厄介になり、今又御厄介になつて居り

ます。同窓の方に御目にかゝりますのが何より嬉しうございます。

一月頃にも、福永千代子様にも一寸途上で御目にかゝりました　先日吉原美代様の御宅を御訪ね致しました。御二人の母様で大變御忙がしそうでございました。段々と皆々様から離れて行く時に、會報を手にとつてみますとなつかしくなつて御たよりしたくなります。

隨分くだらない事ばかり並べました。早く御禮をと存じ乍ら、つひ〳〵おそくなつてしまひました。何卒あしからず。

終りに、「母校の發展と、皆様の御幸福を祈り上げます。かしこ。

藤井タキ（六回）

其後は御無沙汰ばかり致して居ります。皆様御變りなく御過し遊されますか。私もおかげ様で無事に只今は長男五才、長女一才（百日程）の二人の子供の母として毎日〳〵變化の少い田舍に過して居ります。何もおしらせ致すやうな事もございませず、只々社會の一人として生存してをるのみでございます。

（中略）私の如き山奥に生活して同窓の皆様にお逢ひ致す事のむづかしいにもかゝはらず年と共に御出世遊す皆様の御様子が委しく聞かれますので、會報の御發行を樂しんで御待ち申して居ります。取りあへずお様子のみ申上げます。

浦岡辰（六回）

殘暑嚴しうございます折柄、校長先生初め、諸先生には御機嫌よく渡らせられますか。いつも心にかかり乍らも、筆無性のため心ならずも、御無沙汰致しまして今更お恥づかしい次第でございます。何卒御許し遊して下さいませ。

先日は御手紙頂きまして有難うございました。私にまで近況を知らせよとの御申越でございますが平凡に過して居りますので、別に申上げる様な材料がございません。おかげ様で只今は四才になる子の母となりまして無事にて日々家事に忙しく暮らして居ります。子供も至つて丈夫に育つて居りますから何より安心して居ります。今年度の會報も近き内御發行の由、御なつかしい皆様の御様子を承ります事が出來ますと今より樂しみに待つて居ります。（後略）

大町みち子（六回）

燈下親むべき季節となつて參りました。其後は意外の御無沙汰致しまして申譯もございません。皆樣には益々御元氣にて母校のため何かと御盡力下さいまして有難う存じます。私事昨年四月初旬結婚致し、主人の在勤地たる當地に參りました。今年五月男兒出生、今は母としての務めに急しく暮らして居ります。

「子を持つて親の恩を知る」と申しますが實際一人の子供を育てるにも隨分骨が折れます。近頃は子守と食事の仕度、掃除等で一日が暮れてしまひます。何だかつまらない樣な氣が致します。けれども第二の國民として立派に敎育し、國の爲家の爲盡させるといふ事は女としての大役だらうと存じ、一生懸命に育てて居ります。

取りあへず近況御通知のみ。かしこ。

谷　靜　香（六回）

距るものは日日に疎しとか、送別會のその夕幾久しく謦ひし言の葉も、今は皆樣の御樣子も判らぬまで御無沙汰致しまして、只々年一回の會誌によつて皆樣の御消息を承り、どんなにかおなつかしく存じます。筆取る暇のなきにもあらぬを、例の無精者とて心にもなき御無沙汰致せし罪まげて御許し下さいませ。師の君樣初め、同窓の皆樣には御變りもなう御健かに御暮らし遊されますか。御伺ひ申上げます。此度は皆樣の御盡力によりまして、いよ〳〵會誌御發行の由、悅しく存じます。又それにつけては、數ならぬ私にまで有難き仰せに隨ひ、御詫かた〴〵書き並べませう。

私も今までは至極呑氣に暮らし、晝間は只一人にて誠に淋しきまま氣まぐれに裏の空地へ、折々の草花や三ッ葉トマト菊菜等の野菜類を作り、大きくなるのを毎日樂しみに日を送つて居りましたが、昨年十月に男子を分娩致しましてよりは、それ等の仕事は何處へやらそれは〳〵忙しく終日守にかゝつて居りますやうな次第、昔からも「子に飽くと申す人に花もなし」とか申しますが、事實子供位罪のない可愛いいものはありません。

乳かむと叱り乍らも齒をかぞへ

宅の子供も日一日とおいたをよく致すやうになり、色々と藝も覺え、小さい乍らも一家の中心となつて

居ります。母と呼ばるゝ素養もなき身の、育兒との心配も多く、とかく後より心づく事のみでございます。諸姉様には御經驗談等おもらし下さいまして御指導賜り度願ひ上げます。下手の長文とか、此上拙き言葉をつらぬるもおこがましく此度はこれを以て御返事致して置きます。

さらばまさきくおはしませ。師の君!!

同窓の皆様!!

宇野政世（六回）

秋風吹き初め心地宜しき頃となりました。其後は御無沙汰のみに打ち過して居りますが校長先生を初め諸先生、同窓の皆々様御變りございませんか。御伺ひ申上げます。次に私事此度主人の都合により、當地へ轉宅致しましたから左様御承知下さいませ。御手紙有難く拜見致しました。當地へ參りまして未だ日も淺く、何も様子が分かりませんので他日委しく申上げませう。子供も無事で成長致して居りますから他事乍ら御安心下さいませ。取りあへず右までかしこ。

野瀬貞子（六回）

朝夕は大分凌ぎよくなりましたがやはり日中の暑さは格別に存じます。皆々様には御機嫌よく御過しの御事と御よろこび申上げます。就きましては、例年の通り會報御發行、尚私共の消息をとの御事、何も別に變つた生活もしてゐない私の事故失禮をとは思ひましたが折角御手紙頂き、其まゝにするのもと存じ乱れた筆をとりました次第です。

日々二人の子供の惡さに全く弱らされてゐましたが今年は何といふ年ですか梅雨の候何となく氣持惡く感じてゐる時、此一年余り風引一つ身に受けなかつた長男が、一時に四十度の發熱、つゞいての下痢、早速大學病院へ入院致し、命丈けは取り止めましたものゝ、未だ腸の方快方に向はず專心養生中でございます。病名は急性の大腸カタルに肺炎を併發したとの事です。早くいへば疫利のやうな處へ肺炎を併發したものでございます。六月二十日以來大學に五十日ほど入院してゐましたが、肺炎の方のみなほり腸が思はしくなほりませんので八月十日頃赤十字病院へ變り、極力加療中ではありますが思ふ様に快方に向ひません。今の處何時退院ともわからず、多

分秋頃になる事と思つてゐます。全く此夏は病院でのみ日を送りました。次男はおかげで益々達者でございます。乱筆にて只様子のみ、皆様へよろしく御傳言下さい。赤十字病院にて

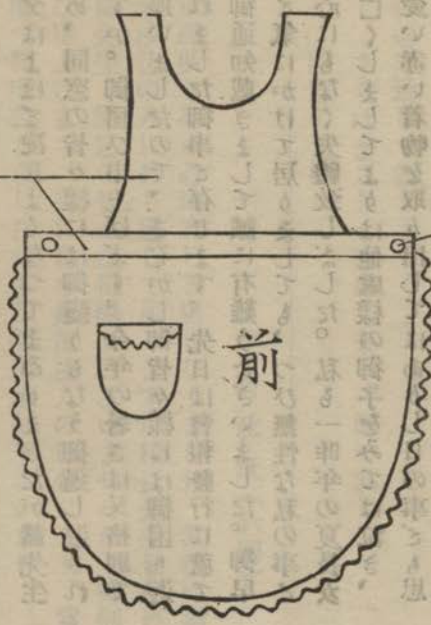
堀田春子（六回）

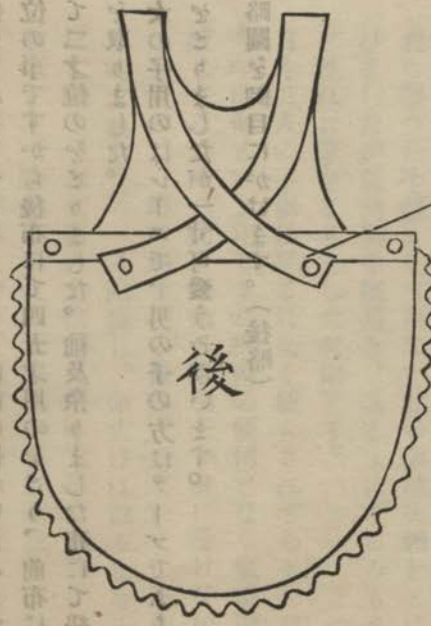
朝夕はよほど凌ぎよくなつてまゐりましたが諸先生始め、同窓の皆々様には御變りもなう御過し遊されますか。御伺ひ申上げます。今年の暑さは又格別で御座いましたので、さぞかし御皆々様には御困り遊されました御事と存じます。先日は會報發行に就ての御通知戴きまして誠に有難うございました。御早くと氣にかけて居りましても、つひ無性な私の事として心にもなく失禮致しました。私も一昨年の夏長女を亡くしましてよりは他處様の御子をみては泣き、可愛い赤い着物を取り出してはありし日の事ども思ひ浮べて涙ぐむ日も多うございましたが、長男が間もなく生れましたので幾分か亡き子の事も忘れる様になりまして、此頃までは笑つて暮らして居ります最早よく歩く様になりましたので一日中守役について居ります様な事で、何も出來ませずほと〳〵困つて居ります。おかげ様で大變丈夫でございますのでよろこんで居ります。平岡重子様が今年春より東京へ御住ひなさいましたので淋しくなりました。

主人の白のワイシャツの着古しがありましたので、四五才の女の子の前掛と、二才位の男の子のと二枚作つてみました。ワイシャツは前の衿がいたみます位の事ですから後布にて四五才用のをとり、前布にて二才位のをとりました。袖及余りました布にて紐を取りました。

女の子用のはレースで、男の子の方はテープでふちをとりましたが一寸可愛うございます。

略圖を御目にかけます。（後略）





二三才用（総丈　一尺二三寸
　　紐丈　一　尺　位）

青盛當子（七回）

初秋とは申せども未だ殘暑嚴しう御座候。折柄母校諸先生始め同窓の皆樣には御壯健にて入らせられ候や。御伺申上候。私事常に筆不精にて、誠に申譯なき御無沙汰いたし、何卒惡しからず御許し下され度候。幹事の皆樣には御多忙中御厭ひなく同窓の爲御盡力なし下され御厚意のほど有難く感謝致し申候。お蔭樣にて同窓の皆々樣の御消息拜讀出來得る日も程近き事と樂しみに御待申居候。

主婦となりては何致すとなく、只平凡な家庭の仕事にいそしみながら無事に暮し居候間御休心下され度候。當地は何分海軍要塞地にて別に珍らしき事とてなく、唯々海軍に關する事項に附御參考になる事數々御座候へば當地方御越の節は是非共御立寄り下され度、必ず必ず御案内申上べく樂しみに御待致居候尙當地に御住居持たれし同窓の皆樣何卒暇の節には御來遊下され度、私方も無人にて心淋しく又御互に知識の交換、在學中のお話等御親交下され度くれ〴〵も御依賴申上候。中暑

末筆乍ら諸先生同窓の皆樣の御健康並びに母校の繁榮を遙かに祈上候。

山口あや子（七回）

暑い〳〵と申して居りました夏もいつか涼風心地よき初秋の頃となりました。裏の草むらにも虫が秋を告げて鳴きます。あゝ!!思出多い秋もとうとう參りました。其後皆々樣如何おすごし遊しますか。思へばお別致しまして早や七とせの夏を過し秋を迎へました。

學びの庭を出ましてより一度もお便りいたしませぬなにともおわび申しましてよいやら、本當に心苦しくございます。これも私の筆不精のいたしました罪と、只々自分をせめて居ります。扨て先達は私に迄何か通信するやうお手紙頂きましてまことに有難うございます。厚く御禮申上ます。當市に參りまして早五ヶ年を迎へました私でございますが、これとて別に變りました事もなく毎日平凡乍ら平和に過して居りますから他事ながら御安心下さいまし。

此春　一寸急用が御座いまして、三原の方へ參りました。此度こそ母校を訪れる心組で居りましたのに三四日の泊りで歸阪いたしました樣な事ではんとに殘念に思つて居ります。

當市にも多くの同窓の皆樣も入らつしやる樣でござ

いますが、誰方様にも一度もお會ひいたしませんのは本當に淋しうございます。
いつでしたけ？村井様に三越とうの前で二三度お目にかゝりました。
あのポプラの繁る學校、寄宿舍！ほんとにおなつかしう存じます。皆様と騒ぎましたのもほん此間の様な心地がいたしますのに、皆様もさぞ御變り遊しました事で御座いませう。無精、横着致しましたばつかりに少しも皆様の御様子を存じませんのです。然し近く御發行になりますなつかしい會報で皆様にお目もじ出來ますのを只今より樂しみにお待して居ります。
先はこれにてお名殘の惜しい筆を止めます。
師の君始め同窓の皆様おすこやかにお過し遊しますやうお祈り申します。
末筆乍ら岡田タズ先生へよろしくお傳へ下さいませ
常々御健在にあらせらるゝ事を御喜び申して居ります。何卒御自愛の程蔭乍らお祈申上ます。

池側けい（七回）

いつ迄も日中はお暑う御ざいますが朝夕は余程しのぎよくなつて參りました。
其後は大變御無沙汰いたしましてまことに申譯ございません。諸先生始め皆様お變御座いませんか、御伺申上ます。私事去る五月池側家に嫁し只今表記の所に住居して居ります。未だこの土地にも充分慣れませんので、これと申してお話致すやうな材料も御座いません。いづれは堺市といふ所もしつかりとわかり何か御通知申す事も出來やうと思ひます。大阪には同級生の方も二三人ゐらつしやる様でございますが、いつかは皆様にお目にかゝる事も出來やうと思つて樂しみにいたして居ります。（後畧）

中井イキヨ（七回）

何時も御無沙汰ばかりいたしまして、お詫の申し様もございません。母校諸先生はじめ同窓の皆々様にも御變あらせられず、同窓會の爲御盡力下さいます事と深く感謝いたします。私事もおかげ様にて事なくすごして居りますから他事乍ら御安心下さいませ
中畧　住所は元國泰寺の方に居りましたが、表記の所へ轉居いたしました。左様思召し下さいまし。
母校の發展同窓の皆々様の健康を祈ります。

（上月）勝呂庸子（七回）

（前略）

先生今年の寒さは又どうしたのでせう、京は毎日々雪の花を散りばめて居ります。國に居ました頃は雪と申せば珍らしくて嬉しく存じまして雪の日は元氣が一層出ましたが、二人の子供の母となりましては雪に對する憧も無くなりました、寒さに敗けぢ一同無事に暮して居ります。始めは女の子でございましたが今度は男の子で思つたり叶つたり主人も大變喜んでくれました、二人の子供で一日中笑の絶間無く暮して居ります、それに一昨日主人事教授會の決果論文が無事に通過致しまして醫學博士の學位を得ましたが、この一事が私を大變に力づけてくれました春淺き一夜を師の君に筆を走らせて居ますとありし當時のなつかしい思出が浮んで參ります。

教員室の廊下の前をうつと靜かに歩いた事や、角々に有つたオーガンの事等が心に浮びます、今は早子供の爲良き學屋の思出をつくてやり度い等と思ふ時となりました。書けば盡きぬ思出でございますけれども、子供が泣き出さぬ迄に筆を擱きます。（後略）

（岡田先生宛）

高原ふく代（八回）

朝夕は大變凌ぎよい時節となりましたが、諸先生初め皆々様には其の後如何おすごしで居らせられますか御伺ひいたします。早速御返事をと思つて居ましたにとう〳〵こんなにおそくなつてしまひました何卒あしからず御許し下さいまし、只今の私は別に此れと申して變つた事故もなう、靜かな田舍で平凡な〳〵タイムばかりを繰り返して居りますから何等の感想なり、又研究を御報告いたします事の出來ないほんとに不束者で御座います。こんな事で人間として、又女子としての價値があるので御座いませうか、眞にお恥しい次第で御座います。今年の四月終り頃に、大阪に行つて居られる舊姓兒玉益子様が御初めてお里にお出でになられました、足掛三ヶ年振りに御面會いたす事が出來まして、色々積る御話いたしました。同窓の御友様つてほんとにおなつかしいもので御座まいすね。孃ちやんも大變大きくおなりになられまして、ほんとに〳〵可愛い〳〵んで御座いますわ、益子様も大變御壯健で、愛兒の御成人を樂しみに、樂しい日々をおすごしで御座います。やはり同じクラスで御座いました舊姓村上様も、先

年槇家にお出でになられ、長らく北海道へ御住ひで御座います。只今では御一人の嬢ちやんのマヽさんとして意味ある生活をなすつて居らつしやいますそうです。外の會員の方の御様子は存じて居りませんの、まあくだらぬ事ばかり何卒あしからず、終りに望みまして、諸先生を初め皆々様の御健康と、母校の益々御發展とをお祈りいたします。先つは御返事にかへて。

九月廿六日　浦曙會幹事宛

九内ハマ（八回）

一筆申上げます。朝夕は涼しく何處となく秋のけはひ相見え余程凌ぎ良くなりましたが其の後諸先生を初め、同窓の皆々様にはさぞ御壯健にて御送日遊ばされる事と存じます。日頃の御無音何卒あしからぬ思召し下さいませ。私事至極壯健にて送日いたし居りますれば、失禮ながら御安心下さいませ。先づは平素の御無沙汰の御詫び方々御一報申上げます。

（檜垣幹事宛）

吉本いと（八回）

拜啓　暑い〳〵夏も何時しか過ぎて、可愛い〳〵虫の音さへきく頃となりました。其の後は誠に申譯もなく御無沙汰に打過ぎ、御詫の申様が御座いません。諸先生始め同窓の皆様方にはお障りなく御暮し遊ばされますか。私事今春可愛い〳〵子供に別れましてより後、少し体をいためまして、只今では思はぬ所で天日を送つて居ります。京都大阪とは違つて、伏見は少し田舍では御座いますが靜かな心落付く所で御座います。明治天皇御陵はほん近くに御座います。外に代々の天皇方の御陵も澤山御座います、朝早く涼しい風のそよ吹く中を朝露にぬれながら御陵巡拜も又樂しみなもので御座います。ひまな時皆々に連れられて京都宇治の名所舊跡をたづねるのも又一入で御座います。昔樂しかりし學校で、なつかしい先生方より京都地方のお話しを面白く聞せていたゞいた所を實地見物しては昔を思ひ、愉快であつた學校生活を思ひ浮べてはなつかしさに堪ねぬ暫し足を止める事も度々で御座います。此間京都の四條にて突然福永様にお目にかゝりまして嬉しう御座いました。お話に寄れば、上月様も御近くにて面白く御暮しとか、又此内は福島喜代子さんがわざ〳〵宅を

お問ひ下さいまして、ほんとにほんとに嬉しう御座いました。何れ近い内に皆様とお寄りして、なつかしい母校のお話する時があるべく樂しみにして居ります。長々と下らぬ事のみ書きつらねまして濟みません。もし當地方へおこしの事が御座いますなれば是非御立寄り下さいませ、樂しみに御まち申て居ります。諸先生始め同窓の皆様へよろしく御傳へ下さいませ。取急ぎ乱筆にて失禮いたします。

（越智コウ様宛）

栗野千代（八回）

先日は浦曙會よりわざ〳〵御通知下さいまして有がたうございました。いつもながらの幹事様方の御熱心のほど、誠にうれしく、厚く御禮申上ます。其の後母校は年と共に増々御隆盛に趣き、何よりも喜ばしい至りでございます。これ一途に諸先生を初め同窓の皆様の御盡力の賜と存じます。次に何か消息をとの御便り御言葉にあまへ、遠慮なくペンを取りました。

帝都震災後第一週年を皆々様變りなく迎へ、今更ながら其當時を追懷いたしました。住みなれた赤坂田町燒土となりましてからは、暫く大森に住居いたして居りました。此度御近所に、第四回卒業生、旧姓小松様が御住ひで居らつしやいました。去る四月にこちらに引越し、やうやく元の氣に立ちかへりました。いまゝで私がかう申しましても、名ばかりでございますがどうやら續けて參りました震災後よりは何よりも先づ信仰をと感じまして、此節では佛敎の方を信仰いたして居ります。私の様な小心なる者には、日々の精神修養にもなり、終生得る處も多大なものと確信いたして居ります。

次に、御承知の通り帝都復興の速かなこと。市民は一生懸命に働いてゐるのでございます。これも偏へに畏き両陛下の御聖德に由るとは申すものゝ、又市民の倦まない努力の賜と存じます。

只今私達の居ります處は地震にも大丈夫、附近に有名なる諸學校多く、高台で閑靜な住心地のいゝところでございます。それに引かへ、今夏の暑さを耐へ忍んだあのバラック生活の人々を思つては、現在私達は感謝しなければならないと思つて居ります。

末筆ながら、母校の一層御隆盛になる様、並に諸先生同窓の皆々様の御健康を祈り上げます。

乱筆乱文悪しからず御許し下さいまし。

（幹事宛）

田頭堅子（九回）

茜のいろなつかしく暮れ逝く秋の夜の半島の其の大自然に接する時、おゝそれはあまりに似通つたふるさとのあの過去の秋の一夜それもいまはむしろ淡い夢の様な追憶の今宵中秋の一夜を涙ぐましい心と、そして轉た筆もて久々におなつかしい同窓の皆様への御手紙を認めつゝあります。同窓の皆々様、わけてクラスメートの皆々様お變り御座いませんか。

秋から冬へ冬から春へと時の流れの目まぐるしさはお別れして早や四度繰り返されつゝあります。

御なつかしい皆々様には如何御くらしで御座いますか、鮮土はるかに皆様御慕はしく、去つたお交り時代の思ひ出は日の經るにつれ深い印象としてつねに思ひにうかび追憶の樂しみとして日夜くり返し居る事で御座います。

淡いみどりにけぶる丘に立つて見下す當仁山の町は第二のふるさとの御地を彷彿せしめ郊外のそぞろ歩きにきく虫の音はなつかしいあの孤島のそれを思はしむる時、おゝ其の時の私自身の心は故郷幾百浬隔た海の彼方鮮土にあるを忘れて。

併しそれは白衣の鮮人の往來、支那苦力の障害物に依つて、直ちに旅愁の悲しみを呼び起すので御座います。

長煙管くわへて立つ白衣の鮮人、それは小學時代からの憧憬？　むしろ物好きに見度き位に考へて居りました、けれどもそれを今現實に見せつけられる時私の頭には彼等鮮人の草昧さと、そして怠惰其のものの生活を呪はしくさへ思はれる程で御座います。

市中何處にも見られる倦怠其のものゝ彼等は、直ちに殖民地てふいやな印象を覺えさせ、其の昔の亡國の民を直ちに聯想させます、緊張味なき彼等鮮人は唯内地人の指導を挨つのみ、荒寥の地は多く支那苦力の勤勉と努力に依りて耕され、大体貿易は日支両人種の殆んど所有と申しても過言では御座いません。

彼等唯流言卑語迷信に戰々競々としてほんとにつまらぬ生活に甘んじて居ります、併しブルジョア階級は兎に角として大体の鮮人觀は唯々倦怠で云ひつくされるで御座いませう、私は近日兄に連れられ當地よ

り三里程ある爲平と申す田舍に、五丁余歩の西瓜畑が有りますそこに一日の行樂を味ひましたが其の農園守りの家の慘には驚かされ、指導機關の不完全さを痛切に感じました。鮮内深く行けばこれ以上の草昧さ、との言には一驚二驚を契し、文化文明は影さへ見うける事は出來ませんでした、たしか日本内地に比し三十年の遲れと存じました。

日鮮融和云々の聲は有名無實に終らず着々其の効の奏する事を祈らずに居られませんでした、殊に直接鮮人に接する内地人の其の責の大にして……

同窓の皆樣、結氷期の風情なきは寒國の獨特の事なれども、梅雨晴れの七月半ばから昨今までの夏期に於ての鮮内生活は避暑地として好適地と存じます、殊に當仁川等は誠に結構な處で御座います當地向ひの小島(月尾島)は半島のパラダイスの稱を得滿鉄直營の潮湯を始め、夏期臨海學校等の目新らしい設備の完全等全鮮の人氣を集めて居ります。

特に當地には東洋一の稱ある築港ある爲、滿鮮視察團の必ず足を止むる處で御座います。

冬期の陰鬱さに引きかへ夏期の快活な鮮土……

同窓のみな樣機もあらば是非一度御出で遊ばしませ北鮮金剛山はいま天下の勝地として登山家の好奇心を唆つて居ります。

武田　長(九回)

拜啓其の後諸先生樣を始め同窓の御方々には御機嫌うるはしくお暮し遊していらせられますか謹んで御伺ひ申上げます。

扨先日は態ざ〳〵御手紙下さいまして誠に有難厚く御禮申上げます、折角御尋ね下さいしまたので御座いますから只今無遠慮に私の近況を申さして頂きまして御挨拶の一端と致し度存じます、下つて私事今春安佐郡深川村の武田家へ參りました當村は寂しい田舍で御座いまして戸數は僅に四百に過ぎませんけれども人情の厚い事は市中の人の羨む程で御座います、村民は皆自然を愛して農を職と致していかにも呑氣げに暮して居ります、私は常に野に居る人を見ましては自然的に頭を下げずに居られません、あゝ農家は實に〳〵多忙なもので御座います、又尊いもので御座います、私は五月以來農家に居りますが身体の惡いため人並の仕事をいたしませんが余りに幼少の時の樂に暮しましたことを今更の如く感謝いた

して居ります、市中育の私は朝夕好な本にのみ親んで居りましたのに、此の節では主人が馬が好きなもので御座いますから時には下男の留守等に馬飼ひもいたさねばなりません、然し馬は人なつきのよいもので御座いまして日を重ねますに從つて可愛らしくなります。

當村淋しい農村では御座いますが川に出ませば鮎狩り、又春にはダンギと申しまして珍らしい川魚も澤山に取れます、私方は幸ひ三篠川流にのぞんで居りまして水の音を何よりの友といたして居ります、どうか時々はお遊びにいらして下さいませ。

私達同期のお友達の眞田様も同じ村に住居していらつしやいます、今日は久々に色々と御話申しませうと存じましたが、此節は又病氣のため里の方に歸つて養生いたして居りますので最早や非常に疲れましたから之れで失禮いたします。乍末筆諸先生の御健康と同窓の御方々の御健康を御祈り申上げます。

泉谷喜子（九回）

幹事様よりのお呼聲を頂きてより一体幾度夕を迎へたのでせう、來る日も〳〵家の中に頭を突つ込んで人目には簡單すぎる程の家庭にくらしつゝ何故こうもいら〳〵した日なのでせう自分乍らにもどうしてこうも余裕のない日なのでせう自分乍らにもどうしてこうも余裕のない日暮しをするのだろう、精神的に靜かな一刻を持つ様にしなくてはとは時に思はぬでは御座いませんのに、やつぱり〳〵毎日を下らぬ家庭内の用事に、子供の上にと心身を注いだ揚句は覺えず疲れの眠りにつくのが日頃の私で御座いますのに、久し振りで皆様にお話したい様な氣になりました。今夜はまあどの位幸福な事でせう。秋……秋は參りましたね、過きぬる夜半、そと飲け初めた月を眺め、しみ〳〵と秋を感じ初めましてよりこの方虫の音に、雨のさゝやきに、凡ての物への淡いなつかしみを……寂しみを……そうしてひきしまる胸の中を覺えます……久方振りにつく〳〵と皆様の事も偲ばれます、おなつかしい師の君様御變りあらせられませんかおしたはしい友の皆様如何お過しでゐらつしやいます、さぞそれ〳〵お變りになりました事でせうね、皆様の御多幸をお祈りいたします。學び屋も隨分立派になりました由過ぐる夏の日生れし土を蹈みました節どうしても一度久し振りに校門がくつゞ

て見たくおなつかしい師の君様の御一人にでもお逢ひして變つた校舍も拜見いたしたい氣持を歸る迄持ち續けながら、到々そのまゝ歸つてしまひました。樂しみに樂しんだ尾道行も先づ一つの意味は消え失せたわけです、しかし歸へるその朝ステーションで田邊先生にお目もじする事の出來た私はどんなに嬉しう御座いましたか半月の長い日を御地に過しながらたゞなつかしむのみにて師の君、友の誰彼を尋ねる私でもなく歸りましてからはほんとに物足らぬ心に落ち付きを持ち得ませんでした、私は漸くこの紙上に償ふ事の出來るのを喜びます。平素の御無沙汰を御許し下さいまし私もお蔭樣で健かな日々を送つて居ます、神戸の地にも住み初めてより足掛け四年漸く馴れ初めましたとは云へちつともこの土地の樣子が委しくなつた譯では御座いませんけど第二の故里となりつゝある樣な氣が致します。

まだ開けてより日尙淺き港だ相では御座いますけど誠に異國情調の濃厚な感じを抱く事が度々御座います、それ丈住む人にも割に自由なのでは御座いませんでせうか、隨分進んだと申しますのか文化的など申しますか、高尙など申しますのか、……の催物は絶えず何處かにある樣で御座います、げに自由な若き人達の生活は輝いて居る樣に思はれます、歐米の文化をとり入れて進んだ我が國の人として、他國と割合によく接近してゐる所に育つ人々は誠幸福と申しますのでせうか、東京とか横濱とか云ふ所を全然知らない私には、當地は誠に明るい進んだ土他の樣に思はれます。

しかしこんな土地に住む加減か何の具合か私は始終心の隅でさゝやかれるなつかしい都の名を聞き逃すわけには參りません「京都」「奈良」當地に住んでより且つて帝都に遊びたいと思つた事は御座いませんけど、近い京都奈良には出來る事なら年二回でも三回でも遊びたいとの慾望をどうする事も出來ません、とは云へ私はたゞ子供の守りをしつゝ間接にその進歩した空氣とかを吸つて居るに過ぎません、思はず後先もなう書き續けてしまひました、嘸々お讀み辛ふ御座いましたでせう、御許し下さいまし。明け方より降り初めた雨は更け行く秋の夜をこめてあはれなしのび音を洩らす事でせうでは皆樣御大切に

この次頂く誌上にはより多くの皆樣のおたよりの載つてゐます事を切に祈りつゝ擱筆致します。

杉原久代（九回）

青葉の木かげなつかしき三伏の暑さも何時の間にか過去りまして世は再びそよ風渡る初秋の候とはなつて參りましたが其後皆樣には如何に御暮し遊して御出ますか御伺ひ申上ます、何時も心にはかけてゐながら何分横着者の私の事とて失禮のみいたしまして何卒惡からぬ御許し下さいませ、皆樣からの御消息の來る毎に今度こそはと心してゐながらも今まで御無沙汰いたしました、噫四年の月日を共に同じ學びの窓に樂しく過した友の歸らぬ旅路に趣かれた事を承つた私の驚き、如何ばかりで御座いましたでせう斯の樣な案事あらうとは神ならぬ身の知る事が御座いません、生ある者は死するが、この世のならひとは申しながらあまりの凶報に接した私の驚きお悔みの申樣も樣ざいません、さて私事今年四月皆樣御存じの海軍要港地たる新舞鶴、こゝに神戸の學校の分校が出來ましてより引つづき當校につとめてゐます別にこれと言つて申上げる程の事もございませんので後日又ゆつくりと御便りいたします、何とぞ御互ひに氣をつけて病魔に誘はれぬ樣心がけ共に又逢ふ日の近からん事を御まち申して居ます。かしこ。

（舊姓加藤）塚本利子（十回）

御懷しい先生、今年は當地も卅年來の暑さだとの話を耳に致しましたが日中は内地と少しも變りが無いやうに思はれました。それに今ではもはやお盆も過ぎました事とて秋風が吹き朝夕はめつきり冷くなりました。つゞれさせ〳〵と秋虫が啼き出せば人の心も何となしに心淋しく昔戀しく思出されます。隨分久しい間御無沙汰申上げたものでございますね。何から御詫び申上げてよろしいやらどうぞ御許し下さいませ。

私事この春加藤の父の大患との報に接しまして未だ雪の深い三月の上旬主人と共に歸廣致しましたが、お蔭樣で辛くも一命を拾ひましたので主人のみ直ちに歸北致し私一人先日まで滯在致して居りました。先生御笑ひ遊ばしますな、學校時代のあの子供らしいお轉婆娘も今はもうマ、さんになりすまして居りますのよ。御蔭樣で御乳も澤山ございます。子供は今頃はもう顔さへ見れば手足を動かし口を尖らせて語ります。

七月末日に當地に歸りましたが、約半年を本土で過しながら一度も御目にかゝる機會を得ず殘念に存じ

ました。以前の樣に宅が千光寺近くでございますなれば必ず御伺ひ致しましたものを、母も今は廣島に引越しましたので失禮致しました。滯在中はよく先生の御噂も申上げ「あんな內氣なお孃樣を決して遠方へおあげなさんなよ」と婦人會の集りの有る每に仰言つたのに遠い〳〵北海道の山の中に行くとは……と笑つた事で御座います。

併し先生本土に參ります時には胸一杯の望を抱いて汽車の進みも、もどかしい氣持で歸廣致しますし又一方歸北致します時も亦新しい樂しみを畫いて急いで歸つて參ります。身には遠く故國を離れて……とは存じませんよ。よく本土の方々は北海道と聞いたばけであの恐ろしい黑熊が繁つた笹藪の中から飛出したり耳の邊まで入墨したアイヌが家の周圍をうろ〳〵してるやうに思つて居るとてこちらでは大いに憤慨しておいでになりました方もありましたが、全く同感で住めば都とやら、それに新開地の事とて帝都を遙かに離れた斯んな山中の炭山ですら內地の田舍に比べては案外早く文化の風に浴する事が出來ますのには驚かされます。處變れは何とやら、實に珍らしい風俗習慣、日本各國の人の集りとて言葉もそれ〳〵に面白う御座います。然し設備はいくら完備致しましても冬期に於ける寒氣の凌烈さは殊に氣候平和な尾道の方々には到底想像もつきますまい。野菜魚類は總て凍り玉子等も破れ、液体の入つて來る硝子瓶又は瀨戸引器等うつかりストーブの側に置きませんと最後でございます。軒に直徑二寸長さ間餘の氷柱が垂れ、恰も水晶の簾の如くです。雪は十一月上旬頃より降り初めて約半ヶ年は丈なす積雪の中に冬籠りの有樣です。この冬の無味乾燥を慰めるものは別に用事とては有りませんので吹雪で荒狂ふ外を窓越しに眺め乍ら馬橇の詩的な鈴の音を遠く耳にしながらストーブの周圍に團欒してトランプやカート遊びに時をすごします。土地の人々は雪は平氣ですからどんな吹雪の日でも遊びに來られます。八百屋魚屋は大底每日御用聞きが廻りますけれど、天氣の日等マントに長靴の裝で手籠さげて市場に出かけます。交通機關の不便な爲冬期は何も珍らしい物は參りません。隨つて罐詰生活となり勝ちです。スキーは近來大變盛んになりまして、若い奧樣連中も內証でやりますけれど、私はまだ乙の機を得ず、意氣地なく傍觀格ですのよ。大勢手を連ねて高所より滑

走より寧ろ轉び落ちる所は見て居ても仲々滑稽です男子の方々の御上手なのはうれこう實に愉快です。北國の地にも惠を受け春の訪れ五月の聲を聞けば雪は谷間に淡い名殘を止め、長い間凍つて居た地殼を破つて美しい綠の草は萌え出します。梅はなくとも時を忘れぬ鶯は笹籔の中で春を告げます。百花は一時に咲きます。そして人々は長い冬眠よりはね起きます。そして十月末までは絶えず凉風は鈴蘭の香を誘ひてカーテンを搖ぎます。此處に半ヶ年の北海道の自由な天地が開展せられます。苺園に、筍とりに或は運動會に、子供達は休む事を知りません。そして私達も偶には新設せられたテニスコートに立つてこの至つてお上手な技術をふるふ譯で御座います。夕方等子供を抱いて主人の歸りを待つて居りますと濛々と立ち昇る發電所の黑煙、

撰炭場のエンヂンの響の夕宵の中に消ゆて行きます遠く鳴く蛙の聲に耳を澄し、やがて霜をおひて全山燃ゆるが如く紅葉するハゼ、落葉松の梢を眺めます時遠き故郷の事ども偲ばれて、また馴れないあの心細い永い冬が一歩々と近づいて來る事を思ひまして何となう心淋しく思ひます。幸にも此度は幼き一人の愛兒を授かりましたので、如何ばかり賑かな事かと樂しんで居ります。いくら書きましても子守のかたわらの拙筆にては到底盡せません。順子のお乳の時刻も參りましたからこれでお別れ申しませう。何卒先生御身を御大切に何時迄も〳〵母校に御つとめ下さいますやうに御祈致します。誠に乍失禮校長先生田邊先生、同窓の皆樣へよろしく御傳へを願ひます丁度順子の寫眞が出來ましたので御目にかけます。(後略)

土肥ますみ(十回)

朝夕は余程凌ぎよく相成りました。御なつかしい母校の諸先生を初め同窓の皆樣御變りなく御すこやかに御過し遊されますか。御伺ひ申上げます。御承知の無精者にていつも御無音に打過ぎ今更乍ら御詫の申上樣もございません、惡しからず御免し遊ばして下さい。樂しみに待ちこがれて居ります會報も幹事樣の御助力により近日御發行につき過日は御手厚い母校よりの御通信を頂戴致し私にまで消息をとの御事眞にうれしう厚く御禮申上げます。七月上旬母と同伴別府へ入湯に參り一昨日歸宅致しました次第で

今日迄御返事差上げすすみませんでした。

丁度七月六日の夕方宅を出發福山發七時幾分の列車に乘りました。車窓よりなつかしい校舍を眺め無邪氣なりし學生時代を追憶しつゝ名殘惜しい尾道を後に汽車はドン〳〵進行致します。明朝五時下關に着き直ちに連絡船に乘り門司に着きそれより鹿島行列車につかれた身をゆだねました。行く〳〵窓外を眺めますと山々の草木青葉若葉美しうその内にあこがれし温泉地に着きました。迎ひの者に案内されて濱脇の某旅館に身体を落ちつけました。當地は世界一の温泉地にて浴客おびたゞしく市に十余ヶ所温泉場がございますがどの温泉も澤山の人であばきのとれぬ次第でございます。私等は東濱脇温泉や竹瓦温泉に入湯してゐましたが此の湯は重にリウマチス神經痛に良いそうで歩行の困難な方々が両杖にすがり入湯なさるのが澤山あります。

紙屋温泉、ことびき温泉共に婦人病に大特効があります。丁度私共來別した當時ことびき温泉は新築中で歸宅二週間前に落成して數回入湯致しました。それは透明な美しいお湯でございます。三度入湯するより一度お湯を飲んだ方がよいそうでございます。此温泉の湯口は湯槽の中央にあつてブツ〳〵と盛に湧き出て居ります、湯口が別にないものですから皆洗面器で中央のお湯をすくつて飲んでゐらつしやいます。又ある方の話には「ことびき温泉が落成したら入湯なさい。入湯すれば診察する必要はない」と醫師にいはれたほどの信用ある温泉でございます。家庭には家庭で内湯がございます。別府はいつまでも住みたい氣持のいゝ處でございます。書きたい事は澤山ございますが思ふ十分の一も筆は動いて呉れません。又後日にゆづり失禮致します。

末筆乍ら母校の發展ならびに師の君樣を初め同窓の皆樣の御自愛を祈り上げます。

秋深き里に來て　　高本歳子（十回）

西哲リツケットは眞正の意味に於ての結婚は「+」＝「」でなければならぬと云ふ事を言つてゐられましたが私も貧しき乍ら今年の春から其の生活に入つたことを喜んで居ります。

私の結婚前は本當に無邪氣で山奥の靜かな學園に純眞發悧な少年少女と共に若き者の誇りを唄ひ乍ら暮らして來ました。而して一寸も結婚といふ事を考へ

ませんでした。所が一度結婚といふ重大な問題にふれ其の生活に入つて去にし無邪氣な處女の日をかへり見ると無量の感じが潮のやうに湧いて參ります。三月の末結婚一週間程前生徒を伴れて廣島に旅行しました。温い水郷の都も未だ櫻の咲かない淋しい饒津公園の奥で高らかに處女の最後の日を唄ひましたがその時は名殘惜しいやうな又樂しい樣な嬉しい樣な本當に何ともいへない氣持が致しました。

けどやつぱり結婚生活に入らなければ本當に人生と云ふものがわかりません。私は未婚時代は憧憬と夢の時代で既婚時代は尊い深刻な体驗の時代だと思ひます。そこで既婚者は未婚者には到底感じられない默示といふ樣な偉大な教訓を與へられます。私共はこれから苦慘な人生と闘つて行かなければなりません。

今頃は毎日〳〵出ては天眞發剌なる子供と共に唄ひ歸つては一家の主婦として樂しいホームに浸つて居ります。家のまはりには最早秋の色深く色々な花が淋しげに咲いてゐます。而して夜になればしんみりとした靜けさの中に虫の聲が床下や土間から聞えて來ます。

秋の夜は君の安けくふみよめる
傍にゐて針はこぶかも

こんな歌も作られます。

では諸先生を初め幹事樣皆々樣の御健康を御祈り致します。

眞田幾久香（十一）

殘暑きびしう御座ゐますが、諸先生を始め、同窓の皆々樣には、何のおかはりも御座いませんか、おうかがひ申上げます。降つて私事卒業後は無事にて家事の御手傳をなしつゝ、お琴のお稽古にいそしんで居りますから、他事ながら御安心下さいませ。終りにのぞみまして、母校の御發展をおいのりいたします。

青山朝子（十一）

最早初秋の頃と相なりました。先生始め、御一同樣には、お變りなくいらせられます由にて、かげながら御よろこび申して居ります。さて、私事宅の主人も七月に歸朝いたしまして、此の九月より東洋大學へ出ますので、此の地に永住致します事になりまし

た。始めての家庭で御座いますので、毎日家の事ばかりに追はれて居ります。いづれくわしく後よりお知らせいたします。皆様へよろしく御身御自愛遊しまし。

都築文子（十一）

待ちに待つたなつかしい會報を手にした時の喜び、何と云つていゝやら分らない程のよろこびを感じました。遠い地にゐても、諸先生や同窓皆々様の御消息を知る事の出來るのも、皆この會報の御蔭と、皆様のお骨折りを感謝いたして居ります。思ひ出せば二年前の三月廿五日卒業式の日は、チラ〳〵と雪ふる日で御座いました。大山様達と作法室で、盡きぬ名殘をおしみ、涙と共にお別れしてから、早二年目の春が、またおとづれて參りました。春來る毎に、あゝ今頃はあんなにして皆様と、別れを惜しんだものをと、なつかしく思ひ出をたどります。同窓の皆々様方、其後如何お暮しでいらつしやゐますか。講堂のピアノ、校庭のポプラ、皆一つとしてなつかしくないものは御座いません。私は、大正十二年の正月、寒い國から皆さまなつかしさに堪へられなくなり、はる〴〵と一人旅で温い國へ皆様を尋ねて參りました。母校へは勿論まゐりました、そして、新教室や、新しいグランドも、拜見させて戴きました。寄宿舍は特に思ひ出深く、在學時代の事が色々と思はれ涙ぐましいまでに思ひました。

かうして二ヶ月間は夢の間に過ぎ去り、又歸りゆく日も近く成り、千光寺のイルミネーションのつく頃再び玄海を過ぎました。それから今春まで一年になります。三月が來ると、今頃がくると、悲しい淋しい氣分に襲はれます。もう再び皆様にお逢ひする事の出來ぬ事を思ふと、悲しくてなりません。同窓の皆様如何お暮しで御座いますか。お手すきの節はどうぞ鮮土に居る私にも、お聞かせ下さいまし。私の只今住んでゐます裡里へ、母校のお姉様を一人おむかへ致しました。二回の繁田千代子様で御座います。時折宅の前で、洋裝の御姿を拜見いたします。繁田様は三人のお子様のママ様として、まめ〳〵しくお働きでいらつしやいます。繁田様は大變に西洋料理にお委しいと承つて居ります。

皆様朝鮮と云ひますと、何だか嫌な所の様にお思ひになるかも知れませんが、決してそんな所ではござ

いません。產物も比較的多い樣ですし、住み心地のよい事は、たしかに內地以上だと思ひます。朝鮮も中々捨てられぬ点もございます。皆樣內地にお住みあき遊しましたら、是非渡鮮遊して、朝鮮特有の長閑さを、お味ひ下さいまし。くだらぬ事を永々と書きました。あしからずお許し下さい。終りに、母校の發展と、諸先生皆樣の御健康を、切にお祈り致します。

岡崎寛子（十一回）

さびしい虫の音をきゝますと、秋になつたのかと感づかれますものゝ、日中はまだ〳〵暑さ凌ぎ難う存じます。校長先生はじめ、諸先生御機嫌よろしくお過し遊ばす事と、御推察申上げて居ります。母校益々發展向上して參ります由、陰ながら承りまして嬉しく存じて居ります。去る七月中旬、久し振りに母校を御訪ね致しまして、色々と變つた教室や、運動場を堀部先生から見せていたゞきまして、うれしう御座いました。私達の本科時代、補習科の時よりも幾倍も立派な事に驚きました。學校の出來る音ばかり聞かされて、一度も新しい教室で授業を受げずに卒業した私達は殘念な事をしたものだと思ひました。運動場がなかつたので、自然文學方面に、熱を得て居りました。學校も運動場が出來てからは、陸上競技もすばらしい勢を示すとか先生から伺ひまして、今に母校からは多數の女子運動家を出される事と、心強く思はれました。立派な先生と、立派な教室で樂しく女學校生活を遊ばす皆樣を、つくゞ幸福だと思ひます。岡田先生や、松山先生に、思ひ出深い、なつかしい教員室で、暫く御話致しました何もかも昔の話ばかりで、此間卒業したばかり思つて居りましたのに、もうこんな古株に入れられるやうになつたのかと、びつくり致しました事で御座います。私が四年生の時、一年としては入つていらつした方々が、もう最上級で、たくさんの御姉樣として威張つていらつしやいますのを見ますと、まあの方があんなに——と、自分を疑ひ度くなる位で御座います。人樣の大きくなつていらつしやるのを見ますと、月日の立つのは早いものだと思ひます。卒業後足掛け三年で御座います。同窓の皆樣の御樣子を承りまして、嬉しう御座いました。

今夏の同窓會には、きつと、皆樣にお會致したいと

樂しみにして居りました處、私の家は丁度工事中でやかましく暑さも東京の方が凌ぎよいやう存じましたものですから、急に先生御上京後三日目に、私も上京致しました。家は靖國神社の側なので、大變に涼しく、毎日姉の手傳ひに日を送つて居ります。學校へも市電で二十分位で行かれます。都の中程で御座いますから、何かと便利に暮されます。姉も此頃は少し丈夫で御座いますが、大患後の身体で御座いますので、暑さには凌ぎにくいやうで御座います。夢のやうに思つて居りました九月がとう〳〵參りました。復興した東京を見たり、九段のバラック村に住んでゐる人を見て、あの當時のおそろしさを思ひ出して居ります。一日には、亡姉の後偲ぶために、姉と二人で横濱に參りました。亡姉の住んで居りました跡には、見知らぬ家が立つて居りますもの〻、燒殘つた庭の木は、私が亡姉の處で、幾日かを遊んだ時のやうに青い葉が繁つて居りました。一緒に遊んだり、御話して居た向ふのお家は、全部池になりて、バケツヤ、門や、行李等、池の水のまに〳〵見えかくれするのを見まして、胸が一杯になつてしまひました。一年後の今日迄も片づけられないのを見ますと、其時どんなにひどいものだつたか想像もつきません。小さいみどり兒をかゝへて、病氣を忘れ後からおそひくる火焰を遁れ、上から落ちくる瓦の雨をさけつゝ、しつかり子供を抱いて走り行く亡姉の樣子を思ひまして、二人の姉妹は涙に咽びましたやつと、たどりついたと云ふ森に參りました。晝でも小暗い淺間神社の森の洞穴に、夜になればは入つて、赤い全市を見下しながら、鮮人襲擊に戰ひ恟々として、安らかな眠りだにする事の出來なかつた亡姉の心を思ふと、可愛想でなりません。おそろしい處からたどり歸つた両親の許に、息つく暇もなく、病重つて逝つた姉、前世の定めと云ふもの〻余りに慘酷な神樣を呪ひ度う御座います。灰になつた都も月日が立てば新しく出來て行くものをどうして姉もかへらぬかと、悲しい日を送るのも一度や二度では御座ません。當時八ヶ月でとても助らないだらうと思つてゐた男の子が、今では健かに大きくなりました。片言まじりに歌を歌ふあどけない姿を見ますと一生生みの母を知らないで生きて行く甥が、可愛想でなりません。罪ない子供にまで、不幸な運命を御さづけになる神樣がうらめしくなつて參ります。かゞ

やかしい希望に毎日時を待つてゐた私も、姉を失つてからは、希望も、樂しみも、こはしてしまはねばなりませんでした。すべて運命だ、時の力だと、あきらめなければならないものゝ、矢張あれもあゝだつたら、これもこうだつたら、姉は生きてゐたかも知れないのにと、返へらぬ思ひに姉と話合ふので御座います。九月一日の横濱の靜けさは、壯嚴なもので御座いました。十一時五十八分には、各寺、工場船、一齊に悲壯な笛を鳴らし、汽車電車は止まり、家に居る人も、道歩く人も、二分間默想いたしました。其の間は、實に〳〵尊い時で御座いました。一番みぢめだつた横濱公園の追悼會は、隨分の人で御座ゐました。この公園で一時に、父上と弟君を失ひ遊ばした森谷先生も、私達と同じ樣な思ひにお過しになつた事と、御察し致しました。先日も姉の方へ御親切に會費の御通知いたゞきまして、有がたう御座います。いつも〳〵樂しくよませていたゞいて居ります。本年も早く拜見させて頂く樣に、今から樂しみにして待つて居ります。

もう後二三日で學校も始ります。何だか名殘おしう思ひます。同窓の皆樣にお合ひなさいました時は何卒よろくしお傳へ下さい。

先生も、此上ともお身体を御大切に遊ばして下さいまし。母校の發展同窓會の隆盛を祈り上げます。

（檜垣宛）

增田直枝（十一回）

餘程涼しく相成りました。叢にすたく虫の音も、夜毎々に、繁くなつて參りました。折柄先生には何時もおかわりあらせられぬ由、何より御結構な御事とお喜び申上ます。降つて、私事お蔭樣にて、無事に送つて居りますから、憚り乍ら御放念下さいませ。つきましては口座番号を忘れましたため、會費を御送金致します事が出來ませんので、今日浦曙會費として、一圓同封致しおきましたから、何卒よろしき樣お取はからひ下さいまし。先は時節柄御自愛專一のほどお願申上げます

北村薫子（十一回）

先日はお手紙有がたう拜見致しました。さわがしく木々に鳴いて居りました蟬は、何時しか松虫、鈴虫の聲に變り、朝夕も何となく新らしい感じが致しま

す。今年は又例年になく暑さで、彼方此方で水爭ひやら、地方によりますと、飲み水にさへお困りの御樣子で御座ゐましたが、なつかしい御地は如何で御座ゐましたか、お伺ひ致します。降つて、當地はおがげ樣にて、平常と一寸も變りなく、どこに水爭ひかあるのかと思はれる樣で御座いましたから、憚りながら御安神下さいまし。同窓會報御發行までに、各自の消息をとのお事で御座ゐますが、來る日も〳〵も同じ事をくりかへし、平々凡々に暮して居りますから、別に此れをと云つて取上げてお知らせ致します樣な材料とてございませんから、此の千里山住宅の改良家屋の間取り二三を記して、おわび致します。

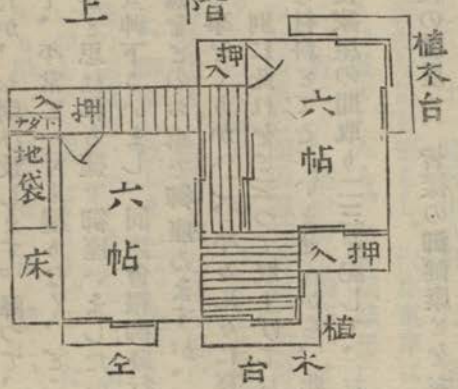
終りに母校の發展と、皆樣の御健康とをお祈りいたします。

和洋折衷二階建

階下　二十一坪七合五勺

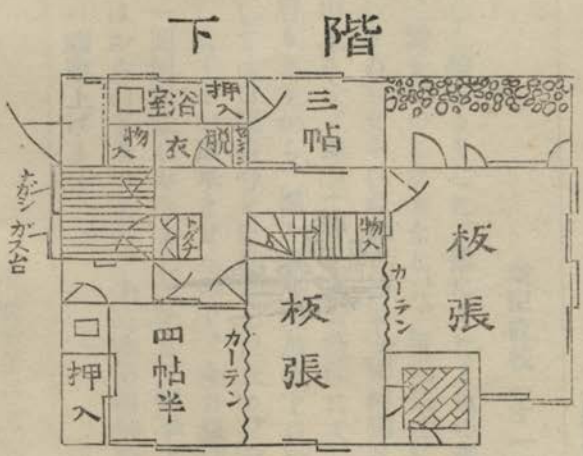
階上　十坪五合

階下三帖、四帖半ハ板張(洋間)ノ間ヨリ一段高クナル



障子ハ全部ガラス障子デス

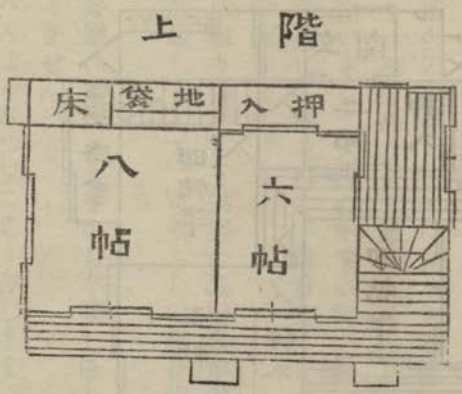
此ノ印ハドアーデス

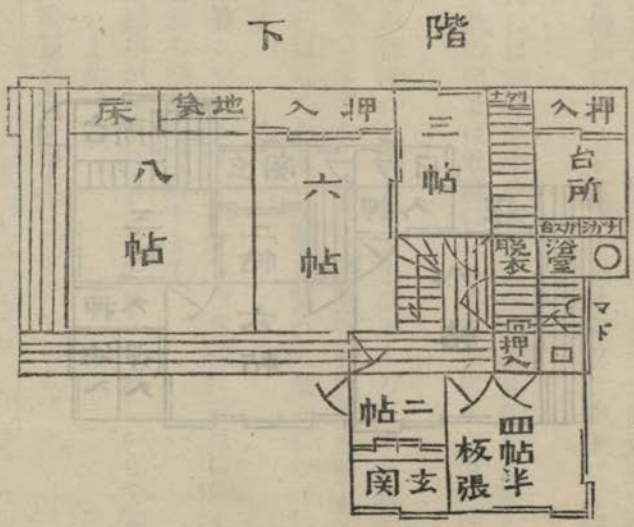


和式(應接室ハ椅子式トス)

階下　二十二坪七合五勺

階上　十三坪五合



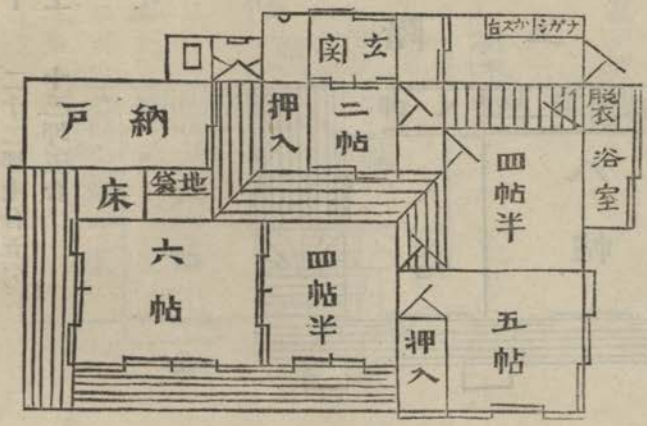


廊下ノ雨戸ハ全部硝子戸デス

四帖半ヲ應接室トシ板張デス　窓ハ硝子デカーテンヲ用ヒマス

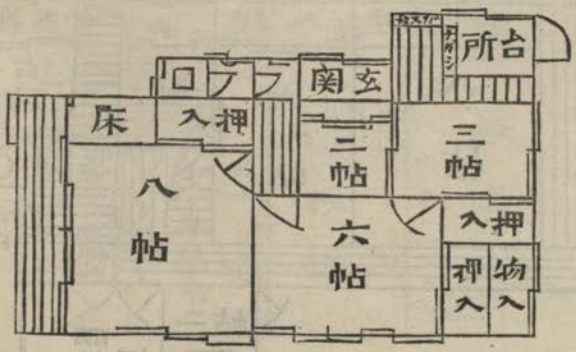
和式平家

建坪・二十四坪八合五勺



同

建坪　拾六坪五合



ドノ家モ便所手洗水ハネヂニテ出シマス

金光英子（十二回）

只今は御手紙有り難く拜見いたしました。
御なつかしき諸先生を始め同窓の皆々様には此の嚴しいお暑さの折から何の御變りも御座いませんか。
何卒會報に事よせて御知らせ下さいませ。
さて私も何の變りもなく昧野と申します所に暮して居りますから何卒御安心下さいませ。
當地は誠に田舍の事とて一向に見るもの聞くものとては御座いませんけれども又都會に得難い靜けさ、長閑さが御座いまして大變心やすい所で御座います
時々當地女學校にて催されます講習會にまいります位のことで御座います。
此の間休暇の終り頃から子供服の講習會が御座いまして私も出席致しまして、可愛らしい服を作りました。
尾道とは大分離れて居りますから卒業しましてから一度もまいりません。
母校もたいへんよくなつたこと〻存じます。
末ながら母校の隆昌と同窓の皆々様の御榮をはるかにいのり上げます

戸田豊子（十二回）

拜復、過日は御尋ね下さいまして有り難う存じました
何時も御無沙汰ばかり致して居りますが諸先生や皆様には御健かに渡らせらるゝ事と御喜び申上げて居ります。
在學時代には隨分先生や皆様に御迷惑を御かけ致しましたが此の節では壯健になり喜んで居る次第で御座います。
時々母校の皆様にお便りをと思ひますのですが思ふ様に筆が動きませんので遂々御無沙汰致して居ります
明年の春にはなつかしい故郷を訪れる積りにいたしてをります。
確な所は解りかねますが諸先生や皆様にお目にかゝるのを今から樂しんで居ります。
大變に御返事がおくれましたがどうぞ惡しからず御許し下さいませ。
母校の御發展を祈り申上げつゝ。かしこ。

吉川貞惠（十二回）

隨分久しい間御無沙汰致しました事をお詫び申します。よくもこんなに御無沙汰にすぎ得られた事と自

分乍ら呆れる程で御座います。

本年は殊外殘暑嚴しく全く氣候不順でお困りでせう？。第一お百姓さんの困憊其の極に達し毎日の樣に天を仰ぎ地に伏して雨乞をしてる慘な樣を見る時同情に堪えません。想へば昨年の關東大震災迴顧第一週年を迎へました。

震災と云ひ此の度の大旱魃、續いて起る惡疫の流行ほんとに今年は考へさせられる事が多い御座います此の折諸先生には如何御暮し遊れますか御伺ひ致します。降て私事其の後依然鄕土に居て其の日〳〵を樂しく愉快に家事のお手傳ひに費してゐます故他事乍ら御安心下さいまし。扨て同窓會よりのお便り有難う御座いました。冬季の御催事には必ず參列させて戴きたいと今から樂しみにして待つてゐます。末筆ながら諸先生の御健在お祈り申します。

岡崎賴子（十二回）

前略

同窓會報の會費をお納め下さいとの御親切なる御通知を頂きながらこんなに延引致しました事を惡からずお許し下さいませ。

丁度風引で床について居りましたものですから遠く離れて住む私は思ふ樣に母校の御手傳ひの出來ない事を殘念に思つて居ります。

かがやかしい會報を見る度に幹事樣の御骨折りを深く感謝して居ります。今年も又なつかしい會報に接する日を樂しみにして居ります。終りに臨み皆々樣の御健康を祈つてやみません。

赤松千代子（十三回）

朝夕少しは凌ぎよくなりました。諸先生を初め同窓の皆樣には御障りも御座いませんかお伺ひ申上げます。常々は一寸もお尋ね致しませんでほんとに申譯もございません。

今回は同窓會會報御發行に際し私に迄も御通知下さいまして誠に有難う御座まいした。御なつかしい皆樣とお別れ致しまして後は健康がすぐれませんでしつかりとした感想もなし何の研究も致しませんで遊びかた〳〵裁縫や家事の手傳ひを致しまして、時折は父の訓諭を受けまして、心の修養に消日致して居ります。（中略）終りに臨み母校の御發展と皆樣の御健康を祈り上げます。

一、御住所、御身分等變更の際は必ず御通知下さい。

一、學校幹事宛に下さる通信其他には卒業回期御記入下さい。

一、會費は成るべく期限迄に御納め下さい。

右の事項を御實行下さい。猶後頁記載の編輯便に御目を止め下さいます樣御願致します

雁のつて

（第一回）

粟村トクさん　齒科醫專御卒業後學校よりの囑托により留つて醫術御研究の由。

生酒コトさん　御機嫌よく今春も尾道へいらつしやいました。孃ちやんのお可愛いゝこと、皆樣にお目に懸けたいやうでした。

小西サトさん　紅葉見物に十一月の十六日の日曜を嚴島で迎へました節、御山道のお宅をお訪ね致し、お廣いお店で親しくお話を致すことが出來ました。時節柄見物人の雜踏に賑やかな町の有樣を眺め乍らサト樣の家婦としての御動靜を拜見することが出來まして、一入懷かしう御座いました。

井出上千代花さん　快活な御氣分にて、お目にかゝる度に氣持よく感ぜられます。時折は母校へも御見え下さるし、幹事として御盡力して頂いて居ります

森ハナさん　本年の夏迄は、尾道へずつといらつしやいましたが、御都合上又呉の方へお歸りになられました。

小田政代さん　只今は、米場町の山本醫院の後を引續いて、益々御發展に赴いて居られます。幹事として御盡力下さいます。

楠戸千代子さん　時折尾道へお越しなさいますとか「一度尾道で皆樣の會合を望みたいものだが」とのお言葉を承りましたが、實に御同樣十年も其上も經ちましたのに、市内在住の方々割合元氣よく過していらつしやいます。會合の件は、是非實現したいものと思つてゐます。

田坂花江さん　過日久振にお會ひ致しました、御親戚の坊ちやんの御病氣に、少し御心痛の模樣も御座いましたが、ちつとも變られぬ昔の儘の御態度に、只々懷かしうございました。

野村サカさん　御多忙中よく本會幹事としてお世話下さいます。

中野チトセさん　近來は大阪府下の一會社で御執務の由、御幸福を祈ります。

橋本信子さん　廣島支部より毎度本會の爲容易ならぬ御盡力に預つてゐます。

伊藤菊野さん　此秋お訪ね下さいました。橋本樣と共に支部の發展に努めて居られます。

橋本キクさん　お父君御逝去の爲御來尾なさいましたが、御悲傷の程お察し申上げます。

佐藤熊子さん　八月母君の御不幸に暫く御滯在なさいました。二度許りお目に懸りましたが、坊ちやんのお可愛いゝ事、お元氣な事、兄弟お二人が見分け難い程よく似てをられました。お母様は男のお子お二人の爲毎日賑やかな生活に追はれてゐらつしやいます御様子、御羨やましうございました。岡山では水河光代様と時にお目にかゝられるとのことでした藤居フデさん　母校の近くではあるし、本會幹事として十分御盡力下さいます。

（第二回）

大數ハナさん　西灘の地にて相變らず御健在の由、阪神旅行の際お目にかゝられた一回の田阪様よりのお知らせにより、只々お喜び申上ます。

木原とみさん　本會幹事として非常にお骨折下さいましたが、今春御良緣がございまして岡田家へ御嫁入なさいました。お芽出度う存じます。

小林久さん　ちつともお變りなさらずに以前のお若い儘で時々お店のお手傳をしていらつしやいます。

傍らお妹さんの御教育に御注意なさつて居られます事は感心の至でございます。

田坂マスさん　毎日朝は早くよりお世話をやいて居られます。

稻田玉子さん　本年は御主人の代議士御出馬に、刺激の多い尾道で相當戰はれたのですが、目下は再び御郷里へお歸りになられた御様子。

三坂玄子さん　母君として。又商店の奥様としてお忙しい日を送つて居られます。

（第三回）

三阪カメさん　此節よく母校を御訪問なさいます。先日運動會の時御出になりまして、昔の在學時代と比較して全ての運動競技が藝術化して來た事を深く御感銘になりました。

興田のぶさん　今夏次のお妹様が御結婚なさいました節、お手傳ひにお出になりました。何不自由なき御生活の内只子供様なきが御不足と存じます。

小川のぶさん　昨年は御忙中にもかゝわらず、大震災記を御通知下さいました事を深く感謝致します。皆様御悦び下さいませ大正十四年のこのめでたい初春、姉君には母校の佐藤校長先生と不思議な御緣で御結婚遊ばしました、何と云つて御悦び申上げてよ

ろしいやらわかりません、四人の御子様の優しい御母様として御盡しでいらつしやいます。崇高な御人格の持主でいらつしやる姉君に御目もじ致しました時の嬉しかつた事、姉君の御幸福を御悅び申上げると共に御多幸を祈ります。

金田菊代さん　今春御實家へ御出になりまして其節お姿を一寸拜しました、三人の御子供様の母君として事多く御暮しなさいます。

栗原フサさん　昨年九月頃御出產なさいました。山木戸の靜かなお住居に平和に御過しです。

長藤壽子さん　いつも御消息下さいまして有難う御ざいます。此度枚方の町に御轉宅になりました。

原田政野さん　此節大變に謠に御熱中遊され、めきめきと御上達の由、度々方々へ御出かけなさいます

大浦つなさん　御熱心に學校へ御出勤で御ざいます

三熊小里さん　先頃防地大宮町へ御轉宅なさいました。君の上に輝かしい幸福の來るのを切に祈上ます

村上下枝さん　其後如何御過し遊されますか先日の運動會の日にお目にかかつたと誰やらから承りました。

村上春代さん　いつ迄も在學時代と變らぬ竹を割つた様な御氣質、少しも飾り氣ない、面白い、御自分を開放した、此方には、どれだけ嬉しさを感じませう。山波の學校の兒童から慈母の様に仰がれていらつしやいます。いつ迄も御壯健で御つくし下さる事を祈上ます。

若山帛世さん　神戸に御轉宅なさいました。

（第四回）

青野セツさん　此の節は今治市にお住ひでございます。尾道に御両親様がいらしやいますので時々當市でお逢ひ致します。お二人の母様としてお働きなさいます。

尾田コワサさん　此の四月に近くの栗原の小學校へ御轉任になりました。相變らず熱心な教育家として主婦として、お働きなさいます。

永原ヨネノさん　やはり岡山市にお住ひの由。

小川春江さん　忠海の縣女へお勤め遊ばしていらつしやる御噂を聞きました。御様子おもらし下さいませ。

鞍掛トヨノさん　御便りに御座います通り、大阪市外でお暮しなさいます。

赤石シゲヨさん　御良人様が縣廳へお勤めなさいま

すので、廣島の市外甲斐にお住ひになさいますが、度々木原へお歸りなさいます由。此夏私も主人が病氣の爲め一ヶ月ばかり保養旁木原の地に行つて居まして、度々御目にかゝり、學生時代を語り合ひ昔をしのびました。學生時代とタイプはちつとも變つていらつしやいません。可愛いらしい坊ちやんが一人でお家を賑やかして居られます。

村上ミツエさん　此間第五番目のお產をなさいました育兒に家事に、お忙がしい事と存じます。

村上ヨシ子さん　くはしい御消息を有難うございました。深く〳〵感謝致します。

新田ひささん　近くに住つて居りましても、お互にお逢ひする時機を得ませんでしたが、此間一寸途上にお目にかゝりました。お二人の母樣としてお忙がしくお過しなさいます由。

中村ふささん　いつか東京へのお歸りがけ一寸お逢ひしましたが、お子樣がおられないので大變お若く美しくいらつしやいます。

松浦ミユキさん　御良人樣が安田銀行本店へお勤めなさいますので、東京で温いホームを作つていらつしやいます。

野村あささん　此秋御良緣があつて、大阪の方へお出になりました。

田村ミチさん　四國の地でお醫者樣の奧樣としてお働きなさいます由御消息戴きました。

（第五回）

堀切さわ子さん　昨年お產なさいましてからとかく御健康がお勝れなさらないとの御事、其後如何で御座いますか。何卒一日も早く御全快遊ばされんことをお祈りいたします。

稻田フサさん　この度御良緣あつて、原田家に御入嫁なさいました。永らく本會幹事として御盡力下さいまして、有難ふ御座いました。厚く御禮申し上げます。

川村ヨシコさん　將校の御夫人として、目下廣島で樂しくお暮しなさいます。

落久保愛子さん　去る七月、御主人樣本社詰となられましたので、香港を御出發なさいましてなつかしい故國にお歸りなさいました。只今はお三人のお子樣の御母君として、お女中をお相手にお忙しい乍らも、樂しみ多き御生活をなすつてゐらつしやいます

八杉イソヨさん　齒科醫の奧樣として、將又坊ちや

ま嬢ちやまの御母上として、お忙しい日をお暮しなさいます。豊田様(旧藤田)とはつい目と鼻の内にお住ひ遊される由、少しは御近況御洩らし下さいませ

(第六回)

池田マサ子さん　昔に勝る御元氣でやはり三原へお勤めでございます

小林花子さん　坊ちやんもさぞ大きくおなりでございませう。何卒御便りを。

松葉敏子さん　神戸で新らしく御家庭を御持ちになりまして御幸福に御暮しでございます。

堀田春子さん　可愛い坊ちやんを中心に平和に御過しでございます。

岡本千代さん

田村キミヨさん

何卒御近況御もらし下さいまし。

村上文子さん　御幸福に御過しの御事と存じます。お暇な折には御たよりを。

宇野政世さん　兵庫縣飾磨町へ御移りになりましたいつも乍ら御親切な御たよりに接します事を感謝致します。

笠置學子さん　御三人の母君として多忙に御暮らしです。秋のはじめに御實家へ御出でになりましたそうですが御目にかゝる事が出來ませんでした事を心惜しく存じます。

行廣キミヨさん　此の夏しばらく當地御實家へ御保養に御出でになつて居られました、御慶事がおありの由、御自愛の程を祈り上げます。

保澤千賀子さん　大阪府下に園藝場を御設けになりまして、ほんとうにきれいな御商賣を御始めになりました。各種樹木の苗や草花の種子等澤山御集めになりましたとの事ですから此の方面に趣味を御持ちになります方は何卒保澤様に御紹介下さいませ。

白石ミチ子さん　昨年大町氏と御結婚、只今は丸亀で御幸福に御暮しでございます。

辻本敏子さん　御幸福に御過しの御事を御よろこび申上げます。

高竹ヨシさん　御養子を御迎へ遊され圓滿に御暮しです。

高橋正子さん　相變らず何かとよく働いてゐらつしやいます。

宮邊照子さん　御變りなく樂しい御家庭に御過しでございます。

竹田トヨ子さん　時々御目にかゝります、いつも御幸福ださうでございます。
谷静香さん　御母様として育兒に家事に御急がしく御暮らしだそうです。いつも御たより有難う存じます。
高畠タマさん　如何遊してゐらつしやいますか。何卒折々は御たより御惠み下さいまし。
檜垣保世さん　母校に先生として又同窓會には一方ならぬ御世話になつて居ります。
平岡重子さん　今春東京へ御移りになりました。
市川千代子さん　曾て母校へ圖畫の先生として御勤めになつて居りました、市川先生と御結婚遊しました。御幸福を祈り上げます。
兒玉禎子さん　市内西御所町へ新らしく御家庭を御持ちになりました。
小川サダさん　いつか御實家へ御越しになりましたそうでございます。すつかり御母様らしくなつてゐらつしやいますとの事でございます。
野瀬貞子さん　御子様の御病氣は如何でございますか。御全快の早からん事を祈つてやみません。
山本喜代さん　御子息様御出生になりまして大變御幸福に御過しでございます。
浦岡辰さん
藤井タキさん
御二人とも御母様として御多忙に而も平和に御過しなさいます。
木曾アサ子さん
吉井政子さん
中村シヅヨさん
阿蘇ケイさん
御様子御存じの方は何卒御知らせ下さいます様御願ひ申上げます。

（第七回）

宇佐照子さん　本年九月坊つちやまを御出産あそばし、三才におなりになる嬢様とお二人の御母様として育兒に家事に隨分お忙しうお暮らしなさいます。九月にはお里の御母様御上京遊ばしました由にてその節には來る日もくる日も故里の物語りに花咲かせ給ひし事なりしとお察しいたします。
島居静子さん　千光寺の櫻が丁度滿開の頃でした。突然お訪ね下さいまして私はまあほんとうに驚きました。そのお變り遊したマダム振りといひ。ほんと

にお美しうなつていらつしやいました。その夜は丁度春雨のしと〳〵と降る遠く別れ居し友のしみ〴〵と語るにほんとに相應しい宵でした。靜子樣は大連に於て御流產遊しましたさうなのでその御養生に一寸御歸國なすつたのださうなのでした。でも幸にして間もなく御全快あそばし御歸國なさいました。同窓の皆樣におよろしうにとのみ言葉でした。その後もずつとおよろしいとの御樣子でしたが皆んなして旅空にまします友靜子さまの御健康を祈つて上げませうでは御座いませんか。共に共に。

岡田茂子さん　恩師岡田タツ先生御媒妁の下に今夏お目出度う岡田先生御知合の御方と御結婚遊しました。八月廿日脊の君樣御任地なる神戸へと希望にみなぎる新生涯へと旅立れました。

然し茂子樣は滋賀縣の高等女學校へ御轉任後間もない事ではございますし、校長樣始め諸職員樣方の御信用深く容易に御暇もかなはずやはりそこに御勤續ださうです。が週一度は御歸神なさいますやう先日お里のお母樣がお話で御座いました。

大多和文子さん　お子樣のお世話やら御一家の御用やら何やかやと非常にお忙しくおすごしなさいます由、いつもお里の御兄上樣より伺ひます。ちつと御樣子お洩し下さいまし。

尾畑幸江さん　やはり御幸福におくらし遊しますさうでございます。

勝呂庸子さん　靜かな京へゐらつしやいました。出家と其弟子にある黑谷は直ぐ近くださうです。萩のひじりといふ尼樣のお寺も御近所ださうで比叡山も鞍馬山も軒端にみえるお住ひの由、まあどんなにかあなたの日日は御感興深い御事かとお察しいたします。此次の會報には必ず〳〵みゆ優しい京便りが伺はれる事と樂しみにして居ります。

九月の始めに櫻貝と雲助を一緒にしたやうな坊つちやまを御創生遊しました由、お便に接しました。御長女樣といひ今また生れ出で給ひし坊つちやまと申し、皆御達者にてほんとうに結構な事でございます

山口あや子さん　やはり大阪郊外天下茶屋に靜かな平和な毎日をお過しなさいますさうで御座います。別項御消息がございます。

小瀨重子さん　長らく御主人樣と共にお里のお急がしいお店をお手傳でございましたが、母校運動會を過ぐる頃遂に御上阪なさいました。今後はずつとあ

ちらにお住の由承りました。

高橋楠子さん　時折の御便おなつかしう拜見いたします。御いつくしみ深い御両親様のみ下にお過しなさいますやう此の春の頃伺ひましたがその後如何なさいましたやら御無沙汰申して居ります。

岩崎良子さん　相變らず家事に御精出の御様子でございます。

青盛當子さん　吳軍港地にて一家をお持になり樂しくお暮しの御様子でございます。御多幸を祈ります別項お便がございます。

杉原敏江さん　震災で一時歸尾していらつしやいましたが、此節では御上京遊しましてあちらにお住ひなさいます。お子様もいらつしやいますさうですが私方よりも御無沙汰して居りますがちと御様子おもらし下さいまし。

石井順子さん　今夏御里方の御父君様御逝去遊ばし何かとお淋しうおくらしなさいます由、御同情申上げて居ります。先日は御親切に尾畑様の御住所を御知らせ下さいまして有難う存じます。

濱中瀧江さん　帝都に御一家を持つてゐらつしやいますが、此節では一寸御歸りになつてお出です。御在京中少しお加減がお宜しくなかつたとの事、十二月十日頃には又御上京遊す由お消息に接しました。

村上芳枝さん　お達者に〳〵お成長遊すお嬢様を御中心に平和にお樂しい日日をやはり東京におすごしなさいます由承りました。

星野喜代子さん　今年三月京都星野家に御入嫁なされその後は家庭の人としてまめ〳〵しくかしづいてゐらつしやいます由、お知らせにあづかりました。同窓の皆様に宜しうとのみ言葉でした。

池側けいさん　堺市池側家に御入嫁なさいました別項御通信がございます。

宮本綾子さん　お便有難うございました。昨年の帝都の變事にもお無事でございました事を心からうれしう存じました。その後もやはり以前のまゝ御在京でございました事を皆様におしらせいたして置きます。昨年の會報に一時御歸尾のやうに記載いたしましたのは誤りでございました事をお詫びいたします

三好文代さん　御主人様御勉學の爲御渡鮮遊しお二人のお子様をお相手にお淋しくお留守居遊します。

中井イキヨさん　別項御通信がございます。

村井駒さん　大阪にて音樂御研究中とか御成功を祈

ります。

今井高代さん　御變りなくおくらしなさいますさうでございます。

上野綾子さん

上野　薫さん

お二人ともお健やかにお變りなく御過しなさいます

藤野松榮さん　お嬢樣も余程御み大きくおなり遊した事とお察しいたします。ちと御近況おもらし下さいませ。

木田淑子さん　十二月には御來尾の由伺ひましたちとお遊びにお越し下さいませ。

松本よしのさん　お鼻がお惡るくて京都へ御養生にお越しなさいましたさうですが其の後如何なさいましたやらお伺いたします。御自愛の程祈ります。

沼田艶子さん　先達御三人目のお子樣を御出產遊しその後の御肥立惡く尾道よりお母樣も御看護にゐらせられました由、でも幸にして生れ出で給ひし坊つちやまはお丈夫の由、今や三人の母として大切なる君よ一日も早く御全快遊して下さいませ。幼さ三人の御愛兒もあなたの御全快の日をどんなにかお待ち兼ねの事かと思へばどうしても〳〵同じ母の身の自分としてあなたの御恢復の日の一日も早からん事を祈らずには居られません。

あゝ同窓の皆樣よ、

病み給ふ二人の友の御病氣一日も早う御全快遊ばすやう心からなるお祈りをお捧げいたしませう。

高橋照子さん　遠き美濃の國に住み給ふ照子樣よ久しく御消息承りませんが如何お過しなさいますかお伺いたします。

（第八回）

阿部辰子さん　今春から忠海の女學校にお勤めでいらつしやいます。

山成和さん　今秋赤ちやんが御出來なすつた由御目出度う存じます。

栗野千代さん。昨年震災にお遇ひになつて、唯今では小石川の方へ御移りになり、平和な家庭の奥樣としてお暮しでいらつしやいます。この頃佛敎を信仰していらつしやるさうです。

田桑ヨシコさん　靜かな京都の下賀茂に御過しでいらつしやいます。

沖森阜代さん　沖森家へ御嫁入になり、東京でお過しでございます。

岩井清子さん　あの御やさしい、女子の天型とでも云ひ度い樣な岩井樣は、今夏遠い旅路につかれました。ほんとうに御氣毒な事と存じます。

村井貞子さん　近況御もらし下さいませ。

泉谷カトさん　御子樣が御出來遊した由、御目出度う存じます。

高田小園さん　內地にゐる皆樣の爲めに何か御もらし下さいます樣御願ひ致します。

平田シズヱさん　時々御見受致しますが、ほんとうに立派な奧樣に御成りでございます。

大塚英子さん　最早御二人の御母樣でいらつしやいます。

片山ダイさん　可愛い子供樣を御相手に御過しでいらつしやいます。

龜山雪子さん　御愛兒が御亡くなり遊した由、大變御氣毒に存じます。

田中道惠さん　文章の大變お上手だつた、方と記憶致して居ります。どうぞ御近況御もらし下さい。

井川益子さん　どうぞ育兒法の一端でも御示し下さる樣御願ひ致します。

小森秋子さん　御實家にて、家事の御手傳ひを遊し乍ら、裁縫手藝御料理方面を色々御研究でいらつしやいましたが御良緣があつて他家に嫁しづかれました

小山春子さん　いゝお母樣にお成りでございます。

渡邊秀子さん　昔と變らない無邪氣な中に、いゝ所のある奧樣におなりの樣子でございます。

高原フクヨさん　今秋運動會の時に御目にかゝりました。大變御丈夫そうに御見受いたしました。

山口由譽さん　生後四ヶ月におなりになる子供樣を殘して御亡くなりになりました。在學當時の事等思ひ出されて、お氣毒に存じます。

碓水美代さん　重い神經衰弱に御かゝり遊した由、其の後如何でいらつしやいますか。どうぞ御近狀御もらし下さい。

國貞貴美子さん　この節は御夫丈にて、家のお手傳ひを遊していらつしやいます。

高松喜代さん　この間美しい御手のあとを拜見致しました。どうぞ近況御もらし下さい。

平井和子さん　柳井の高等女學校にお勤めでいらつしやいます。

部谷富子さん　この節は八回卒業生の幹事としてお骨折でございます。このほど御良緣あつて他家に嫁しづかれました

藤原榮さん　大變いゝお母様にお成りでいらつしやいます。
河野若枝さん　河野家へ御嫁入遊したそうです。どうぞ近況御もらし下さいませ。
三浦ライさん　この節は御母様御病氣の爲看護に倉敷の方にいらつしやると承りました。
安本クマヨさん　御嫁入遊したさうですが近況御報告御願ひ致します。
吉本イトさん　京都府下伏見で御暮しでいらつしやいます。
近本艶子さん　ほんとうにお母様らしく御暮しの御様子です。
越智　幸さん　母校の爲、同窓會の爲に種々御熱心に御勤め下さいました越智様は、御一身上の御都合にて御退職になりました、唯只は東都に新家庭の主婦としての御準備中でいらつしやいます。御多福を祈ります。猶相變らず同窓會への御力添を一重に願ひます。

（第九回）

中前梅代さん　御優しい美しい奥様として毎日家政に御いそしみ遊します。
秋田照子さん　時々御丈夫さうな御姿を拜見致します御手傳に余念なく御過しです。
有地トミヨさん　遠く彼の地に御多幸な日々を御送りの事と存じます、おなつかしい御便りに御寸暇をお割き下さいます事を。
安藤多喜榮さん　靜かな生活をお續け遊す事と存じます。
赤松千枝さん。御變りなく御勤めで御座います、學生時代そのまゝの元氣な御様子を度々御見受けいたします。
阿蘇セツさん　如何に御過し遊しますかしら。
生酒民さん　今春御姉様と當地に御歸りで御座いましたお優しい姉様の元で御手傳ひかたがた御修養に御努め遊す由。皆様御上阪の節は是非御立寄下さる様にとの御言葉で御座いました。
石井圭さん　御健かに靜かな地に讀書に裁縫に平和な日をお過し遊します。
田中安子さん　可愛い赤チャンをお抱きになつたお若いお母様姿を御見受けいたします、御多忙な商店の主婦として御働きで御座います。
石梶春子さん　無邪氣な兒童と共に快活な毎日を御

送りで御座います。

平櫛カツヨさん　御丈夫で專心家事においそしみの由。

岡田清子さん　御両親の元で御修養に御手傳ひに御勵みで御座います。

内海菊枝さん　雪降る國に樂しい日々をお過しの事と存じます。

葛西壽香さん　先日商業會議所で音樂會の時何時もながらの温和な御健やかな御姿拜見いたしました。

後藤實さん　御多忙に御家の事御子樣の事にお働きで御座います。

加納ウメさん　長らく同志社に御勉學で御座いましたが今春めでたく業終へられ御歸郷の折お目にかゝりましたお体が充分にないとかで任地の方は未だ決定しない樣なお話でした。

安保タクエさん　御近況承りたく存じます。

木曾靜子さん　日々御趣味に向つていそしみ遊ばす平和な御日常、ほんとうにお羨しく存じます、クラスの事につきましては何時も種々御心遣ひ下さいます事を感謝いたします。

木曾福代さん　まる〳〵と愛らしい坊ちやんと共に幸福な御生活で御座います御主人の御職業上朝鮮へもお宅をお持ちで両方へお住居の御樣子です。

北村スエさん　御近況御もらし下さいませ。

小池幾代さん　御變りなく御暮し遊す事と存じます

小林キヨさん　御變りなく御家政にかひがひしく御働きで御座います。

小林キミコさん　神村小學校で斯道のために御熱心に御盡し遊されます。

小池靜乃さん　御両親の元に樂しく御過しで御座います。

小林定子さん　相變らず御修養に御熱心でいらつしやいます。

小濱美代さん　如何に御暮し遊しますかしら、御暇に御樣子をおまちいたします。

幸崎きみ子さん　家事の御手傳ひに御いそしみ遊します。

佐藤絢子さん　度々御會ひいたしますが昔變らぬ快活な御話振りに思はず過ぎし日の樂しさを語り會ひます先日御めでたいとか承りましたが。

眞田フサさん　御變りなく御暮しの事と存じます。

作田久子さん　暖い日には散歩かたがたよくお尋ね

下さいます、なつかしい思ひ出に暮れるまで話込む事も御座います。

加藤久子さん　「遠く故郷を偲びなから靜かな自然にかこまれて」御優しい君が偲ばれます。此の上の御健康をいのり上げます。

佐久間義子さん　今年六月父上様が御亡くなりになりましてよりはお母様と御二人何かとお寂しく御過しの由御通信が御座いました。

庄司辰江さん　伯母様御不幸の後は續いて上訪諏の伯父様の御もとで御手傳ひにお稽古事に御忙しい日を御送り遊します。

篠原靜子さん　御様子御もらし下さいませ。

白賀秀子さん　先日木原家へ御嫁入遊しました由、御多幸なる御將來をいのり上げます。

杉原久代さん　今春神戸高等技藝を御卒業になり新舞鶴の母校の分校に御勤め遊す由くわしくは御通信をごらん下さいませ。

砂田加津子さん　時々市内で美しい丸髷姿を御見受け致します、相變らず御多忙なるひを御送り遊す由。

田中美子さん　御様子御もらし下さいませ。

關原縫さん　日々御両親の元で御好きな道に御いろしみ遊します。

（九回）

田頭堅子さん　御なつかしいお便りをいたゞいて居ります、其の後もお變りなき御様子何よりうれしく存じます、どうぞ度々の御めぐみの程お待ちいたして居ります、御体を御大事に。

高田シヅエさん　御變りなく御故郷にて御幸福な日々をお送り遊ばします。

武田千代子さん　夏の頃おなつかしいみ姿を當地に一度御見うけいたしました。

田頭トミエさん　其の後如何おくらしで御座いませうか。御近況承りたう存じます。

田中庸子さん　お變りなく御母様として御養育におつくし遊ばします。

高橋止志さん　今年春の頃御上京中で御座いましたとか。

豊田トミコさん　御近況承りたう存じます。

名越美子さん　お變りなく大阪朝日新聞社にて御働き遊ばします、御体を御大切に。

中山美子さん　今春同志社女學校御卒業後は少々健

康がお勝れ遊ばさぬ清き地にて御靜養あそばしますよし、一日も御全快の日の早やからん事をお祈りいたします。

中山輝子さん　御變りなく御幸福なる日々をお送り遊ばします。

西原キヌさん　今春日本女子大學御卒業後は御両親の御許にて御幸福なる日々をお送り遊ばします。

竹内愛子さん　いかゞ御暮しで御座いますか御近況承りたう存じます。

西岡キミヨさん　某家に御入嫁遊ばし此の頃は大阪の地にお住ひ遊ばします。

中本宮子さん　若きお母様として御養育においそしみ御ばします、御自愛の程お祈りいたします。

武田　長さん　御なつかしいお便りをいたゞいて居ります御健康が御勝れ遊ばさぬよし切に御自愛の程お祈り致します。

野田隆子さん　お變りなく御両親の許にて御幸福なる日々をお送り遊ばします。

秦コトヨさん　如何が御暮し遊ばしますか御様子承りたう存じます。

箱田歌子さん　先日お可愛らしい妨ちやんの御母様におなり遊ばしましたよし。

吉田久野さん　お變りなく家事においそしみ遊ばします。

濱口末子さん　お變りなく長江小學校にて兒童の御教育に御つくし遊ばします。

樋口春子さん　此の頃は竹原なる御親戚にてお暮し遊ばしますよし、どうぞ御体を御大切に。

渡邊靜子さん

久村房子さん

沼本悅子さん　皆様如何お暮しで御座いませうか御近況承りたく存じます。

惠谷悅子さん　御變りなく主婦として家事においそしみ遊ばします。

藤原安子さん　今年初夏の頃御養子を御迎へ遊ばしましたよし。

松本　榮さん　お變りなく御幸福なる日々をお送り遊ばします。

齊鹿千代さん其の後は如何お過しで御座いませうか度々御たよりおめぐみの程おまちいたして居ります

青木ツルヨさん　其の後お變りは御座いませんかお暇の節には異國の情景なりとも御めぐみ下さいませ

泉谷喜子さん　よくお便りおめぐみ下さいます事を限りなく嬉しく存じて居ります、若き御母様の御姿の見ゆる心持がいたします、來年の誌上には又おめにかゝりたう存じて居ります、では御体を御大事に

山形初子さん　今春御養子御迎へ遊ばしましたよし新しきお店にてみ姿をお見受けいたします。

吉田道子さん　お變りなく御両親の許にて御幸福なる日々をお送り遊ばします。

吉田サヲ子さん　お變りなくお母様として御養育におつくしあそばします。

吉原久代さん　昨年冬の頃橋本家に御入嫁此の頃は東京にてお住ひ遊ばします。

渡邊アヤ子さん　朝鮮なる早川家に御入家あそばしました、此の頃は小々御健康が御すぐれ遊ばさぬよし、折角御自愛の程切にお祈りいたします。

和田イサヨさん　長らく本會幹事として御盡力にお

あづかりいたして居りましたが今年の初夏の頃築紫地に御入嫁平和な御幸福な日々をお送り遊ばします

森本正子さん　お變りなく山波小學校にて兒童を御導きあそばします。

（第十回）

淺雛イクヨ様

井上房子様

池田菊野様　女學校のお若い先生としてそれぞれ毎日御丈夫に盡して居られますいつ御會ひしても昔ながらのなつかしい方々です。

大村福子様　東京にて御好きな道にお熱心においそしみの由、今年の夏のお休みにも御元氣な御姿御見受いけたしました。

宇佐靜子様　御主人と御一緒にしばらく東京へおいでしたが只今では尾道へお歸りです、お美しい姿を時折はお見受けします。

吉原靜子様　靜かな市村で平和な御生活をして居られます。坊ちやまも隨分大きくおなりでせう。

櫓崎辰子様　旧姓大塚様今夏御入嫁遊ばしました誌上を以てお喜び申上ます。

村上好子様　三原にて平和にお暮しです。

花房靜子様　旧姓岡山様此秋目出度當市内花房家に御入嫁なさいました、御目出度存じます平和な毎日をお過しの事と存じます。

小川ヨシヨ様　今春目出度廣島縣女專攻科御卒業なさいました。

た夏の頃でしたか一寸お見受けしましたが其後如何お暮しでせう？時折は御消息を。

勝場清子様　御無事にて御研究の御事と存じす、折角御自愛なさいます様。

河田勝子様　大阪にお住ひ遊すとか承りましたが如何お過しでせう？切に御様子承り度く存じます我友のお身の安らかならん事をのみお祈り致して居ります。

片上不二子様　平和な向島にほんとうにのどかな毎日をお送りの事でせう此の間母校の運動會にはおいでしたね、お様子時々承り度う存じます。

瀧本里子様　大そうお丈夫な尚子様のママ様として御幸福な日をお過しです在學當時のあの君がと思ふとほんとうに夢の様です。

豊田スマコ様　今春神戸なる御主人の許においでになりました。

中江イクヨ様　近く御出産の由承りました、お美しいママ様ぶりが想像されます。

時々は御地方の婦人同窓會の有様などお知らせ下さいませどんなに參考になりますでせう。

國重春子様　天晴れ立派な教師として斯道に御熱心です。

金尾艷子様

島川　京様

安保コツル様　方方の御消息をお知らせする事が出來ないのを殘念に存じます、どうぞ十回の同窓の皆様！御なつかしいお便り時折は頂かせて下さいませ幹事の内誰にてもうれしく存じます、どうぞ皆様くれぐれもおねがひいたします。

兒玉光子様　御すこやかで御熱心に御奮闘遊ばしていらつしやいます。

佐藤常子様　可愛らしい子供様もお變り無く御成長遊ばし本年は三ツ身のお祝をなさいました。

佐々木幹枝様　思ひ出しても美しい奈良の地で專心御勉强なすつていらつしやいます。未來の先生として御活動なさいます御姿が目前に浮びはち切れそうなお笑顔になつかし味を感じます。

坂本〆子様　近頃は學校の方をおやめなさいまして色々と御學び遊ばしていらつしやいます。

島原ヨシコ様　母校の運動會で奥様振りを拜見いたしました仲々おやさしくていらつしやいます。

池田敬子様　先の頃御主人の御都合で大阪の地へ御

轉居なさいました。
竹田孝子樣　御壯健で可愛らしい兒童のティチャーとしてお暮しなさいます母校運動會で御立派な先生タイプを拜見いたしました。
今田九人子さん　補習科時代から申して居られました理想は實現され御理解のおありなさる御主人と共に帝都で樂しい月日を重ねていらつしやいます近く御出產の由承りました。
加藤利子樣　先の頃女兒を御出產なさいました。
寺西久榮樣　承りますと近頃は大患におかゝり遊ばしてお苦しみの由誠に御氣の毒に存じます、何卒一日も早く全快遊ばします樣神かけ祈つて居ります。
新田浪子さん　御熱心に敎鞭を取つていらつしやいます。
西中サカエさん　美しい娘姿を發揮して色々とお稽古に御熱心でございます。
原田歲子さん　やはり伊尾尋常小學校にお勤めになつていらつしやいます。
內海榮美子さん　可愛らしきお子樣をお連れになり運動會にてお母樣振りを拜見致しました。
長谷川千代子さん　少しも御樣子がございまんが如何お暮しですかおひまの時はお知らせ下さい、お願ひ致します。
日野乙江さん　御近況承りたく存じます。
松尾久子さん　可愛らしき男子御出產になり毎日樂しき日を過しなさつていらつしやいます由。
藤原ハナさん　今秋に御入嫁遊ばしました。
三次ウメヨさん　御良緣あつて名古屋の某家に御入嫁遊ばしました。
松上久枝さん　近頃は歸尾なさつていらつしやるとの事時々は御近況承たし。
岩野滿子さん
三浦タツノさん
三藤サダコさん
如何お暮し遊ばしていらつしやいますか、御消息承りたし。
村上サダさん　東京市外の中野に母樣や弟樣と御一緒にお暮しなさつていらつしやいます、毎日御熱心に省線電車にて和洋裁縫女學校にお通ひになつていらつしやいます。
矢野シヅ子さん　昨年お父上樣をお失ひ遊ばしどんなにか淋しい日をお過しになつていらつしやる事で

せう、今ではお母様とやはり東京でお暮しになつていらつしやいます。

渡邊清子さん　專心家事においそしみでございます時々は御近況承りたし。

渡邊三七子さん　時々お母様振りを拜見致します。

（第十一回）

安保ムツヱさん　近頃ちつともお目にかゝりませんがおかわりなくいらつしやゐますか。

青山朝子さん　七月に御主人御歸朝遊しまして、希望に充ちた新生活を東京にお始め遊したさうでございます。

阿蘇君さん　先日御養子おむかへ遊ばしまして、何くれとお店の事や、お内の事をお母様に代つてしていらつしやゐます由、夏に小川病院へ入院していらつしやゐましたと承りましたが其後は如何で御座ゐますか。

今城トミヱさん　今年の夏、度々お目にかゝりました。學校時代のまゝの御元氣で色々とお稽古事にお勵み遊していらつしやゐます。

伊藤英子さん　吉和の小學校で小さい人たちと御一緒に樂しい日日をおくらしの由。

武田金子さん　今年の四月、武田家に嫁いていらつしやゐました。いつもお訪ね致しましては、時の立つのも忘れて昔學校時代の樂しい思出を話し合つてゐます。

井畑ヲシノさん　度々お母様と御一緒に町でお見受け致します。藤田様と御一緒にお琴のお稽古におはげみ遊します。

上野晃子さん　相變らず京都のお家で母様方のお手傳ひのかたはら、何かとお稽古事にお勉強していらしやゐます。

宇坪高子さん　今夏は時々お目にかゝりましたが、其後御上京遊しました由、如何遊ばしていらつしやいますか、お暇な時にはお便り下さいまし。

上野千代子さん　御達者で毎日お家のお手傳ひにお暮し遊していらつしやいます。母校の運動會には久し振りにお目にかゝりまして、晩くまで色々とお話致しました。

岡崎寛子さん　今春女子大の家政科に御入學遊しまして、お姉様のお家から毎日御熱心に御通學遊します由、お便りいたゞきました。

金光綾子さん　御主人と御一緒に新潟にいらしやゐ

ます由、御樣子おきかせ下さいまし。
北川カツヨさん　大さう御壯健でお家のお手傳ひのかたはら、色々御稽古にお勵みなさいます由承りました。
北村薫子さん　只今は大阪にいらつしやいます由お便り頂きました。何より御壯健でいらつしやいますのをうれしう存じます。
木曾季野さん　今春めでたく木曾家にお興入なさいました。七回十三回の木曾樣の御姉妹として樂しくお暮し遊ばします。
河野定江さん　お達者で相變らず同志社に御勉學の由、何時か岡山驛でお見受け致しましたがお暇の時にはお便り下さいませ。
楠本アヤメさん　今春楠本家へお嫁入り遊ばしました由承りました。其後の御樣子おきかせ下さい。
小尻マサエさん　向島立花で、小さい人たちの敎へ人として、樂しい日日をお暮し遊ばします。
田宮貞子さん　木曾樣と同じ日、望月家へ御入嫁遊しました。皆樣も御存じの望月圭介樣の御選擧の御運動を遊ばしました由、その報がありまして、叔父樣はめでたく御當選遊しました。
高橋文子さん　春やはり裡里の都築家へめでたくお興入れ遊しました。度々お便り頂きまして色々と新生活の御樣子を圖つて居られます。
七日市美子さん。學校を御引きになりまして、只今は三原の母樣のお元で樂しくお暮し遊ばします由、先日三原で久振りにお目にかゝりまして色々とお話致しました。
保田篤子さん　四月廣島の保田家へめでたく御入嫁遊しました。其後の御樣子伺ひませんが如何お暮しでいらつしやゐますか。
佐藤君子さん　中條村なる佐藤家に御興入れ遊ばしました由、心からお祝ひ申上げます。お暇な節はどうぞ主婦としての新しい御生活の御樣子お聞かせ下さいまし。
渡利壽子さん　御上京後、一二度お便り頂きましたが其後渡利家へめでたく御入嫁遊しました。御主人は藏前の高工の御出身で、趣味の御生活を遊ばしていらつじやゐます。
青木秀子さん　六月福山の青木家に御入嫁遊ばしました。御主人は福山の中學の國語の先生でいらつしやゐます。

（第十二回）

天野喜代さん　御茶水高師附屬高女專攻科在學。

雨越宮子さん　向島西尋常高等小學校

青木千代子さん　立花村のお宅へいらつしやるさうですが確かな御消息に接しません。

池田靜枝さん　和洋女學校在學。

池田文子さん　京都同志社女學校。

井上敏子さん　三宅浪子さん相變らずお稽古事に熱心です。

武居峯子さん　一寸も御消息が御座いませんが如何お暮しで御座います。

岡山幸子さん　龜田辰子さん　遠い吉和からお二人連れで毎日よくお稽古にお通ひで御座います。

岡田澄子さん　種々のお稽古に熱心でお宅で朝早くからお琴の音をお聞きする事も御座います。

大高秋惠さん　重井尋常高等小學校で二年生を受持つて居らつしやいます。

徹底的研究的に教へて居られる樣子を一度拜見させて戴き度う御座います。

小川秀子さん　今春お嫁しになつたさうで御座いますが改姓並に近況を知らせ下さいませ。

岩井ユサヨさん　今春廣島へお嫁しになつたさうで御座います御住所をお知らせ下さい。

上川シズエさん　昨秋より學校をお止めになつて此頃は毎日お稽古に通つていらつしやいます。

神邊春子さん　異鄕で如何お暮しで御座います、時には御消息下さいませ。

金尾爲德さん　木村美代さん　渡邊綾子さん　お揃ひでお稽古に通つていらつしやいます。

小西ソヤさん　學校をお止めになり近頃はお稽古なさつて居られるやうです。

小林豊子さん　五月頃お母樣がお亡り遊して弟妹樣のお世話にお忙しい事で御座いませう失禮乍ら誌上よりおくやみ申し上げます。

木原千里さん　白石梅子さんお二人共學校はおよしになつておられるさうです其後の御消息を。

白坂淑子さん　今春御卒業遊ばして唯今は家事に御熱心の樣子。

瀧尾朝子さん　閑靜な所で毎日よき日をおすごしの事で御座いませう。

高橋峯子さん　立神立子さん　馬屋原さん　お別れ致してより如何お過しで御座います。

高橋靜子樣　京都府立第一高等女學校專攻科御在學
高橋春惠さん　今春お嫁しになつたさうです御住所
お知らせ下さいませ。
田村ッヤさん　近頃當地にいらつしやいました時々
お見受け致します。
寺西常子さん　御姉妹共にお裁縫にお通ひになつて
いらつしやいます。
土岡ハッヨさん　小學校の先生になつて居らつしや
るさうですが何校で御座いますか御近況をお知らせ
下さい。
林原ヨシコさん　近頃は復向島東村尋常高等小學校
にお勤めの由。
坪島清子さん　岡山へお嫁し遊したさうですが、御
住所をお知らせ下さいませ。
松本映子さん　近く當地に再びお歸りになるさうで
す。
桑田キクエさん　同地にお嫁しになり十月に女のお
子樣がお產れになりましたさうです。お健かに御成
長の程祈り上ます。
佐藤ヨシコさん　今夏お嫁しになつて間もなく渡米
なさつたさうです其後の御消息をお知らせ下さいま
せ。
森壽子さん　女子美術學校に御通學遊しお好きな繪
畫にいそしんでいらつしやいます。

（第十三回）

赤松千代子さん　御卒業後御兩親のもとで裁縫や家
事のお手傳のかたはら精神の修養にお勉めでござい
ます。
石井ウタさん　東京の女醫專にお通ひでございまし
たが御病氣で尾道のお家へ歸つていらつしいます。
一日も早く御全快遊ばして元の學校にお通ひになる
ことをお祈り致します。
井田一枝さん
今井ツルさん　お二人ともお娘めさんらしくなつて
いらつしやいます。秋季運動會にはみ姿をお見受け
致しました。
井上勝子さん　遠い九州の御兩親のもとでお暮しで
ございます。
岩見貞子さん　お裁縫やお茶やお花に御熱心でいら
つしやいます。
岡崎芳子さん　あれ程希望に輝いていらつした岡崎
さんももう諦めて淋しい田舍へ靜かにお暮しです。

岡田齊さん　御卒業後間近く御結婚なさいました。
奥山彰子さん　目白日本女大御在學。
ひたすら精神修養に身を寄せていらつしやいます。
夏休暇には美しい東京タイプで母校を訪れて下さいました、色々お話を承りました。
小川益枝さん　縣立廣島高女專攻科御在學。
大島操さん　毎日郵便局へ御通勤でございます。
大藤政子さん　御卒業後三原のお家で靜かにお暮しでございます。
大山美佳子さん　可愛いオールバックで運動會にいらつしやいました。其の後お變りなくお暮しです。
賀川道子さん　御卒業後すぐ岡山の方へお移りになりまして岡山縣女へ御在學中おやさしいたつた一人の母様を失はれその後秋の凋落を思はせる程の淋しい、冷いライフをお續けでございます。ほんとにお氣の毒に存じます。
柿本初子さん　大阪女子專門學校在學。
相變らぜみすこやかでいらつしやいます。二三度母校を訪れて下さいました。
角田行江さん　御家庭のお世話にお忙しうお暮しです。
金田文子さん　東京女子大學御在學。
神原スマさん　一時增田裁縫所に寄宿していらつしやいましたが今はお家でみすこやかにお暮しでございます。
龜田數子さん　吉和村の御両親のもとにお暮しです
川口悅子さん　一學期迄補習科へ御通學でしたが御身体のすぐれないため二學期から退學なさいました
三原のお家で靜かに養生なさつていらつしやいます
小泉義子さん　桃われ姿でみすこやかにお過しです
坂井升榮さん　家事のお手傳ひに忙しくお過しです
榊原重子さん　この春大坂へ行つていらつしやいました。お歸りになつてから最新流行のオールバックの素晴らしいお姿をお見受け致しました。
作田豊子さん
佐古田冨代さん
佐々木靜子さん
佐藤タキヱさん　の皆様其の後しばらく御様子も承りません。如何お暮しでいらつしやいますか、お暇の時には御近況をお報せ下さいませ。
島田喜美子さん　桃割れ姿でほんとに好いお娘さんになつていらつしやいます。

管波ヒサヨさん　この春補習科を中途で東京女子共立職業學校へ御入學後一度も御樣子を承りません。如何お暮しでございますか。

杉原ミチエさん　縣立廣島高女專攻科御在學。

高桝キミさん　賀川樣と御一緒に岡山高女の五年生に御通學でございます。

高橋スミ子さん　廣島縣立高女專攻科御在學。

高橋フミさん　御卒業後倉敷中央病院の力强いみとりとして御過しです。

竹中フミ子さん　御卒業後しばらく東京にいらつしやいましたがお歸りになつてからは音樂好の竹中さんですから大抵の音樂會にはお見受け致します。度々母校を訪れて下さいます、あの四ノ二のクラスの壁の側にあつたオールガンでお彈きになつていた「ニーナの死」「み寺の壁には朝にも……」といふ曲も忘れられない思ひ出の曲です。

遠藤　淺江さん　岡田　トネさん

沖村タツ子さん　小川　靜子さん

小川　宮子さん　小田　勝さん

龜田　政代さん　木曾壽美江さん

京和泉政子さん　楠　宗子さん

兒玉多喜子さん　小出マサエさん

島野　咲子さん　高田　英子さん

高瀨　豐子さん

皆樣おそろひで補習科に御通學でございます。

川上タマコさん　御身体の惡いため三年の時學校をお引きになりました。川上さんは今度十三回の同窓生の中へお入りになりました。

今頃は上下の町で家事のお手傳ひのかたはらお稽古事にお忙しうお暮しでございます。

田中秋代さん　御壯健にて家事のお手傳の由。

近田須美子さん　廣島縣立廣島高等女學校專攻科にて御勉學中。

富岡千代子さん　家事のお手傳のひ傍御裁縫に御熱心

富田壽さん　醫專で御勉學中。

豐田滿壽子さん　御壯健で家事御習中。

中司キクヨさん　家事に御惡念、時々御姿を御見受け致します。

楢原千枝さん　卒業後少し增田裁縫所で御勉學の所今は故國に歸り、母上と共に家事御研究。

箱田淨さん　家事御研究中時々尾道へいらつしやいます。

橋本テルさん　御卒業後しばらく御病氣でございましたが今は御元氣で家事御見習の傍裁縫手藝水彩畫等御熱心に御研究なさつていらつしやいます。
濱田富美さん　家事御見習中。
原田小美禰さん　家事研究中。
平野信子さん　大島さんと御一緒に郵便局へ御出勤なさつていらつしやいます。
古川智都子さん　家事お手傳ひの傍書畫に御嗜みの事と御察し致します。
前田靜枝さん　御消息下さいませ。
松浦タミヱさん　家事御見習の傍お茶お花お琴のお稽古に御惠念の由。
松本文子さん　家事のお手傳、近頃は大變御丈夫でお花のお稽古に通つていらつしやいます。
丸山サカヱさん　御消息下さいませ。
三浦キヌヨさん　京都府立專攻科にて御熱心に御勉學中。
水川晴子さん　家事御見習中。
三森菊枝さん　京都同志社御勉學中。
三村紀子さん　折角御及第なすつた女大をお止しになつて妹樣のお世話や家事のお手傳をなさつていらつしやいます。
宮地久子さん（御消息下さいまして有難うございました）家事御研究中
村上千代子さん　御近況承りたうございます。
村上峯さん　家事のお手傳。時々尾道へいらつしやる樣です。
山口美知江さん　廣嶋縣立廣嶋高等女學校專攻科で御勉學中。
山根喜久子さん　東京で御勉學と承はつてをります。が御消息下さいませ。
吉名鶴世さん　糸崎の裁縫所へ御通ひなさつていらつしやいます。
吉本房子さん　家事のお手傳をなさつてをられます
突沖トクヨ　土屋　智子　西岡キヌヨ
花咲　茂子　平井壽惠子　部谷　光子
細谷　一子　前田　雅子　增野　美子
丸井ヨシコ　三上　壽子　光田　冨子
宮地　トシ　宮地千代子　三宅　冨子
宮邊　綾子　三次　哲子　村上　豊子
矢吹　壽江
右の人補習科にて御勉學中。

會員名簿

◇會員名簿

第一回

住所	會費	旧姓	姓名
死亡			
東京市芝區三田四國町七番地一号永井直治郎樣内			天野千代子
大阪市北區中崎町八一	奈10年迄		粟村トク
佐伯郡廳島町御山通	14迄	生酒	生酒コト
尾道市土堂町字佐樣方	12迄	稻田	小西サト
伊豫三津濱榮町	13迄	宇佐	井出上千代花
兵庫縣龍野町	13迄	小川	辻その
吳市岩方通十一丁目五番地	10迄	小倉	小倉ひで
尾道市米場町	10迄	大崎	森ハナ
岡山市弓之町四五	13迄	大田垣	小田マサヨ
英領カナダミッション市	12迄	柏原	水河光代
台灣高雄州東港郡東港街六一一六	9迄	河村	久藤初音
備中都窯郡帶江村	13迄	川崎	高橋春子
沼隈郡今津村	2迄	桑田	楠戸エイ
岡山縣瀨戸町	14迄	桑田	河本キミ
東京府豊多摩郡千駄ヶ谷五三六大字千駄谷町	15迄	小四	岡本ウラ
	9迄	齊藤	野崎幸
備中倉敷町	20迄	榊原	楠戸千代子
豊田郡上北方村	9迄	眞田	長谷川フミ
東京市深川區猿江裏町一六四	14迄	佐々木	佐藤オカネ
死亡			
東京市神田區錦町三ノ九	12迄	末田	村上カメコ
朝鮮京城大和町三丁目五十番地	13迄	高木	秋葉勝子
尾道市土堂町	11迄		田坂花江
鹿兒島市平野町一二二ノ一	10迄	田中	田中ヨシコ
沼隈郡鞆町	9迄		伊達房子
死亡			
尾道市久保町			內海フヂエ
御調郡市村	13迄	富田	野村サカ
御調郡三原町驛前	9迄	堂野	堂野エイ
死亡	10迄	中野	中野チトセ
廣島市大須賀町一二五			長安愛子
伊豫溫泉郡難波村一四	13迄	永井	橋本信子
尾道市藥師堂町	12迄	野田	金子光
大阪府東成郡天王寺村字天王寺二二〇	14迄		野村喜代子
廣島市東松原通り	12迄	平田	楢崎タマ
神戸市葺合町二一〇九ノ一	12迄	金丸	伊藤菊野
山口縣柳井町字尾ノ上	21迄	橋本	橋本キク
	12迄	福島	神原久枝

芦品郡府中町
死亡
豊田郡乃美村府別府七
岡山市外鹿田
尾道市久保町女學校下
尾道市土堂町
神戸市布引町三ノ三九
福山市中町二一〇

10迄 松尾 沖本 初代
10迄 安長 原田 フデノ
14迄 山路 佐藤 熊子
13迄 山下 藤井 フデ
19迄 吉岡 吉岡 榮子
14迄 吉原 高田 ミキノ
9迄 門田 ツネ

第二回

東京府下中本一六一
東京市神田區錦町一丁目一番地
吳市片山町
神奈川縣三浦郡大津東竹澤
東京市本郷區駒込曙町十六番地ノ三〇号
尾道市土堂町
死亡
東京市芝區白銀三光町二六九
死亡
門司市榮町五丁目
兵庫縣武庫郡御影町字樓一一二二師範學校西隣上ル
芦品郡國分村中州

10迄 阿蘇 阿蘇 カヲル
16迄 井上 花本 ミチヨ
9迄 伊藤 伊藤 春江
9迄 池田 高邸 テルヨ
10迄 上田 上田 靜江
10迄 宇坪 宇坪 ヒサヨ
15迄 大藪 大本 コト
21迄 梶田 大藪 ハナ
21迄 梶田 岡 セキノ
21迄 川本 古谷 スエヨ
13迄 木原 岡田 とみ

市外向島
芦品郡綱引村大字下安井九二六
御調郡因島三庄村
尾道市長江町
大阪府下西成郡傳法町四丁目
死亡
松山市北歩行町
尾道市長前
死亡
高田郡吉田町
鳥取市外古町
廣島市水主町二五六
三重縣員弗郡神田村大字山田二五〇
尾道市中濱
大阪市外布施村東足代八七一
神戸市須田町大手一四
死亡
死亡
神石郡來見村時安
死亡
佐賀縣西松浦郡大山

13迄 木曾 繁田 チヨ
9迄 栗井 黑木 ノブヨ
13迄 栗井 栗井 トクノ
13迄 小林 小林 久
10迄 榊原 岸田 滿江
9迄 谷口 池田 芳子
18迄 田坂 田坂 マス
10迄 豊田 立神 ヒサヨ
15迄 高田 井口 八重子
9迄 中川 稻田 玉子
9迄 中村 中川 秀子
11迄 平岡 三坂 玄子
15迄 平岡 平岡 敬子
12迄 日高 堀江 貞子
9迄 三上 松浦 コマサ
9迄 吉岡 大西 タミ
9迄 村上 三浦 フミヨ
9迄 村上 平瀨 ノブ

御調郡美ノ郷村白江　10迄　山本　竹之上コチヨ
兵庫縣武庫郡西宮町字川尻二六二二　13迄　横山　大泰司　静江
廣島市稻荷町七一　12迄　渡邊　板橋　喜代

第三回

尾道市渡場通り　12迄　地尻　三阪　カメ
備前兒島郡田ノ口　12迄　稻田　興田　ノブ
尾道市四御所町　21迄　小川　佐藤　ノブ
神戸市平野梅元町一五　20迄　大山　松尾　ナヲ
作洲眞庭郡落合町　13迄　柏原　金田　菊代
阿佐郡大林村　11迄　金谷　吉崎　田鶴
死亡　河本　九十九　キヌ
尾道市久保町本町　14迄　楠生　楠生　ミネ
尾道市長江町山城戸　10迄　栗原　栗原　フサ
双見郡三次町十日市　12迄　兒玉　佐藤　喜代子
死亡　小山　杉野　リユウ
下關市園田安部女學校下　11迄　佐藤　橘　高　キシヨ
松永東町　10迄　清水　江川　久代
尾道市土堂町壽美谷樣方　12迄　壽美谷　辨野　多賀子
東京市外大森新井宿一三七四　11迄　田中　宍戸　竹代
神戸市外四灘村原田二六二　10迄　田阪　大森　幾世
大阪府下北河内郡枚方町字伊賀日本生命社宅　14迄　谷本　長藤　壽子

廣島市比治山新町一〇八〇　11迄　竹本　佐々木　松枝
死亡　德山　神原　ルイ
大阪市西區本田通一丁目五三　13迄　永田　海老谷　エツ
芦品郡府中下本町　11迄　鍋島　高橋　シゲル
賀茂郡造賀村　11迄　鍋島　日山　キヌエ
大阪府天下茶屋本町三丁目　15迄　西村　多田　憲代
御調郡美ノ郷村木ノ庄　9迄　納見　納見　チトセ
京都一條通智惠光院東入小橋眼科横　16迄　野村　藤田　禧子
死亡　林　河野　クニ
尾道市十四日町本町　11迄　原田　長尾　千代
廣島市南竹屋町　9迄　政池　大浦　ツナ
因島土生町　13迄　松森　松森　ツヤ
大阪府下北河内郡松方町字伊加賀日本生命社宅　10迄　正木　後藤　春子
岡山市門田五五　20迄　三熊　三熊　小里
廣島縣安佐郡祇園村大字北下安九七　9迄　三井　松浦　雅子
御調郡因島土生長崎　11迄　村上　村上　下枝
御調郡三原西町　10迄　村上　島田　ツルコ
沼隈郡田島村　13迄　村上　村上　ヤス
市外山波小學校内　11迄　村上　村上　春代
東京市神田區錦町三ノ八　13迄　山科　増田　由己子

東京　9迄　山本　山口ツネヨ　尾道市外三軒家
神戸　15迄　吉池　若山帛世　朝鮮京城蓬宮舍丸山樣內

第四回

愛媛縣今治市　12迄　青野　青野セツ　東京府下豊多摩郡野方町字上沼袋
御調郡栗原町向峠　12迄　市川　尾田コワサ　松江市雜賀賣豆紀町
岡山市大雲寺町五十番地　12迄　井出　永原ヨネノ　尾道市長江町
德島縣那賀椿泊港　9迄　伊藤　田村ミ子　大阪市
神戸市松本通八丁目五ノ一　11迄　今井　中島清子　姫路市西二階町
尾道市尾崎町　10迄　植田　岡田キクノ　大阪府北河內郡豊野村字大泰
栃木縣足尾町赤倉役宅內　15迄　宇都宮　宮本エン　御調郡三原町登町
大阪市外吹田町四吹町借樂園　13迄　岡田　鞍掛トヨノ　尾道市長江町
廣島縣立忠海高等女學校內　14迄　小川　小川ハルエ　朝鮮平壤東町四復審法院官舍
廣島市外巳斐町　15迄　兼森　赤石シゲヨ　兵庫縣川邊村小田村次屋
尾道市十四日町　9迄　熊丸　村上ミツエ　尾道市十四日町
神戸市南本町三丁目一ノ一　15迄　兒玉　村上ヨシ　御調郡因島土生町
東京市芝區白銀今里町七七　15迄　小西　小西ハル　尾道市長江町五丁目
東京府下荏原郡馬込村平張一ノ一八三　16迄　小松　中村ふさ　御調郡因島土生町
京都市上京區田中門前四〇　13迄　佐々木　佐伯豊野　死亡
香川縣小豆郡大部町七〇下川國松方　11迄　下川　田川小雪　死亡
　9迄　末田　戸木ヒサノ　尾道市十四日町
靜岡縣三島町市ヶ原　10迄　武田　時山政代　青島市市場通り二丁目

14迄　高垣　高垣シゲノ
9迄　立神　立神タネ
14迄　柏原　松浦ミユキ
12迄　永井　倉井恒子
11迄　中司　兒玉カツエ
13迄　野村　木村アサ
12迄　林　黑坂良
10迄　福原　福原可代
10迄　藤原　安原フジノ
9迄　松井　松井エイ
9迄　三井　三井敏子
11迄　三次　小寺イチ
10迄　宮地　惠谷清子
10迄　新田　新田ヒサ
12迄　宮崎　奥本亮
17迄　村上　船岡カヤ
村上ミ子
村上ヨシ
毛利エキノ
10迄　本縣　藤野喜美代
9迄　吉岡　堀內好

東京府下北品川三ッ木一〇一六　10迄　久田　龜山　お久
尾道市長江町　10迄　藤井　靜子

第五回

東京府下谷中本一六一　9迄　阿蘇　シズヨ
神戸市加納町三丁目四六ノ十　11迄　安保　長谷川　テヨ
尾道市長江町　12迄　安保　清水　コトヨ
死亡
東京府下佐々木幡町幡ヶ谷八五五　11迄　池田　堀切　澤子
尾道市久保町筒湯小學校上　20迄　石梶　山方　イソ
因島土生長崎　21迄　石原　村井　タマヨ
死亡　泉　隆
死亡　14迄　村井　テツ
尾道市十四日町　井上　タキ
東京市神田三崎町三丁目一　9迄　井上　和田　ヒデヨ
廣島縣賀茂郡東吉和村　13迄　入江　三宅　マツヨ
廣島市蟹屋町七六　11迄　惠谷　川村　ヨシコ
岡山縣笠岡町伏越　13迄　稻田　原田　フサ
大阪市南區今宮町四一四番地　9迄　井上　森安　安子
廣島縣御調郡向島東村六五〇番屋敷　10迄　惠谷　橋本　ハナエ
賀茂郡莊ノ村字新庄　10迄　惠谷　日下　春子
不明　上野　江木　ユキエ

大阪市堺區安堂寺橋通一丁目兇番地　22迄　大山　村田　芳枝
死亡　篠原　ヨシエ
宮城縣久慈郡世矢村千七百七十九番地　9迄　大部　マツエ
死亡　岡田　カツヨ
尾道市大宮町三丁目加藤内　16迄　加藤　末田　靜枝
御調郡美ノ郷村　14迄　惠谷　惠谷　ハツヨ
臺灣臺北市西門街三十六番戸　13迄　金子　野村　輝子
向島四村兼吉　11迄　神田　上田　ハルヨ
大阪市南區天王寺島ヶ辻町五七〇六　20迄　吉川　高橋　モト
神戸市平野神田町七番地木村内　11迄　楠生　加藤　フミ
賀茂郡竹原町　13迄　鞍掛　吉田　靜子
豊田郡本郷村　13迄　黑川　黑川　美佐代
尾道市長江町天神前　17迄　小林　小林　イケ
沼隈郡田島村　16迄　河野　河野　キヌエ
東京市芝區白銀今里町四四　11迄　小西　奥野　シヅ
東京府下瀧川町字田端六一三　11迄　佐伯　藤井　清子
熊本市細工町　10迄　相良　杉野原　ヱツ
沼隈郡高須村　9迄　清水　武内　キヌエ
神戸市三宮町三丁目九七　12迄　砂川　高原　千代鶴
兵庫縣武庫郡今津町天神溫泉裏手右側　9迄　杉本　落久保　愛子
死亡　杉谷　シヅエ

ハワイホノルル尾道屋　29迄　大小出秀子
目下米國　20迄　川本吉原フクヨ
沼隈郡高須村二八四　9迄　高橋奥田トシエ
岡山縣和氣郡熊山村大字奥吉原六四九九　10迄　武本小松カメヨ
大阪市築港三條通二丁目二二　15迄　田中田中喜久惠
伊豫新居郡神郷村　11迄　瀧迫山下芳子
神戸市中山手通七丁目番外九七ノ五　10迄　高西本シヅ子
横須賀市中里二三四　13迄　塚本清水福子
外沙河口十五丁目五七　9迄　土井藤井ナホ
朝鮮黄海道黄州郡兼蒲明浩町　13迄　德永淺野ユキに
御調郡下川邊村　10迄　德毛佐伯ミサホ
神戸市宮本通リ六丁目三ノ一三　13迄　永井村上チサト
御調郡美ノ郷村　10迄　西永ミサヲ
朝鮮京城明治町二丁目　10迄　林西本ヒサヨ
東京府下豊多摩郡中野町三六六二　11迄　原天野歌子
門司市午村三菱社宅七号　13迄　平野直村たまえ
東京市芝區三田四國町二ノ一号　13迄　藤田豊田清子

死亡

大阪府下玉出町北中通六〇四　13迄　福島藤田ツギ
東京市外下渚谷　14迄　松本清浦智惠
兵庫縣四ノ宮町　9迄　正木加計フサ
兵庫縣武庫郡今津町津門江商社宅　12迄　松本片山千枝
吳市東本通三丁目四八番地　12迄　村上高橋美津枝
福山市東町　10迄　村上入江ヒサノ
東京市芝區松本町三四　14迄　八杉八杉イソヨ
尾道市御所町若宮町　9迄　山下岡田秀子

死亡

沼隈郡高須村　12迄　山口高田アサ子
因島三ノ浦村外ノ浦　11迄　吉田吉田キクエ
大阪市北區堂島仲町一丁目　11迄　米田山根サダ
尾道市土堂町　10迄　吉原吉原艶
仝　10迄　吉本花咲ナミコ
御調郡三原町　10迄　渡里小池貞子
御調郡向島西村兼吉　9迄　渡里渡里漂子
御調郡系崎町寄木海事工業所内　11迄　高橋片山春子

（村上タキ様の會費に間違がございましたら御通知下さい）

第六回

東京府下日暮里町谷中本一六一　9迄　阿蘇ケイ
三原女子師範學校　13迄　池田マサコ
沼隈郡鞆町銀冶屋町　10迄　池田小林花子

吳市元町六八
死亡
12迄 石岡 平芳子

朝鮮京城青葉町二丁目九〇番地
神戸市中山手通二丁目一一九ノ二〇
住中音吉樣內
10迄 井田 松岡キミヨ

岡山縣後月郡出部村鳥越定雄內
13迄 井上 松葉敏子

尾道市久保町
10迄 井上 鳥越一枝

死亡
12迄 井上 堀田春子

因島三ノ庄小學校
10迄 內海 湯川ツタヨ

愛媛縣新居郡神鄕村岡本道良樣內
9迄 岡田 岡本千代

福山市東霞町
11迄 小川 田村キミヨ

神戸市長田町五丁目二六
13迄 大久保 村上文子

死亡
大久保清子

尾道市久保町大四方
14迄 大西 吉原千代子

兵庫縣飾戸町山陽中央水電株式會社
火力發電所社宅
13迄 大西 宇野政世

松山市木屋町三丁目
9迄 上月 笠置學子

御調郡三原町四港町田野浦喜作內
12迄 笠井 田野浦ツル

深安郡神邊村
10迄 川ノ上 今西ヤエコ

大阪府泉北郡大津町字清水町營三十号
13迄 木梨 行廣キミヨ

山口縣柳井津町山根參千番地
12迄 杉原 村上ミサカ

死亡
木曾章子

不明
木曾アサコ

尾道市久保町西國寺下
14迄 栗原マツノ

大阪府豐能郡南豐島村字原田
保澤園藝場內
12迄 兒玉 保澤千賀子

御調郡大濱村
10迄 小林 河野シゲコ

不明
12迄 白石 大町ミチ子

死亡
島谷敏江

大阪市東區東平野町八丁目三二九
深田本三郎內
14迄 仙田 辻本敏子

尾道市土堂町中濱
11迄 田中 田中千代乃

沼隈郡浦崎村
11迄 田頭 田頭ミス

同
12迄 田頭 田頭花江

尾道市久保町
10迄 高竹 高竹ヨシ

尾道市土堂町中濱
13迄 高橋 高橋正子

同 十四日町長神社横
12迄 高村 宮邊照子

御調郡重井村
9迄 高岡 大西動

尾道市土堂町
12迄 武田 竹田トミコ

名古屋市東區杉村町深田八〇番地
13迄 竹尾 横山ヒサ

廣島市大須賀町警三九三
13迄 谷 谷靜香

賀茂郡仁方村
10迄 田村 岡田マツヨ

吳市中通四丁目
10迄 檀上 廣上リツ子

神戸市水木通十丁目二〇三
13迄 壇上 松岡ハツヨ

愛媛縣新居濱町
津田田鶴

御調郡吉和村
中村シヅヨ

岡山縣後月郡荏原村字東江原
神戸市宮本通五丁目十五
死亡
大阪市西區三軒家上ノ町
尾道市久保町
不明
尾道市尾崎町廣川内
縣立三次高等女學校
縣立尾道高等女學校
尾道市久保町
同　土堂町
東京市小石川區賀籠町二四〇
廣島市新川場町廿一
吳市元町七丁目横山節守方
尾道市西御所町本通
岡山縣牛窓町
神戸市東山町二丁目一四八
大阪市西區靱中通三丁目
福山市銀治屋町
御調郡坂井原村
今治市本町一丁目

11 迄 那須 渡邊隆江
13 迄 長尾 高畠タマ
濱井ヨシカ
11 迄 花咲 日下サカエ
牛田 花咲貞子
吉井敏子
12 迄 廣川イト
14 迄 平井淳子
15 迄 檜垣保世
13 迄 東一枝
10 迄 平田スガ
12 迄 平岡 平岡重子
15 迄 福永 市川千代子
12 迄 細谷 田邊ツタヨ
10 迄 三谷ヨシコ 兒玉禎子
13 迄 村上 高祖純子
13 迄 村上 小川サダ
12 迄 村上 野瀬貞子
11 迄 村上 安部ハルコ
10 迄 毛利 山田トキノ
9 迄 本森 森谷千代

尾道市久保町丹花
岡山縣淺口郡里庄村
御調郡河内村太田
尾道市土堂町本通
死亡
御調郡三原町
深安郡深津村松原

（藤井タキ様の會費に間違がございましたら御通知下さい）

第七回

蘆品郡福相村字福田森順三郎方
不明
東京市北豐島郡瀧ノ川町上中里一三七
福山市東町
尾道市久保町
滿洲撫順彌生町六丁目一番地十四号
尾道市土堂町海岸通
尾道市土堂町外濱平野樣内
大阪市北區中之島六丁目
東京市麴町區富士見町二丁目三三
廣江樣内
大阪市南區天王寺日本赤十字社内

12 迄 山本 山本喜代
22 迄 深井 浦岡辰
14 迄 藤井 藤井タキ
11 迄 吉原美代
和田波子
11 迄 脇貞子
9 迄 渡邊 藤枝シゲノ
9 迄 相原 木村操
9 迄 安藤富惠
13 迄 岩崎 宇佐照子
19 迄 井上 井上ヒサ
14 迄 今井 今井高代
14 迄 内海ヨリ 島住靜子
12 迄 上野綾子
11 迄 上野薫子
12 迄 大久保 奥村季子
15 迄 岡崎 木田淑子
16 迄 岡野ユクエ

滋賀縣立高等女學校

尾道市土堂町驛北

吳市登町一一六ノ五

沼隈郡今津村六七五番地

豐田郡忠海町

大阪府東成郡天下茶屋

御郡調糸崎町西木原

大阪市東區谷町四四

京都市岡崎西福川一ノ十

尾道市久保町金剛院前

神戸市山本通四丁目一〇五四江坂樣方

福岡縣遠賀郡香月村大辻炭礦社宅

大阪府泉北郡伯太城跡

和歌山市東布經町一ノ一

岐阜縣本巢郡船木村

大阪市北區西野田今開町二丁目

尾道市土堂町海岸通

吳市元町八十一番地

東京市外上大崎五一七國谷惣三郎樣方

愛媛縣越智郡魚島村

尾道市土堂町

12 迄 岡本 岡田茂子

14 迄 貝沼 貝沼歌

11 迄 金子 中川靜枝

10 迄 加納 大多和文子

15 迄 木村 山口アヤ

12 迄 國近 余越ヒデノ

13 迄 楠生 尾畑幸江

13 迄 上月 勝呂庸子

11 迄 小林 小林君代

14 迄 繁村 永田まつ

11 迄 作田定代

12 迄 壽美谷 小瀨重子

12 迄 高橋楠子

高橋照子

20 迄 高橋 服部トミコ

14 迄 高橋 岩崎良子

15 迄 高垣 青盛當子

11 迄 高山 杉原敏江

11 迄 竹部キヌエ

13 迄 田坂小竹

沼隈郡今津村

豐田郡大河村字河內

福岡縣直方明治町

朝鮮大邱東城町

死亡

尾道市長江町二丁目

岡山縣矢掛町

死亡

東京市麻布區市ヶ谷原町二丁目四十五番地

沼隈郡今津村

姬路市瀧野町四ノ九

東京府下蒲田町字新宿四七六

京都市五條本町二

御調郡糸崎町

兵庫縣武庫郡蘆屋

尾道市藥師堂町

大阪府堺市櫻ノ町西一丁中濱

群馬縣利根郡沼田町

東京市外下澁谷猿樂町七七二

津國菊一樣方

大阪市外濱寺町舟尾七八〇ノ一

11 迄 坪田 坪田菊江

15 迄 富永 中山登代

11 迄 富安 沼田艶子

14 迄 土井 平櫛タミ

中山靜子

原田靜子

22 迄 橋本 石井順子

濱原 峠本靜野

10 迄 濱中 濱中瀧江

11 迄 平櫛 平櫛ミツヨ

15 迄 平野あい

13 迄 東 村上芳枝

12 迄 福島 星野清子

藤野 藤野松榮

細谷 井內滿子

13 迄 松本 松本ヨシノ

14 迄 丸山 池側けい

13 迄 宮邊 渡邊フミ

13 迄 宮本綾子

10 迄 村井駒

沼隈郡神村
死亡

12迄 村上 石井 キヨコ

廣島郡驛家村中島區

14迄 村上 三好 文代

尾道市久保町

12迄 山根 山根 定子

廣島市白島北町一五五

14迄 和田 中井 イキヨ

御調郡向島西兼吉

12迄 渡里 常子

第八回

尾道市長江町二丁目千光寺裏道

12迄 阿部 辰子

岡山縣後月郡芳井村築瀬

14迄 天野 山成 和

東京市小石川區小日向台町一丁目四十四番地栗野松藏樣內

14迄 青木 栗野 千代

京都市下加茂下河原町五三七

11迄 青木 田桑 ヨシヨ

東京市外上駒込六七三

10迄 池田 沖森 卓代

死亡

御調郡木之庄村字木門田

岩井 清子

村井喜四郎樣方

14迄 石井 村井 貞子

沼隈郡本郷村

12迄 石井 芳子

尾道市米場町

11迄 泉谷 泉谷 カト

大阪市北區上福島北一ノ一五八

11迄 井出 仲乃

尾道市十四日町

11迄 稻田 トミ

大阪市天王寺堂芝町七八

11迄 今川 今川 好美

支那青島觀海路第四號

21迄 今井 高田 小園

尾道市長江町三丁目

11迄 石原 平田 シズエ

名古屋市中區葉塲町六十一

13迄 惠谷 中村 綾子

尾道市十四日町貳拾七番地

13迄 岡田 杉本 三樹枝

御調郡栗原村

13迄 小川 小川 アキヨ

上海日本郵便局函番號乙ノ二〇三五

19迄 岡本 岡本 綾キ

尾道市久保町

11迄 岡本 登貴子

東京府下杉並町馬橋二二三

13迄 越智 藤井 コウ

岡山縣倉敷町万町

13迄 大塚 大塚 英子

尾道市十四日町

10迄 大村 大村 幸子

沼隈郡山波村

片山 片山 ダイ

兵庫縣武庫郡御影町東明石町二九八

12迄 片山 片山 政子

賀茂郡西條寺西村

11迄 金川 小迫 フジエ

尼崎市外大物村字大隈

11迄 川上 今岡 照子

御調郡向島兼吉

11迄 上川 上川 カナヨ

御調郡栗原村

12迄 亀田 門野内 春子

御調郡向島

亀山 亀山 雪子

大阪市南區二ッ井戸四番地岸醫院方

13迄 岸田 田中 道惠

芦品郡國府村高木字稻荷木

10迄 木曾 皿谷 ウメヨ

死亡

尾道市長江町一丁目

桑原 三浦 英子

神戸市平野楠谷町二八一

14迄 黑瀨 森 古乃枝

大阪市東區內本町二丁目　20迄　見王　井川　益子
名古屋市東區長屏町二ノ一六
尾道市久保町　13迄　小森　有木　秋子
尾道市久保町　14迄　小山　小山　春子
沼隈郡本郷村　20迄　柳原　菊枝
橫須賀市中里一六二小坂井秀三郎樣內　13迄　佐藤　清子
大阪市西區川口古川橋南詰　11迄　鳴田　菅田　貞子
御調郡向島西村　19迄　島谷　新田　美智子
御調郡三原町千百八拾五番地　10迄　杉原　嘉子
御調郡向島西村　19迄　高橋　渡邊　秀子
死亡　14迄　武內　高原　フクヨ
豐田郡木ノ江　14迄　田中　山口　由譽
尾道市西御所町　14迄　武田　碓水　美代
御調郡栗原町六百五十九番地　11迄　土屋　キミヨ
御調郡向島東村　11迄　中司　中司　ウメヨ
岡山市瓦町三七　11迄　中司　小橋　キヨ
御調郡向島西村　12迄　中司　高原　ミツ子
尾道市十四日町　中西　中西　照子
大阪市北區都島友淵鐘防淀川支店社宅五十二号　20迄　中村　高松　喜代
沼隈郡金江村　10迄　箱田　箱田　政枝
御調郡向島東村字歌　12迄　橋本　松本　秀子

死亡
山口縣柳井高等女學校內　13迄　土生　中島　逸子
尾道市西御所町　12迄　廣角　廣角　サキ
大阪市西區八幡町二一五　10迄　曾家　久野　春代
沼隈郡本郷村　14迄　藤野　藤野　安
御調郡向島　藤本　キミコ
大阪市西區難波立葉町一二九七山本俊三樣內　13迄　部屋　山本　富子
尾道市千光寺道鳥居茶園　松岡　藤原　榮
福山市右之上町河野久五郎樣內　10迄　松山　河野　若枝
尾道市東御所町　10迄　三浦　三浦　テイ
深安郡橫尾　10迄　水川　水川　八重子
中庄尋常小學校　12迄　水野　水野　芳野
御調郡栗原町　水戸川　水戸川　庫子
賀茂郡高屋村　三村　三村　千代子
賀茂郡三津町　13迄　村上　荒谷　秀子
岡山市南方幸町三四一　14迄　村上　丸內　ハマ
御調郡河內村字德永貳番屋敷　10迄　村上　村上　ミサコ
御調郡向島西村　村上　村上　ユキヨ
廣島市東白島九軒町　12迄　村上　大隈　ミネ
東京市下谷區上野櫻木町二一　10迄　本森　田中　芳江
御調郡栗原町　安本　安本　クマヨ

八幡市枝光畦地町　13迄　行友　柏原　文代
豐田郡須波村　12迄　吉村　吉村　ミツノ
京都府伏見町豐後橋九二吉本禎吉樣方　12迄　吉本　吉本　イト
兵庫縣甲東村甲東園前九ノ一六　20迄　吉井　今井　千代子
尾道市土堂町　和久　近本　艶子

第九回

尾道市長江町山城戸　12迄　赤川　中前　梅代
仝　米場町　10迄　秋田　照子
朝鮮平城若草町五三　17迄　有地　トミヨ
御調郡市村字市　12迄　安藤　多喜榮
沼隈郡百島村　13迄　赤松　千枝
東京府下谷中本一六一　阿蘇　せつ
沼隈郡柄原町渡守武竹史樣内　12迄　生酒　藤井　民
沼隈郡神村　14迄　石井　圭
尾道市土堂町中濱通　12迄　井上　田中　安子
尾道市十四日町　11迄　石梶　春子
尾道市　13迄　平櫛　カツヨ
死亡　13迄　增田　和子
尾道市久保町　13迄　岡田　清子
北海道釧路郵便局私書函第八號
富士製紙會社工場社宅第十五號　15迄　小田　内海　菊枝
尾道市米場町　12迄　葛西　壽香

東京市外東中野小瀧一五二九番地　12迄　加來　後藤　實
御調郡吉和村　10迄　加納　ウメ
向島西村字江奥安保彌一郎樣方　12迄　川ノ上　安保　タクエ
尾道市藥師堂町　13迄　木曾　靜子
尾道市西濱通　11迄　木曾　木曾　フクヨ
福山市東町　12迄　北村　スエ
大阪府下東成郡天王寺村大字
阿部野播磨町四八九關山樣方　10迄　小池　小池　幾代
死亡　12迄　小林　桑原　好子
沼隈郡千年村　12迄　小林　小林　キヨ
沼隈郡神村六五三一番地　11迄　小林　小林　キミコ
三原町西町二丁目　13迄　小池　小池　靜乃
尾道市久保町　12迄　小林　小林　定子
東京府下中野町字中野三三〇　小濱　美代
三原町東町　10迄　幸崎　幸崎　きみ子
尾道市久保町丸山　11迄　佐藤　横田　絢子
御調郡糸崎町　12迄　眞田　眞田　フサ
尾道市十四日町　11迄　作田　作田　久子
岐阜縣大野郡大名田村字花里　11迄　阪井　加藤　久子
尾道市淨土寺道　15迄　佐久間　義子
長野縣上諏訪町郡阿蘇溫藏樣方　庄司　辰江
沼隈郡高須村　篠原　靜子

御調郡木原村
死亡
京都府加佐郡新舞鶴町
女子高等技藝學校内
御調郡向島東村彦ノ上
豐田郡吉名村字浦尻
尾道市土堂町
朝鮮仁川濱町十番地杉田様方
芦品郡新市町
沼隈郡浦崎村
朝鮮平壤旭町
御調郡糸崎町
尾道市土堂小學校内
沼隈郡浦崎村
御調郡糸崎町
大阪市外豐崎町南濱一八七
尾道市長江町四丁目
尾道市外三軒家町
尾道市十四日町
御調郡向島西村
大阪市西區梅本町五七
吳市本通六丁目

12迄 白賀 木原 秀子
14迄 壽美谷 包子
14迄 杉原 ヒサヨ
12迄 杉谷 砂田 加津子
12迄 菅 田中 美子
14迄 關原 縫
10迄 高田 シヅエ
14迄 田頭 堅子
11迄 田頭 トミエ
13迄 武田 千代子
13迄 高橋 田中 庸子
11迄 高橋 昌子
14迄 高橋 止志
11迄 豐田 トミコ
11迄 名越 美子
13迄 中山 美子
13迄 中山 輝子
12迄 西原 キヌ
10迄 西村 竹内 愛子
12迄 西岡 金谷 キミヨ
14迄 新田 中本 宮子

安佐郡深川村
尾道市米場町
沼隈郡金江村
御調郡宇津戸村
東京府下荏原郡駒澤村上馬引澤六一九
安佐郡伴村迫利三郎様方
尾道市土堂町
吳市倉本町二丁目三宅榮様宅
賀茂郡竹原町梶川様方
福山市吉津町
尾道市西御所町
千葉市本町三丁目龜井宅
尾道市長前
尾道市土堂町
尾道市藥師堂町
山口縣豐浦郡勝山村
下關市生野町字幡生
S. Aoki
908. Opera Court
Takoma Wash, U. S. A
神戸市神若通ヶ五丁目一七ノ二五
御調郡向島東村字歌

13迄 西川 武田 長
12迄 野田 隆子
12迄 箱田 箱田 歌子
13迄 秦 コトヨ
15迄 原田 吉田 久野
10迄 橋詰 ヨシコ
14迄 濱口 末子
13迄 廣田 島居 茂枝
10迄 樋口 春子
12迄 平田 渡邊 靜子
11迄 久枝 房子
12迄 藤井 沼本 悅子
10迄 古森 惠谷 悅子
11迄 藤原 藤原 安子
14迄 松本 榮
16迄 宮本 宮本 清子
13迄 三浦 齊鹿 千代
12迄 三井 青木 ツルヨ
14迄 森 泉谷 喜子
10迄 森本 正子

尾道市西橋町　12迄　山形　山形初子
尾道市久保町　16迄　吉田　吉田道子
尾道市土堂町　10迄　吉田　吉田サワコ
東京市牛込區喜久井町二一　11迄　吉原　橋本久代
御調郡三原町　18迄　渡邊　渡邊節子
朝鮮京畿道廣城郡廳　12迄　渡邊　早川アヤコ
大分縣東國東郡國東町田深市丸保方　11迄　和田　市丸イサヨ

第十回

尾道市長江町六丁目　13迄　淺雛イクヨ
御調郡向嶋江奥　9迄　安保　安保コツル
尾道市本町通り　14迄　井上　井上房子
北海道夕張郡栗山市街木工場　12迄　井上　島川京子
尾道市十四日町　10迄　池田菊野
吳市伏原町　9迄　池田千鶴子
沼隈郡今津村　12迄　石井キヨ子
沼隈郡浦崎村　10迄　今川タマヨ
尾道市土堂町　13迄　宇佐　宇佐静子
尾道市久保町　10迄　大村　大村福子
御調郡市村　12迄　大村　吉原静子
尾道市尾崎町　14迄　大塚　櫛崎辰子
御調郡三原町　14迄大久保　村上好子

不明　10迄　大井恒子
尾道市十四日町　14迄　岡山　花房静子
御調郡奥村　10迄　小川ヨシコ
御調郡三原町　13迄　今尾艷子
東京市小石川區目白臺女子大學　12迄　勝場清子
大阪市中河内郡小坂村小坂七〇四　10迄　河田　竹原勝子
御調郡向島西村　14迄　片上不二子
大阪市北區老松町三丁目五一　13迄　梶山　瀧本里子
神戸市北長狹通三丁目酢屋別宅　桑田　豐田スマコ
尾道市長江町一丁目　16迄　桑田勝子
沼隈郡田島村　11迄　熊丸　加藤俊子
今治市黃金通り　12迄　國安　中江イクヨ
御調郡二原立町　12迄　國重春子
尾道市外吉和村　10迄　久保カヲル
尾道市十四日町　13迄　小西キミ
神戸市下山手通八丁目三八六　12迄　小林　杉原照子
尾道市長江町一丁目　11迄　兒玉光子
尾道市尾崎町　12迄　佐藤延子
尾道市土堂町　12迄　佐藤　佐藤常子
奈良女子高師範學校　11迄　佐々木幹枝
大阪市九條通一丁目六宮本現太郎樣内　12迄　佐藤　宮本花子

尾道市久保町　12迄　佐藤重代
廣島市大手町七丁目福山謙造樣内　12迄　榊原　平田千代子
御調郡向島字歌　13迄　坂本メ子
尾道市久保町　16迄　白神光子
死亡　澁谷房子
尾道市十四日町幸ノ前　13迄　島原　島原ヨシコ
御調郡三原西町　13迄　正田ヨシコ
尾道市東御所町　10迄　須田アサヨ
岡山縣倉敷町四軒屋
倉防社宅三十四号　13迄　妹尾　妹尾お竜
大阪府西成郡千船町大和田四〇六ノ三　12迄　高橋　池田敬子
沼隈郡今津村　10迄　高橋　藤川ヨシエ
仝　高須村　12迄　高橋富貴惠
尾道市長江町二丁目　14迄　高桝ヒサ
御調郡奥村　高上タケオ
御調郡栗原村　10迄　武田光子
沼隈郡浦崎村　11迄　田頭アヤ
御調郡糸崎町　12迄　竹田孝子
東京市麴町區飯田町六丁目二二　11迄　伊達　今田九人子
北海道夕張郡夕張町富岡舍宅二二ノ二　12迄　塚本　加藤利子
尾道市三軒家　10迄　坪島　井上辰子
仝　渡塲　13迄　寺西久榮

深安郡引野村　12迄　土肥マスミ
東京府下田端九七四アサヒ藥局内　12迄　永金ハルヨ
大阪府濱寺町　11迄　中司　大本辰野
大阪市南區空堀町三十五番地　16迄　中井　木根森一子
尾道市土堂町　12迄　新田浪子
尾道市藥師堂町　14迄　西中サカエ
世羅郡東大田村字東野　12迄　原田　高本歳子
尾道市外吉和村　10迄　原　内海美榮子
尾道市土堂町　12迄　林原貞子
沼隈郡山南村　14迄　長谷川千代子
尾道市土堂町　13迄　藤野　松尾久子
沼隈郡今津村　11迄　平田　三藤ミネコ
東京市外轟ヶ谷町代々木四七六　12迄　日野乙江
尾道市外三軒家　11迄　藤原　中井ハナ
福山市外吉備町　13迄　藤野ヒサコ
死亡　藤井國榮
尾道市十四日町中濱通り　松本　岸本滿子
仝　西御所　12迄　松山　三浦タツノ
沼隈郡今津村　12迄　三藤　三藤サダコ
愛媛縣越智郡弓削　12迄　宮原　宮原信
東京府下淀橋町　14迄　三次　岡井ウメヨ

尾道市土堂町驛前　10迄　村上　村上ヒサ枝
尾道市久保町防地　13迄　村上スミエ
東京和洋裁縫女學校　13迄　村上サダ
尾道市久保町防地　14迄　村上サカエ
沼隈郡水呑村　12迄　森井テルヨ
賀茂郡内海町　山名　辻野ユキノ
兵庫縣武庫郡精道村打出トキワ橋東詰二三番地　13迄　山根　奥吉喜代子
東京市小石川區江戸川町一　13迄　矢野靜子
福山市福德町　12迄　矢野　藤本富子
沼隈郡藤江村　13迄　渡邊　渡邊清子
尾道市藥師堂通リ　15迄　渡邊　渡邊三七子

第十一回

尾道市土堂町渡塲上ル　12迄　安保ムツエ
御調郡向島西村　10迄　安保ミヅ子
東京市四谷區北伊賀町七番地　12迄　青山　青山朝子
尾道市長江町二丁目　11迄　阿蘇　阿蘇君
尾道市東御所町　12迄　今城トミエ
御調郡向島兼吉　12迄　和泉ヨシコ
御調郡向島東村　14迄　石井春江
尾道市外吉和村　10迄　伊藤英子
尾道市久保町　12迄　入江　武田金子
尾道市土堂町　13迄　井畑ヲシノ
京都市聖護院町中河原松ヶ枝町　14迄　上野晃子
名古屋市中區西川端町七ノ一四　11迄　上野　高橋千代子
尾道市久保町　12迄　上田翠
尾道市西郷寺上　11迄　宇坪高子
台灣台北市大正町二丁目五番地　10迄　内海　廣畑加津子
福山市西町　12迄　梅田清子
福村市西町　14迄　江草テイ
尾道市十四日町　13迄　大山喜久代
愛媛縣越智郡盛口村　12迄　越智信美
東京市麴町區富士見町二八三三　16迄　岡崎寛子
廣江樣内
東京女子美術學校内　12迄　大山雪子
新潟縣北魚沼郡城川村平澤金光　13迄　金光　金光綾子
尾道市土堂町　12迄　金光輝子
尾道市久保町　14迄　川添智惠子
豐田郡河内村　11迄　川本コヨシ
御調郡向島東村　13迄　北村カツヨ
大阪府下三島千里村千里山二條一番町二六号地　10迄　北川薫子
尾道市土堂町寶土寺上　13迄　補生　木曾季野

御調郡美之郷村	12迄	久野ヨシコ	三原町
芦品郡常金丸村	12迄	桑田幸子	尾道市土堂町
尾道市土堂町	12迄	桑原國子	在米
仝　上	11迄	栗原三島晃子	深安郡川南村
尾道市久保町	11迄	小松下枝	東京本郷區駒込蓬來町第三初音館内
京都市同志社	10迄	河野貞枝	御調郡向島西村
福山市三ノ丸町公園東阪下小池	12迄	小池楠本アヤメ	尾道市久保町
御調郡向島立花小學校内	14迄	小尻マサエ	廣島市京橋町
御調郡三原町	13迄	眞田幾久香	沼隈郡熊野村二二〇一
尾道市土堂町	12迄	佐藤益代	朝鮮大邱東城町
尾道市十四日町	13迄	齊藤文子	東京九段和洋裁縫女學校
東京市麹町區五番町	12迄	高垣延代	尾道市土堂町
津田女子英學塾	12迄	多田延子	福山市三吉町
仝　上	12迄	田宮望月貞子	東京市北品川町二六二
豐田郡鮴港	17迄	高橋都築文子	深安郡中條村
朝鮮全羅北道益山面裡里榮町	10迄	高橋ヨシコ	尾道市中濱通り
沼隈郡西村	10町	谷前操	沼隈郡松永町
御調郡糸崎町	13迄	田門勝子	市内光明寺下
尾道市久保町防地	10迄	高原コスエ	福山市小丸山
賀茂郡莊野村	13迄	寺岡民江	東京市外中渋谷神山七七一番地
京都市東山七條女子專門學校	14迄	中根慶江	沼隈郡浦崎村
岡山市上ノ町藤屋樣内	11迄	七日市美子	
	11迄	野間勝子	
	10迄	濱中福子	
	10迄	服部ユキヨ	
	10迄	林文子	
	12迄	林原富子	
	13迄	原田善子	
	13迄	橋本保田篤子	
	14迄	廣康八重子	
	14迄	平櫛ミズコ	
	12迄	藤元ツユ子	
	17迄	藤田智惠子	
	11迄	藤井アヤ子	
	10迄	藤井澄子	
	14迄	松岡佐藤君子	
	13迄	松本益子	
	21迄	丸山芳子	
	11迄	山形小遺子	
	14迄	山本青木秀子	
	12迄	山本渡利壽子	
	12迄	山根一枝	

愛媛縣新居郡神郷村　12迄　山下登美子
沼隈郡赤坂村驛前　10迄　湯川伊藤政代
死亡
尾道市久保町　12迄　吉池光代
御調郡諸田村　12迄　和田朝子
御調郡糸崎町驛前　12迄　末房ヤヨノ
豊田郡田東林　12迄　増田直枝
尾道市久保町防地　11迄　松浦富子
御調郡向島東村　11迄　正木澄子
尾道市長江町一丁目　10迄　宮本トシエ
東京共立女子職業學校　13迄　三上艶子
備中淺口郡連島早瀬樣内　11迄　村上トラヨ
御調郡向島西村　13迄　村井早瀬貴美代
仝　市村　12迄　村上フミ子
仝　向島東村　11迄　村井江都子
11迄　森田清子

第十二回

東京お茶水女學校專攻科　14迄　天野喜代
御調郡向島西村尋常高等小學校　12迄　雨越宮子
沼隈郡高須村　13迄　麻生種枝
御調郡向島立花村　12迄　青木千代子
東京和洋裁縫女學校　12迄　池田シヅ子
京都同志社專門部英文科　13迄　池田文子
尾道市十四日町　13迄　池田シカ
神戸市長田町房王寺谷六〇八　14迄　伊藤千代子
尾道市土堂町　12迄　井上敏子
御調郡吉和村　13迄　稲田綾子
尾道市東御所町　13迄　石岡金子
深安郡法成寺村　13迄　岩木ラル
尾道市久保町　12迄　上田恒子
神戸市松本通五丁目十六ノ二　14迄　戎居峯子
尾道市十四日町　13迄　惠谷雪子
御調郡向島東村　13迄　惠谷アサ子
尾道市久保町　13迄　岡田澄子
尾道市久保町　13迄　岡田松枝
尾道市長江町　13迄　越智清子
尾道市中濱通り　13迄　[redacted]幸子
尾道市久保町　13迄　大塚周代
御調郡重井尋常小學校　13迄　大高アキエ
沼隈郡東村　13迄　小川ヒデ子
尾道市土堂町一宮裏　13迄　折戸艶

仝	土堂町	13迄	金尾 爲德	尾道市尾崎町
岡山縣兒島郡味野町一〇		14迄	金光 英子	御調郡向島立花村
御調郡吉和村		13迄	龜田 辰子	仝 菅野村
尾道市十四日町		14迄	梶山 琴代	尾道市久保町防地
御調郡三成尋常小學校		13迄	片山 キヨ子	仝 土堂町
御調郡向島東村神田樣內		12迄	神田 岩井 ユサ代	沼隈郡千年村
北米カリホルニヤ パークレー チヤンニングエー 一二一二		13迄	神邊 神邊 春子	京都第一府立專攻科
御調郡向島四村銀吉		12迄	上川 シヅヨ	沼隈郡松永町
仝 三原町		12迄	木原 千里	仝 四村
御調郡栗原尋常高等小學校		13迄	木曾 アヤ子	尾道市久保町
尾道市土堂町		13迄	木村 美代	仝 久保町
芦品郡新市町		13迄	吉川 貞枝	沼隈郡松永町
尾道市十四日町		13迄	國安 マサヨ	尾道市土堂町
仝 土堂町		13迄	倉田 民子	仝 久保町藤間樣內
仝 久保町		12迄	小林 常子	沼隈郡高須村
尾道市外三軒家		13迄	小林 豊子	尾道市御所町
仝 米場町		14迄	小林 光子	尾道市土堂町
仝 土堂町		14迄	小西 ツヤ	大阪市外十三字小島一三四
仝 土堂町		14迄	小西 節子	沼隈郡千年村
仝 土堂町		13迄	白坂 淑子	尾道市十四日町
御調郡三原町		12迄	白石 梅子	仝 十四日町

14迄	島崎 ヒサ子	13迄	瀨尾 朝子	14迄
13迄	妹尾 良子	12迄	住吉 伊智子	13迄
13迄	關原 清子	13迄	高田 芳子	12迄
14迄	高橋 靜子	13迄	高橋 峯子	12迄
12迄	竹谷 數枝	13迄	立川 カヅ子	13迄
13迄	立神 タツコ	13迄	田中 カツヨ	14迄
13迄	田村 艶	13迄	土岡 ハツヨ	13迄
12迄	坪島 清子	13迄	寺西 常子	17迄
12迄	刀禰 カツコ	14迄	野村 琴	13迄
13迄	西原 勝子			

仝　土堂町　12迄　新田ハルヨ
尾道市土堂町駄賀方　13迄　馬場コノミ
沼隈郡千年村　12迄　濱田マサコ
尾道市長江町三丁目黒瀬樣內　13迄　濱田ヨシミ
賀茂郡竹原町　12迄　原田小川靜枝
御調郡向島立花村　13迄　林原ヨシコ
仝　三浦村　12迄　平澤田鶴子
仝　向島東村　13迄　東川マサコ
尾道市久保町　13迄　深谷京子
仝　十四日町　13迄　藤井敏子
芦品郡常金丸村　12迄　馬屋原光枝
御調郡今津村　13迄　槇田壽子
尾道市十四日町　13迄　松本操
大阪市東區島町一丁目　12迄　松本映子
尾道市十四日町　13迄　美藤ヨシコ
御調郡向島東村　13迄　宮本桑田キクエ
尾道市土堂町　13迄　三宅浪子
沼隈郡高須村　13迄　村上佐藤ヨシコ
豊田郡甲之浦村字本谷　13迄　村上文子
大阪市南區北炭屋町一〇　14迄　岡崎ヨリコ
東京女子美術學校　13迄　森ヒサ子

沼隈郡津之郷村　13迄　山崎定子
尾道市久保町　13迄　碓鶴代
仝　土堂町　13迄　渡邊綾子
不明　12迄　長谷川靜子

第十三回

沼隈郡鞆町石井町　15迄　赤松千代子
御調郡吉和村　13迄　天野好
東京市牛込區川田町女子醫專　13迄　石井ウタ
尾道市長江町　13迄　井田一枝
佐賀縣藤津郡濱町　14迄　井上勝子
福山市地吹町　13迄　今井ツル
尾道市久保町　13迄　岩見貞子
御調郡三原町　13迄　遠藤淺江
御調郡岩子島村　13迄　岡崎芳子
御調郡向島東村　13迄　岡田岡田齊
御調郡向島四村　13迄　岡田トネ
沼隈郡高須村　13迄　沖村タツ子
東京市外小石川區目白台日本女子大學校　13迄　奥山影子
沼隈郡今津村　13迄　小川靜子

縣立廣島高等女學校專攻科 13迄 小川益枝
尾道市土堂町 13迄 小川宮子
尾道市土堂町 13迄 小田勝
尾道市久保町 13迄 大島操
御調郡三原町 13迄 大藤政子
尾道市土堂町 13迄 大山美佳子
岡山市南方二七八 13迄 賀川道子
大阪市外東成郡天王寺村字天王寺藤井種次郎樣方 13迄 柿本初子
尾道市久保町 13迄 角田行江
東京市東京女子大學校 13迄 金田文子
沼隈郡浦崎村 13迄 神原スマ
尾道市外吉和村 13迄 龜田數子
尾道市縣立高等女學校寄宿舍 13迄 龜田政代
御調郡三原町 13迄 川口悅子
尾道市十四日町 14迄 木曾壽美江
尾道市長江町 13迄 京和泉政子
御調郡向島西村 13迄 楠宗子
尾道市三軒家 13迄 小泉義子
尾道市長江町 13迄 兒玉多喜子
尾道市四御所町 13迄 小出マサヱ
御調郡栗原町 13迄 坂井升榮

尾道市十四日町 13迄 榊原重子
沼隈郡藤江村 13迄 作田豊子
支那上海吳淞路十六号佐藤秀一樣內 13迄 佐古田富代
神戸市兵庫小川通八丁目 13迄 佐々木靜子
沼隈郡[redacted] 藤江村 13迄 佐藤タキヱ
尾道市十四日町鍛冶屋町 13迄 島田喜美子
尾道市西御所町 13迄 島野咲子
東京市神田區一ッ橋女子共立職業學校 13迄 管波ヒサヨ
廣島縣立高女專攻科 13迄 杉原ミチヱ
沼隈郡高須村 13迄 高田英子
岡山縣立高等女學校寄宿舍 13迄 高桝キミ
廣嶋縣立高女專攻科 13迄 高橋スミ子
倉敷中央病院內 13迄 高橋フミ
尾道市十四日町中濱通 13迄 高瀨豊子
尾道市久保町 13迄 竹中フミ子
甲奴郡上下町 13迄 川上タマコ
尾道市土堂町 14迄 田中秋代
廣嶋市千田町縣立高女寄宿舍 13迄 近田須美子
尾道市尾崎町 13迄 突沖トクヨ
御調郡栗原町 13迄 土屋智子
尾道市久保町 13迄 富岡千代子

東京市牛込區川口町女子醫專	13迄	富田壽	尾道市土堂町海岸通
御調郡向島西村	13迄	豊田滿壽子	京都府立高等女學校專攻科
御調郡向島東村	13迄	中司キクヨ	尾道市十四日町
御調郡大濱村	13迄	檜原チエ	深安郡千田村横尾
御調郡吉和村	13迄	西岡キヌヨ	廣嶋縣立尾道高等女學校第二寄宿舍
沼隈郡田島村	13迄	箱田淨	不明
尾道市長江町	13迄	橋本テル	尾道市土堂町
尾道市久保町	13迄	花咲茂子	廣島縣立尾道女學校第二寄宿舍
愛媛縣越智郡弓削村	13迄	濱田フミ	尾道市土堂町
尾道市久保町	14迄	原田小美彌	尾道市尾崎町
尾道市尾崎町	13迄	平井壽惠子	御調郡向島東村
尾道市久保町	13迄	平野信子	尾道市久保町淨土寺道
豊田郡大河村	13迄	古川智都子	御調郡栗原町
尾道市十四日町小川小路	13迄	部谷光子	御調郡糸崎町
尾道市久保町	13迄	細谷一子	尾道市十四日町中濱通
東京牛込赤城下町八八金慶女塾内	13迄	前田靜枝	死亡
尾道市土堂町	13迄	前田雅子	沼隈郡松永町東町
尾道市久保町	13迄	增野美子	廣島縣立尾道高等女學校第二寄宿舍
御調郡三原町	13迄	松浦タミエ	廣島市千田町縣立高等女學校寄宿舍
尾道市十四日町	13迄	松本文子	不明
豊田郡南生口村	13迄	丸山サカエ	御調郡三原町

丸井ヨシコ	13迄	三浦キヌコ	13迄
三上壽子	13迄	水川晴子	13迄
光田富子	13迄	三森菊枝	13迄
三村紀子	13迄	宮地トシ	13迄
宮地千代子	13迄	三宅冨子	13迄
宮地久子	17迄	宮邊綾子	13迄
三次哲子	13迄	村上千代子	13迄
村上豊子	13迄	村上フサエ	13迄
村上峯	31迄	矢吹壽江	13迄
山口美知江	13迄	山根喜久子	13迄
吉名鶴世	13迄		

尾道市土堂町 13迄 吉本房子

▲編輯便り

新しい年を迎へた時、今年こそはうんと働きませうと思はない者は無いでせう、然し始めにかけた心の襷は何時の間にかゆるんで又懸け換へなければならない時が參りました。年の暮近くになりますと仕事の仕殘りがうんと有る樣に思はれます、過去一ヶ年間に與へられた尊い時間をどうして過したか、毎日々忙しく過しては居た樣だけれど其跡は一向に目に立たない樣です、どの位自分は向上の道に進み得たかどれだけ人樣の御役に立つたでせうか、考へて見ると何一つとして取るべきものは有りませんでした斯うして又人並に新しい年を迎へるかと思ふと心恥しくも存じます。冬の日も猶暖い天惠を受けた港の町も両三日前よりすつかり寒くなりました、母校には先生方も皆樣御揃ひで御元氣に御盡しでいらつしやいます、學校も亦年と共に益々隆盛に向つて居ります。母校の隆盛に伴つて同窓會も大いに働かうでは有りませんか、來年は卒業生もどうやら千人に達します豫定でございます、今迄は何をすると申しましても卒業生の數の少かつた爲に思ふ事の實行も出來ませんでしたが來年からはぼつ〳〵皆樣の御力添へを願ひまして種々の事業を始めかけては如何でせうか、種々他校女學校の同窓會事業等新聞紙上或は雜誌噂等により聞きますと、私達の何事も出來ないのが殘念に存じます、何とかして我同窓會でも記念館を建て度いものだと思ひます母校に對する報恩並びにお互の便利を與へられる事でございますので大變に結構な事業だと存じます、けれども何を致しますにも私達は團結心を欠いでは駄目です私達の力はいと小さいものではございますが、千人の姉妹が心を一にして或事に向つたらどんな大きな仕事でも爲し得られない事はございますまい、一つ學屋に學びました私達は眞の姉妹同樣に近い心を持つて、喜びも悲しみも共にし共に相救けて働きませう、今度同窓會では或事業を企て〻居ります、それは基本金積立の爲に來年或時機に於てバザーを開く事でございます今度十四年度卒業生を迎へて、私達もやつと千人の會員に達しました、とても同窓會が獨立しては不可能の仕事と存じますので母校に何か催しの有る時機に行ひ度いと企て〻居ります、早一部の方は其用意にとりかゝて居て下さる方も有るのでございます

バザー開催に就きましては、どんな時間が有りましても、少數の幹事のみにてはとても爲し得らるゝ事では有りません、斯樣な仕事にかゝりますのにはどうしても澤山の力を集めた大いな力でなくては駄目だと存じます。私達が共に働いてこの會の成功をはかる爲にどんな方法を取るべきか、種々考へましたが、ふと頭に浮びました考を皆樣に御相談申上ます。それはバザーの賣品に就いての考へですが、同窓會計が豊かで有れば何も心配もいらない事と存じますが、會報印刷費さへ不足しそうな今の狀態でございますので、此度は私達の手製品でも、同窓會に寄附したらどうかと思ひました。一人が一品づゝ寄附致しますと、千種は集る譯でございます、とても手製するなんて。其樣な暇の無い御方は僅に指折一本でも玩具一つでも、價額の高底は申上げないのでございますから出來るだけ皆樣の御力添へが願ひ度う存じます、御參考迄に種類を擧げて見ますと

裁縫品では小兒用エプロン（キャラコ一尺五寸あれば一二才用なれば二着は出來ます）涎掛、雪帽小兒帽子、ネクタイ等わざ〳〵布を買はなくとも廢物利用も出來る事と存じます。

手藝品では造花、袋物類、編物類、なれば手製にすれば價額ははんの僅かだと存じます。

其他クッション、手提等の手製品も出來ませうし、種々珍らしい物も集つて大變に面白いと思ひます、手藝品裁縫品のない御方は食料品でも文具品等でもよいと存じます。

大變に御無理な御願の樣ではございますが之も私達自身の會の仕事だと存じますのでお互樣に忙しい時間をさいて盡そうではございませんか、この企に御賛成下さいまして御助け下さいます御方は、來春四月迄に早くても遲くてもよろしうございますから材料の出費額を御書添の上、學校幹事宛に御送附頂き度う存じます、此度の御願は强制的にでは決して有りませんが出來るだけ御願申上ます。

次に會報發行につきまして毎年同じ事を繰返すのですが新しく御卒業遊ばした皆樣の爲に再び記載致します

（一）會報發行に就きまして各幹事方の一番に御困りになりますのは會員名簿の整理でございます、どうぞ現在の御住所を御移轉遊ばした時或は御改姓の

節は必ず御一報下さい、幹事の方々は是迄不明の方々へは一々御葉書等御出し下さいまして、皆様の御様子を御聞き下さいました御方も多くありました、斯んな貧弱な會誌でもこれが出來上ります迄には、母校の先生は勿論ですが幹事方の御骨折は一方ではありません、忙しい家事の間に間に御盡し下さいました賜でございます、ですからそれに報ゆる爲に出來るだけ各回の幹事方の便宜をはかつて其手數を御かけになりませぬ樣御助け下さいませ。

(二)母校幹事宛に下さる通信には、御姓名の上に必ず御卒業の回期を御記入下さい、猶住所書は正確に心ず番地をも御記入下さい。

夏休中皆樣に送りましたあの印刷物の依頼狀は、皆樣の御樣子を全同窓生の方々へ御通知致します會報發行の、資料に致しますのでございますから何も御送り下さる記事のない方々でも御端書にて簡單に御樣子御知らせ頂き度う存じます、ほんの十分間位の時間をおさき下さいましたら、もつと名簿も正確に整理がつくかと思ひます。毎年會報を送りますと早いのは翌日、一週間位の間はどんどと送り返されるのでがつかり致します、又一々調べて再送しては居りますが手數は取れるし、郵税は二重に拂はなければならないし、時間の上からも物質の上からも大變に不經濟でございます會報上に記載された名簿及其他間違つた記事がございましたら誠に恐れ入りますが御通知下さい、今年は住所の變更された方や御身分の御異動等を御親切に御通知下さいました方の多かつた事を嬉しく存じます。次に會員の方々より時々會報が屆かないと云つて大變な御立腹狀を頂きましたのを一二記憶して居ります、皆樣がそれほど迄にこの會報を御待ち下さるかと思ふと嬉しいのでございますが、一々御言葉に御無理の無い事かは存じませんけれど、私達も手落ちと云へば手落ちと云へませうが、發送するだけは名簿により會費の全納者未納者の別無く御送り致して居ります、屆かないと云ふ通知を頂きましたので、三度も送つてやつと屆いた樣に思はれるのさへございました、それはつまり郵便配達夫の不親切もありませう、住所書の正確でないのと表記書方の不明瞭な点も有つたかも知れないと存じますが、別に御手に入ら

ないからと云つて御言葉の様に皆様を悔辱しての行意では決して有りません、御手に入らなければ御遠慮なく御請求下さい、一寸誌上を借りて御詫びかた〳〵誤解遊ばさぬ様に御願申し上ます。

(三)次に度々で失禮ではございますが會費未納の御方は此際成るべく早く御納め下さいませ、今年等發行費も覺束ない程で全く困つて居ります、會費は一回五十錢で大正十年度より徴收する事になりましたので十三年度迄で二圓納めてあればよいわけなのです來年四月中迄に御納め下さいます様に御願申上ます若し四月迄に御納め下さいませぬ御方へは集金郵便を御送り申上げますから御承諾下さいませ、但し集金郵便は二圓以上の場合に限り取扱はれるとの事ですから今年以上の會費を御請求申上げる場合も有る事と存じますのでこれも豫め御了解頂き度う存じます。

市内及附近町村の方々にて母校生徒へ會費を御托し下さる場合には會費封入の上御姓名の上に卒業回期を御記入下きいませ。

(四)毎年一回夏期休業中に開かれて居りました同窓會總會は都合上今回の幹事會に於て冬期休業中に延期致しました、總會の時の通知は皆様に差上げますのが本体でございますがどうせ遠隔の地に御在住の皆様は御出席も不可能な事と存じまして、市内及近郊の出席し得られる方々へのみ案内狀を出して居ります、それにつきて御願ひ致し度い事は案内狀に對して御出席下さるか否かの御返事を頂き度う存じます何時も御通知下さらない方が多いので準備上大變に困ります、但し當日の會費は出席會員各自御持參の上閉會後幹事へ御渡し下さる事になつて居ります。

(五)御子様達の御寫眞及記事を御送り下さいました事を深く感謝致します又來年もよろしく御願申上ます。

(六)大正十三年度會費受附は十二月末日に致しますからそれ以後御送附下さいました御方のは來年度會計へまわしますから豫め御承知置き下さい。

(七)同窓會報へ御寄稿下さいます御方へ御願ひ申上げます誠に勝手な御願でございますが若し其様な御暇が得られましたら二十字詰十行の原稿用紙へ御記載の上御送附戴き度う存じます、然し御忙しい御身分の御方は從前通りでよろしいのでございま

すから御遠慮遊ばさず、どし〳〵御寄稿下さいます事を御願申上げます。

『今冬期休業中開催致しました同窓會総會の案内狀は、市内の方々は勿論市外併せて四百枚發送致しました、然し住所不明の爲か、市内のみにても返送されたものが澤山有りまして御氣毒を致しました惡しからず御許し下さいませ一寸誌上を借りて御詫び申上げ置きます』

『編輯後に』

昨年の初夏、御一家の中心でいらつしやる奥様を御失ひ遊ばして四人の御子様と御老体でいらつしやる御両親様と共に御淋しい生活を續けていらつしやいました母校の佐藤校長先生は此度芽出度御結婚遊ばしました。

今度御出になりました奥様は私達とは同窓の姉君で三回御卒業の小川のぶ様でいらつしやると云ふ事を是非皆様へ御知らせ致して共に喜び、先生や姉君の御幸福を祈り御悦び申上たいと存じます、姉君が御入嫁遊ばしたと云ふ事を承りましたのはつひ近日の事で其不思議な御縁に驚きました、又それと同時に嬉しさが胸に一杯でした、姉君の母校御在學當時の御方々は御存知でいらつしやいますが、新しく御卒業遊ばした多くの皆様には御存知ない方の多い事と存じますので、拙き筆をも顧ず少し姉君の御思出を書かせて頂きます、私共の母校在學一年生の時、姉君は四年生でいらつしやいました、學校は言ふに及ばず御優れ遊ばして又其上に御性格の御立派な事、美しい御優しい御顔に笑を湛へての御やさしい御言葉が今も猶ほ耳に殘つてゐる様に思はれます、姉君を御慕しく尊敬しない下級生は一人として有りませんでした、ほんとうに御人格の御立派な事、女神のやうな温い愛の持主でいらつしやいます。この様な姉君が恩師の奥様と御成り遊ばしたと云ふ事は、あの御やさしい亡き奥様の不思議な御みちびきではないかとさへ思はれます。

御可愛いらしく素直でいらつしやる嬢様や坊ちやまを御殘し遊ばして遠く御旅立ち遊ばした奥様が、御

子様の爲に又御両親様の御爲に御身代りとして姉君を御選び下さいましたのでございませう。私は先日先生の御結婚の御儀式の時御小さい御嬢様が姉君の御膝によつて御なつき遊ばしたので御家族様其他の御方々が暗涙に御むせび遊ばしたとの御話を伺ひました時、何とも云へない感謝の心で胸が一杯になりました、四人の御子様はほんとうの御母君御同様に御慕ひ遊ばしていらつしやいます、姉君にも亦眞の母君御同様に深い温い愛を以つて御子様達を御いつくしみ遊ばしていらつしやいます、亡き奥様の御靈前に御默祈遊ばして奥様に御誓ひ遊ばした美しい御心、私達は女として姉君をほんとうによい御手本としなければならないと存じます、姉君は御老体でいらつしやる御両親様と御子様を御慰め申上げると云ふ美しい眞心一つを以つて御盡していらつしやると云ふ事を人傳に聞きました、まあ何と云ふ御美しい御心根でございませう。

姉君の御性格が亡き奥様の御性格によく似ていらつしやると云ふ事も亦御子様達の御思慕遊ばす原因と存じますが、斯く迄に有るといふ事はつまり姉君の自然の御德と存じます。校長先生の御家庭は又春の様に温い御惠を受けていらつしやいます。斯様なめで度事は成るべく多くの皆様に御知らせ致しまして共に御悦び申上げ度いと存じましたので姉君には無遠慮に書かせて頂きまして申譯もございません惡しからず御ゆるし下さいませ。先生の御家族皆々様の永久の御多福を願つて筆を擱きます。

大正拾參年拾貳月貳拾五日印刷
大正拾參年拾貳月參拾日發行

（非賣品）

編輯兼發行者　廣島縣立尾道高等女學校內
檜垣保世

廣島縣尾道市長江町一〇九番邸
印刷者　山野佐一

廣島縣尾道市長江町一〇九番邸
印刷所　三秀舍

廣島縣尾道市久保町
廣島縣立尾道高等女學校
發行所　同窓會

[illegible]